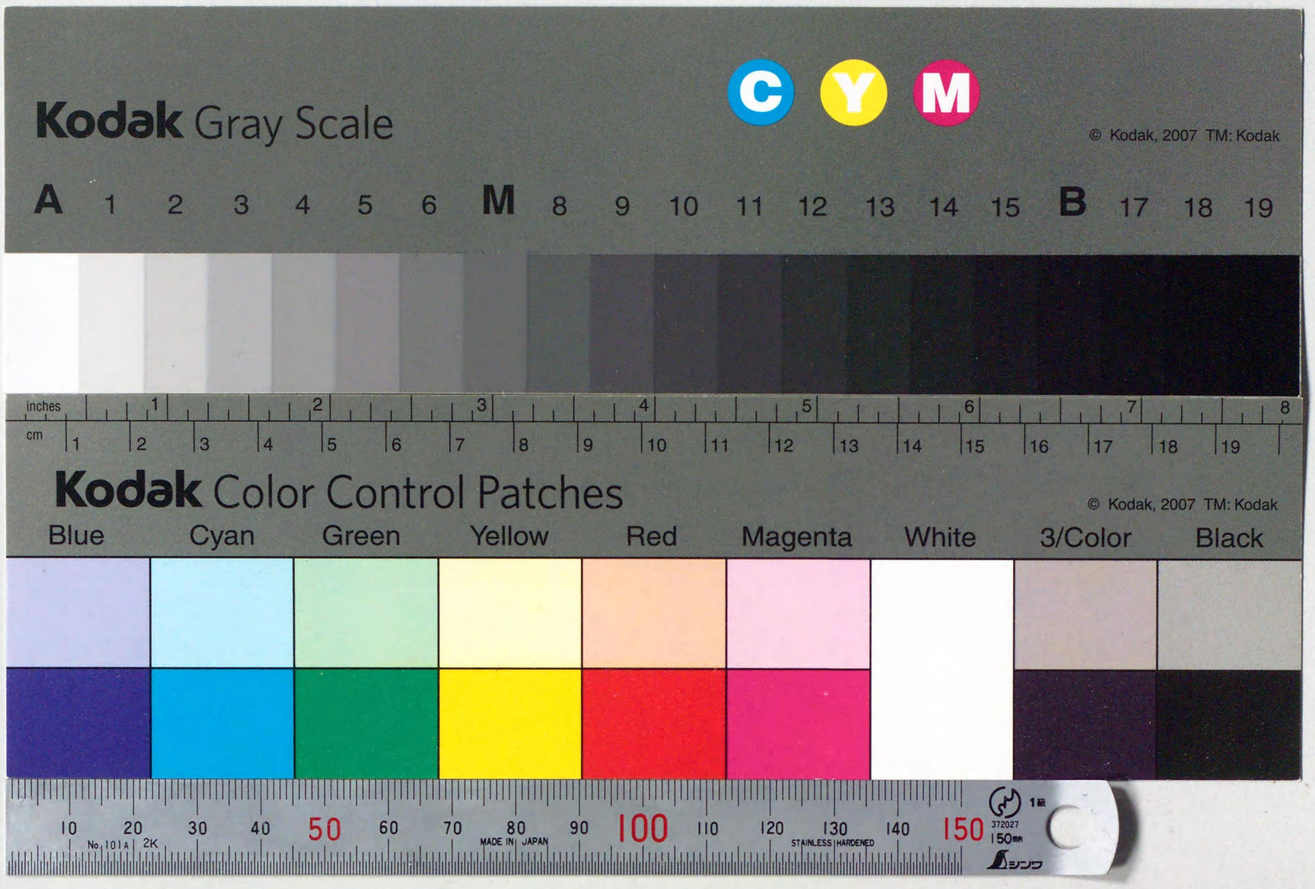
Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches
cm
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
MADE IN JAPAN
STAINLESS HARDENED

34
266
T

Dr. S. MATSUMURA
THOUSAND INSECTS OF JAPAN
ADDITAMENTA
III
1919

34-266

新日本千蟲圖解

巻之三

大正
8 5.19
内交

新日本千蟲圖解第參卷

凡例

一、日本領土ニ產スル蝶類ノ總數ハ四百四十餘種ニシテ本書ニハ其內ノ二百七十二種ヲ記載シ他ノ百五十六種ハ既ニ日本千蟲圖解第四卷ニ說明セリ、殘餘ノ十數種ハ著者ニ標本ナキヲ以テ茲ニ記載セズ、

二、本書ニハ三ノ新屬、十五ノ新種及ビ三十九ノ新變種ヲ記載シ同時ニ英文ヲ以テ其特徵ヲ說明セリ、

三、卷末ニ附錄トシテ日本千蟲圖解第四卷ニ記載セザリシ二十一ノ新變種ヲ記載シ同時ニ一新屬ヲ說明セリ、

四、卷末ニ日本領土產蝶類ノ分布表ヲ揭ゲ同時ニ圖版ノ本書若クハ日本千蟲圖解第四卷ノ何レニアルヤヲ知ルニ便ナラシメタリ、又日本千蟲圖解第四卷ニ記載セルモノニシテ學名ノ誤レルモノ若クハ誤植ノ儘ナリタルモノハ訂正シ置キタレバ別ニ正誤表ヲ出サズ、

五、本書ニハ日本ハ勿論樺太朝鮮臺灣及ビ南洋領土ノモノヲモ記載セルヲ以テ廣ク東洋ニ分布セル蝶類ヲ網羅セリト云フベク隨テ支那其他馬來地方ノ蝶類ヲ知ラント欲スルモノニ向テ好參考書タルベキヲ確信ス、

六、本書編纂ニ當リ筑後柳河町高椋悌吉氏ハ少ナカラザル珍種ヲ寄送セラレタルヲ以テ茲ニ謝意ヲ

公表ス、

七、本書ニ記載セル圖書ハ總テ北海道帝國大學農科大學助手大國督氏ノ健筆ニ係ルモノナレバ茲ニ其勞ヲ深謝ス、

大正七年十月一日

於北海道帝國大學農科大學昆蟲學教室

松村松年識

新日本千蟲圖解 卷之參

北海道帝國大學農科大學教授 理學博士 松村松年著

(500) からすあげは

第二十七圖(3)(4)(♀)
第二十八圖(1)(♀)

學名 Papilio bianor Cram.

昆蟲學上ノ地位 鱗翅目鳳蝶科 (Papilionidae)

雄翅黑色、金綠ノ小鱗ヲ密布ス、中室ノ外方ハ稍々淡色、第一(1^a)(1^b)乃至第四脈ニ集合シテ天鵞絨樣ノ黑毛ヲ缺キ、後翅ノ黑毛ヲ密生シ、初メノ三脈上(1^a)(1^b)及ビ(II)ニアルモノハ相合シテ一塊トナリ、第三及ビ第四脈上ノモノハ紡錘狀ヲナス、後翅ノ外半ニ金綠及ビ青色ノ鱗毛ヲ缺キ、唯ダ各室ノ末端ニ近ク弦月形ノ青色紋ヲ裝ス、中室ヨリ以上ノ鱗毛ハ青色ナリ、尙ホ尾狀突起ノ脈上ニモ青色鱗ヲ連ヌ、雌ニテハ前翅ノ第一乃至第四脈上ニ天鵞絨樣ノ黑毛ヲ缺キ、後翅中端ニ近ク朱色ノ弦月紋アリテ其內側ハ青色ノ細キ弦月紋ニテ緣取ラル、但シ第五室紋ハ大部青藍色ナリ、前翅ノ緣毛ハ灰白、後翅ニテハ凹陷部ノ緣毛白色ニシテ、其基部ハ橙黃、他ノ緣毛ハ黑色ナリ、裏面ハ黑色、前翅ノ外半ハ灰白、脈ハ黑色、外緣及ビ翅端ハ黑色、中室ニ金色鱗ヲ疎布ス、後翅ニ金色鱗ヲ密布シ、各室ノ弦月紋ハ朱色、其中ニ細キ紫色ノ弦月紋ヲ有ス、凹陷部ノ緣毛ハ橙黃

色、其末端ハ白色、開張(♂)(♀)三寸—四寸内外、本邦何レノ地方ニモ普通ナリ、
分布—北海道、本州、四國、九州、沖繩、臺灣、支那、
(附　言)本邦ニ産スルモノニシテ本種ニ左ノ七變種アリ、
一、ではー-にー形 Var. dehaani Feld. —第二十八圖(1)(♀)夏性ニシテ前翅裏面ノ外半ニ太キ灰白帶ヲ具ヘ、之レハ後緣ニ至リテ細小ス、本州、四國、九州ニ普通ナリ、
二、じやぽにか形 Var. japonica Butl. —春性ニシテ形前種ヨリモ遙ニ小、前翅外半ノ白帶ハ細ク、之レニ黑鱗多キヲ以テ餘リ判然セズ、後翅ノ朱色紋ハ小ナリ、何レノ地方ニモ普通ナリ、
三、ありあくもん形 Var. alliacmon del' Orza —此ハ前種ニ酷似スレドモ食物缺乏ノ爲メ小形トナリタルモノナラン、本州ニ産スレドモ稀ナリ、
四、じゆにあ形 Var. junia Jord. —後翅ニ於ケル中室上方ノ一圓ハ紫藍色ノ鱗毛ヲ裝ヒ、裏面前翅ノ白帶ハ細ク、後翅ニハ金色鱗少ナク、朱色紋ハ大ナリ、石垣島ニ産ス、
五、をきなはえんしす形 Var. okinawensis Fruhs. —ではー-にー形ニ酷似スレドモ後翅裏面ノ斑紋ハ遙ニ大ナリ、沖繩ニ産ス、
六、ふをもさーなす形 Var. formosanus Rebel —雄ノ後翅ニ五個ノ朱色紋ヲ具ヘ、前翅ノ裏面ハ全體灰白ニシテ帶狀ヲナサズ、臺灣ニ産ス、
七、はちじやうにす形 Var. hachijonis Mats. —雌、前翅中室ノ外方ニ黃色ノ太キ一帶ヲ具ヘ、之レハ後緣ニ至リテ細小ス、後翅ノ朱色紋ハ多ク弦月形ヲナサズ、裏面、前翅外半ノ黃白帶ハ判然シ、

後翅緣毛ノ凹陷部ニアルモノハ橙黃色ニシテ甚ダ廣シ、八丈島ニ産ス、(第二十七圖(3)(4)、

Papilio bianor Cram. var.

Closely allied to var. *dehaani* Feld., but the outer half of the primaries on both surfaces broadly creamy yellow, which is on the under-surface clearly borderd with black; yellowish cilia-spots on the secondaries much larger and conspicuous.
Hab.—Hachijojima (Island Hachijo); 3 female specimens collected by the author.

(追　記)千蟲圖解四 p. 64, No. 858 いみやまからすあげは(Papilio maackii Mén.)(♂)ノ誤ナルヲ以テ訂正ス、

(501)
たいわんからすあげは

第二十七圖(1)(2)(♂)

學名 Papilio dialis Leech.

昆蟲學上ノ地位　鳳蝶科

前種ニ酷似スレドモ其異ナル所ハ左ノ如シ、
翅ハ天鵞絨樣ノ黑色ニシテ前翅ニハ金綠ノ鱗毛少ナク、中室ニテハ殆ンド之レヲ缺キ唯ダ基部ニ其少量ヲ有スルニ過ギズ、第一乃至第四脈上ニアル天鵞絨樣ノ黑毛ハ何レモ明瞭ニ分離シ、第一脈(Ib)上ニアルモノ最モ太シ、緣毛ハ白色ト黑色ノ斑ヲナス、後翅ノ鱗毛モ亦遙ニ少ナク、隨テ黑味勝ナリ、翅端ニ近キ靑色ノ弦月紋ハ一層深ク彎曲シテ半環ヲナシ、尾狀突起ハ太クシテ短カク之レニ靑色鱗ヲ密布ス、肛角紋ハ朱色ニシテ半環ヲナス、裏面ハ黑色、金色鱗ヲ缺キ、後翅底ニ其少量ヲ散在シ靑色鱗ヲ混ズ、前翅ノ後緣角ニ近ク白色ノ大紋アリテ中央ニテ

黒線ニヨリ二分セラル、後翅ノ朱色紋ハ大ニシテ稍々半環ヲナシ、第五及ビ第六室ニアルモノハ中央ニ一突起ヲ出シ、肛角ニアルモノハ楕圓環ヲナス、凹陷部ノ緣毛ハ白色ニシテ短カシ、腹部ニ緣鱗少ナシ、開張(♂)四寸二三分内外、此ハからすあげはト混ジ居レドモ稀ナリ、注意セザレバ混同スベシ、余ハ埔里社ヨリ十數匹ノ本種ヲ得タレドモ未ダ雌ヲ見ダルコトナシ、

分布—臺灣、支那、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. andronicus Fruhs. ト云フ、

第三十一圖(2)
(♂)

(502) るりもんあげは

學名 Papilio polyctor Boisd.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

からすあげはニ酷似スレドモ雄ノ前翅ニ於ケル天鵞絨樣ノ黑毛ハ全部分離シ、第二及ビ第三脈上ニアルモノハ兩端甚ダシク尖小ス、外緣ニ近キ黃綠帶ハ稍々同幅ニシテ前緣ニ達セズ、後翅ニ於ケル青藍色若クハ綠藍色ノ大紋ハ長クシテ前緣ヨリ稍々肛角紋ニ達シ、第五及ビ第六室ニテ幅廣シ、肛角紋ハ黑色、其周圍ハ紅色、尙ホ三四個ノ紅色紋ヲ外緣ニ連ヌルモノアリ、開張(♂)(♀)三寸二分—三寸四分内外、此ハ臺灣ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. thrasymedes Fruhs. ト云フ、

第二十六圖(2)
(♀)

(503) ほっぽあげは

學名 Papilio hoppo Mats.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

からすあげはニ酷似スレドモ其異ナル所ハ左ノ如シ、

後翅ノ前半ハ青藍色ナレドモ第七室ノ末端ニ近ク黑色ノ一紋ヲ具ヘ、第六室ハ末端ヲ除キ全部青藍色、斑紋ナシ、第二乃至第五室ノ中央ニ近ク黑紋ヲ具ヘ、其外側ハ朱色ノ新月紋ニテ界セラル(第五室ヲ除キ)、肛角ノ朱色紋ハ弦月形ヲナシ少シク青藍色ノ鱗毛ヲ混ズ、雌ニテハ第一乃至第五室ニ朱色ノ楕圓紋ヲ具ヘ、第六及ビ第七室ニアルモノハ弦月形ヲナス、前翅裏面ノ外半ハ灰色、後翅ノ外半ニ二重ノ朱色楕圓環アリテ內方ニアルモノハ三角形ヲ呈シ、第六及ビ第七室ニテハ內紋ヲ缺ク、

開張(♂)(♀)三寸三分—三寸五分、臺灣北埔地方ニ產スレドモ其數多カラズ、余ハ明治四十年初メテ故渡邊龜作氏ノ捕獲セルモノヲ得、其後阿里山(海拔八千尺)及ビ埔里社ニテ各二頭ヲ得タルニ過ギズ、

分布—臺灣(北埔、埔里社、阿里山)、

第二十六圖(1)
(♀)

(504) あをもんあげは

學名 Papilio paris L.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

翅ハ黑色、綠色鱗ヲ散在ス、後翅ニテハ更ニ綠色鱗多シ、前翅ノ外緣ニ近キ三分ノ一ノ處ニ綠色鱗ノ一帶アリテ斷續セリ、第二及ビ第三脈上ニアルモノハ太ク紡錘狀ヲナス、後翅ノ中央ニ近ク菱形ノ大ナル靑綠紋アリテ尾狀トナリテ內緣ニ達ス、肛角ノ眼狀紋ハ朱色ニシテ半環ヲナシ、之レニ藍色鱗ヲ裝フ、裏面ハ灰黑、灰黃ノ小點ヲ散在スレドモ前翅ノ外緣及ビ中央ニ之レヲ缺ク、後翅ニ朱色ヲナセル眼狀紋ノ一列アリテ、第三乃至第七室ニアルモノハ半環ヲナシ、藍色鱗ヲ有スルコト表翅ノ眼狀紋ニ異ナラズ、開張(♂)(♀)三寸內外、之レハ臺灣ニテ何レノ地方ニモ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、爪哇、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. hermosanus Rebel ト云フ、

第二十六圖(3)(♀)

(505) たいわんもんきあげは

學名 Papilio chaon West.

昆蟲學上ノ地位　鳳蝶科

翅ハ黑色、金色ノ小鱗ヲ疎ニ散在シ、前翅ノ中室ニ金色ノ小鱗ヨリ成レル四縱條ヲ具ヘ、何レモ中室端ニ達セズ、後翅ノ第四乃至第七室ニハ黃色紋アリテ第五及ビ第六室ニアルモノ外側ニテ刳ラレ、第五室ニアルモノハ最モ長シ、裏面、前翅ノ中室ニアル四縱條ノ內最下ノ二條ハ相合シテ有柄トナリ、外緣ニハ小白紋ヲ列ネ、第一室ノ外側ニ近ク二個ノ白紋アリ、後翅ノ白紋ハ表翅ノモノト同樣

ナレドモ小ニシテ白色、外緣ノ弦月紋及ビ第一乃至第三室ニアル小紋ハ黃色、但シ第一室ニハ二紋アリテ其下方ニアルモノハ大ニシテ一字形ヲナス、開張(♂)(♀)三寸五分—三寸七分、臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言)　臺灣產ノモノハ變種ニシテ Var. chaonulus Fruhs. ト云フ、

第二十六圖(4)(♀)

(506) をなしもんきあげは

學名 Papilio castor West.

昆蟲學上ノ地位　鳳蝶科

翅ハ黑色、金色鱗ヲ疎ニ散在ス、前翅ノ中室ニハ淡色ノ四縱條アレドモ餘リ判然セズ、後翅ノ第四乃至第七室ニ黃色紋アリテ中央ニアル二個ハ大ナリ、前種ノ如ク其外側ハ刳ラレズ、裏面、前翅中室ノ四縱條ハ隆起スレドモ地色ヲ呈シ、外緣ニハ白色點ヲ列ス、後翅ニハ金色鱗多ク、第四乃至第六室ニアル紋ハ大ニシテ白色、表翅ノモノヨリ少シク小形、第三室ノ基部ニアル一紋及ビ第七室ノ末端ニアル二紋ハ小ニシテ白色、雌ニテハ尾狀突起ヲ缺ケドモ雄ニテハ短カキ尾狀突起ヲ有ス、開張(♂)(♀)三寸—四寸、臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosanus Rothsch. ト云フ、

(507) ながさきあげは(有尾形)

學名 Papilio memnon L. var. distantianus Rothsch.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

雌ノ前翅ハ灰色、周圍、脈、中室ノ四縱條及ビ翅底ハ黑色、各室ノ一縱條ハ暗色、中室ノ基部ハ朱色ニシテ楔狀ヲナス、後翅ハ大部黑色、各室ノ一紋及ビ中室ノ末端ニアル一紋ハ灰白、何レモ外緣ニテ少シク朱色ヲ帶ビ、中室紋ハ基部ニテ朱色ヲ帶ブ、第一室ノ下半ハ朱色ニシテ中央ニ眞黑ノ一紋ヲ裝フ、尙ホ各室ノ末端モ亦朱色ヲ帶ブ、裏面、表面ト異ナラズト雖ドモ後翅ノ斑紋ハ判然ス、翅底ニ五個ノ朱色紋アリテ何レモ脈ニテ分離セラレ、第七室ノ中央ニ近ク赤色ノ二小紋アリ、開張雌四寸二分—五寸、臺灣ニ稀ナラズ、

第二十八圖(3)(♂)(4)(♀)

分布—臺灣、支那、馬來、印度、

第二十八圖(2)(♀)

(508) わたなべあげは

學名 Papilio thaiwanus Rothsch.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

雄翅ハ天鵞絨樣ノ黑色、外半ニ黃色及ビ藍色ノ小鱗ヲ散在シ、各室ニ濃色ノ一縱條アリ、後翅ハ前翅ヨリモ少シク細ク、外緣ノ凹陷部ハ白色、少シク藍色鱗ヲ散在ス、眼狀紋ハ朱色ニシテ半環ヲナス、裏面、淡色、前翅ノ翅底ニ二個ノ朱色紋ヲ裝フ、後翅ノ內緣ハ廣ク朱色、第一室ニ二個、第二及ビ第三室ニ各三個ノ黑紋ヲ具ヘ、第四乃至第六室ニハ朱色ノ一紋アリテ、第四室ニアルモノハ半環ヲナス、尾狀突起ヲ缺ク、雌ニテハ翅ハ灰黑色、前翅底ニ朱色ノ楔狀紋ヲ具ヘ、中室及ビ各室ノ縱條ハ黑色、後翅ノ第五乃至第七室ニ各一個ノ白紋ヲ具ヘ、其外側ニ黑色ノ圓紋アリ、第二乃至第四室ニ各三黑紋ヲ具ヘ、中室ニアルモノハ楔狀ヲ呈シ大ナリ、末端紋ノ周圍ハ廣ク朱色、第一室ニハ二黑紋アリテ末端紋ノ周圍ハ同ジク朱色ナリ、裏面ハ雄ト異ナラザレドモ後翅朱色ノ部分多ク、第二乃至第四室ニハ各三個ノ黑紋ヲ具ヘ、第一室ニハ二個アリ、第五及ビ第六室ノ白紋ハ表翅ト異ナラズ、第七室ニ弦月形ノ朱色紋ヲ裝フ、開張(♂)(♀)三寸—三寸八分、臺灣北埔、埔里社地方ニ稀ナラズ、雄ハをなしくろあげはニ酷似スレドモ裏面ニ赤紋多キヲ以テ容易ニ區別シ得ベシ、

第三十一圖(1)(♀)

分布—臺灣、

(509) あかねあげは

學名 Papilio rumanzovia Esch.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

前種ニ似レドモ雌ハ白紋ヲ缺キ、前後翅ノ翅底ハ紅色、後翅ニテハ第二室ノ基部モ亦紅色ニシテ內側ニテ同色ノ翅底紋ト相合ス、第一、第二及ビ第三室ニ大ナル紅色紋アリテ其中央ニ圓形ノ大黑紋ヲ裝フ、尙ホ第四室ノ末端ニモ一紅色點ヲ有ス、第三乃至第七室ニ白色ノ鱗毛アリテ稍々縱條ヲナ

ス、裏面モ亦前種ニ酷似スレドモ第一室ノ紅色條ハ中央ニテ遮斷シ、第一及ビ第二室ノ紅色紋ハ黑色ノ一圓紋ヲ有スレドモ、第三室紋ハ二圓紋ヲ有セリ、第四乃至第七室紋ハC字形ヲナス、雄ハ表翅全部黑色ニシテ後翅ノ第二乃至第七室ニ各二條ノ灰白線ヲ縱走シ、第一室ノ肛角ニC字形ノ紅色紋ヲ裝フ、開張(♂)(♀)四寸六分—五寸、此ハ臺灣恒春地方ニ產スレドモ甚ダ稀ナルガ如シ、

分布—臺灣、比利賓、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. semperinus Haas. ト云フ、

第二十八圖
(4)
(♀)

(510) たいわんじやこうあげは

學名 Papilio (Pharmacophagus) sebanus Fruhs.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

翅ハ灰黑、前翅ノ周圍、中室ノ四縱條及ビ各室ノ一縱條ハ黑色、後翅ハ天鵞絨樣ノ黑色、各室ノ末端ニ近ク朱色ノ半月紋アリテ第二室ニアルモノ最モ大ナリ、裏面、前翅ニテハ表面ト異ナラズト雖ドモ後翅ハ黑色、各室ノ末端紋ハ紅色ニシテ肛角ニ至ルニ隨ヒ其大サヲ增ス、頭、頸、胸側及ビ腹側ノ大部ハ紅色、雄ニテハ後翅ノ全部天鵞絨樣ノ黑色、朱色紋ハ大ニシテ第二室ニ二個アリ、裏面ニテハ紋更ニ一層大ニシテ第二及ビ第三室ニ各二紋ヲ裝フ、開張(♂)(♀)三寸—四寸、臺灣鵝子嶺地方ニ產スレドモ其數多カラズ、

分布—臺灣(鵝子嶺、

第二十九圖
(1)
(♀)

(511) あけぼのあげは

學名 Papilio (Pharmacophagus) horishanus Mats.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

雄翅ハ天鵞絨樣ノ黑色、後翅內緣ノ半部ハ灰色、裏面少シク淡色ニシテ、中室ノ四縱條及ビ各室ノ一縱條ハ黑色、後翅ノ外半(內緣ヲ除キ)ハ朱色、第二乃至第四室ニ各二個ノ黑紋ヲ具ヘ、第五室ニハ一黑紋アリ、頭、頸及ビ胸腹兩側ノ大部ハ紅色、雌ニテハ翅ハ灰色、前翅ノ前緣、外緣、中室ノ四縱條及ビ各室ノ一條ハ黑色、後翅ノ外半ハ朱色、第二乃至第五室ニ各二個ノ黑紋ヲ具ヘ、內方ニアルモノハ大ニシテ楕圓形ヲ呈ス、裏面ノ斑紋ハ雄ト異ナラズ、開張(♂)(♀)三寸八分—四寸三分、此ハ初メ臺灣埔里社ノ蕃界ニ發見セラレタレドモ其後阿里山ニモ產スルヲ知ルニ至レリ、

分布—臺灣(阿里山、埔里社)

第二十九圖
(2)
(♀)

(512) おほべにもんあげは

學名 Papilio (Pharmacophagus) philoxenus Gray.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

翅ハ天鵞絨樣ノ黑色、前翅ハ灰黑色、中室ノ細キ四縱條、各室ノ一縱條及ビ翅底ハ黑色、後翅ノ內緣ハ灰黑、第四及ビ第五室ニ白紋アリテ、第五室ニアルモノハ大ニシテ四角形ヲナス、第二乃至第

四室ニ朱色ノ弦月紋アリ、第三及ビ第四脈ノ末端ハ廣ク朱色ナリ、裏面、後翅ノ斑紋ハ紅色、第二乃至第四室ニ各二紋アリテ第四室ノ基部ニアルモノハ白色ナリ、第三及ビ第四脈ノ末端ニアル紋モ亦紅色ナリ、頭、頸、並ニ胸腹兩側ノ大部ハ紅色、開張(♂)(♀)三寸三分—四寸七分、臺灣北埔其他高山ニハ普通ナルガ如シ、

分布—臺灣(北埔、達邦社、阿里山)、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. termessus Fruhs. トス、

第二十九圖(3)(♀)

(513) きしたあげは

學名 Papilio (Ornithoptera) acacus Feld.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

雌翅ハ黑色、中室(內側ヲ除キ)及ビ各室(外側ヲ除キ)ノ周圍ハ灰白、外緣ニ白色ノ弓狀紋ヲ列ス、後翅ハ金色、翅底及ビ各室ノ二紋ハ黑色、內緣ハ灰白、其中央ニ暗色ノ一縱條アリ、外緣ノ弓狀紋ハ前翅ノモノヨリ廣シ、裏面、前翅ニテハ表面ト異ナラザレドモ後翅ニアリテハ斑紋更ニ一層判然シ、第七室ハ黑色ニシテ之レニ二個ノ金色紋ヲ裝フ、頭、頸及ビ胸側ニ紅色ノ部分アリ、腹側及ビ腹面ノ大部ハ金色、開張四寸五分—五寸五分、臺灣恒春地方ニ稀ナラズ、高飛スルヲ以テ其時ヲ待チ捕獲シ得ベシ、

分布—臺灣(恒春)、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosanus Rothsch. トス、

第二十九圖(4)(♂)

(514) するすみあげは

學名 Papilio (Cosmodesmus) sarpedon L. var. surusumi Mats.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

雄翅ハ暗色、前翅ノ翅端ニ近ク蒼白ノ一紋ヲ具ヘ、其直下ニ灰白ノ一帶アリテ後緣ニ達ス、之レハ下方ニ至ルニ隨ヒ其太サヲ增ス、後翅ノ內緣ハ廣ク灰白、各室ノ中央ニ近ク蒼白ノ弓狀紋ヲ列ヌ、裏面、前翅ニテハ表面ト異ナラズト雖ドモ後翅ニテハ翅底ニ紅色ノ弓狀紋ヲ具ヘ、其前緣ニ接スル所ニ灰白紋アリ、中央帶ハ一層濃色ニシテ第七室ハ兩端ヲ除キ廣ク暗黑、中室ノ外方其他第一乃至第四室ニアル紅色紋ハくろたいまいニ酷似ス、開張二寸五分、此ハ臺灣埔里社白狗地方ニ捕獲セラレタルモノニシテ餘リ多カラザルガ如シ、

分布—臺灣(埔里社)、

第三十圖(1)(♀)

(515) こもんたいまい

學名 Papilio (Cosmodesmus) agamemnon L.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

翅ハ黑色、黃綠ノ小紋ヲ散在ス、翅底ハ黃綠、前翅第一室ノ基部ニアルモノ、後翅ノ中室ニアルモ

ノ及ビ後翅第二室ノ基部ニアルモノハ長シ、尾狀突起ハ短カシ、裏面、暗色、桃色ヲ帶ビタル部分アリ、斑紋ハ表面ノモノト異ナラズト雖ドモ淡色、前翅底ニ紅色部アリ、後翅ノ第七室ノ中央ニ白紋アリテ、其內側ニ小黑紋ヲ具ヘ、更ニ其內側ハ紅色ニテ緣取ラル、第六室ノ基部ニモ小紅色紋アリ、翅底ヲ除キ他ノ斑紋ハ總テ淡色、顏及ビ胸側ニ桃色ノ毛ヲ有ス、開張(♂)(♀)二寸七分—三寸二分、

臺灣恒春地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣(恒春)、支那、馬來、印度、

(516) あさくらあげは

第三十圖(6)(♀)

學名 Papilio (Cosmodesmus) eurous Leech.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

翅ハ黃白、紋條ハ黑色、前翅ノ中室ニ五帶アリテ其二條ハ延長シテ後緣ニ達シ、他ノ三條ハ中脈ノ處ニテ屈曲シテ縱脈ノ中央ニ達ス、橫脈ノ外方ニ三帶アリテ第一ハ短カク前緣ヨリ第五脈ノ處ニ達スルニ過ギズ、外緣ハ廣ク黑色、後翅ノ基部ニ二帶ヲ具ヘ、外緣ニ近ク二條アリテ前翅ノ黑條ニ連續ス、眼狀紋ハ橙黃色、其下方ニ藍色ノ一紋アリ、後緣ハ黑色、藍色ノ三紋ヲ具ヘ、尾狀突起ノ末端、其中央ノ縱條及ビ內緣ハ白色、裏面ハ淡色、後翅ノ中央ニ黃色ノ一帶アリ、開張(♂)(♀)二寸六七分、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣(埔里社)、支那、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. asakurae Mats. ト云フ、

第三十圖(2)(♂)(3)(♀)

(517) きべりあげは

學名 Papilio clytia L.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

翅ハ黑色、黃白紋ヲ散在ス、前翅中室ニ三縱條アリテ之レハ末端ニ近ク遮斷セラル、各室ニ二乃至三紋アリテ外緣ニ小紋ヲ列ヌ、後緣ノ縱條ハ少シク靑味ヲ帶ブ、後翅ハ大部黃白、脈ハ太ク黑色、各室ニ二黑紋アリテ內側ニアルモノハ∧字形ヲナス、肛角紋ハ橙黃色、外緣ニ黃鱗ト白鱗トヲ混ジタル弓狀紋ヲ列ヌ、裏面ノ斑紋ハ表面ノモノヨリモ一層判然シ、後翅ノ外緣及ビ後緣ニ橙黃ノ大紋ヲ列ヌ、腹部ニ黑色ノ六縱條ヲ具ヘ、頭胸ニ白紋ヲ散在ス、開張(♂)(♀)三寸內外、之レハ臺灣恒春地方ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣(恒春)、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノニシテ變種アリ之レヲ Var. onpape Moor. (第三十圖(3)ト云フ、之レハ全體黑色ニシテ外緣ニアル二列ノ紋ノミ黃白ナリ、之レハ支那、印度地方ニモ產ス、

第三十二圖(3)(♀)

(518) かばしたあげは

學名 Papilio agestor Gray.

昆蟲學上ノ地位　鳳蝶科

前翅ハ黑色、中室ノ大部(前緣及ビ外緣ヲ除キ)、其外緣ノ二紋、各室ノ基部ニアル一紋及ビ外緣ノ二紋列(但シ第六乃至第七室ニハ一紋アリ)ハ綠灰色、後翅ハ褐色、翅底ノ半部ハ綠灰色、橫脈及ビ中室ノ二縱條ハ黑色、中室外ニ綠灰色ノ四紋アリ、尙ホ外緣ニ白色ノ弦月紋アリテ二列ヲナス、裏面ハ褐色、斑紋ハ表翅ニ異ナラザレドモ外緣ノ大部ハ褐色、後翅ノ中室ニ灰白ノ三縱條ヲ具ヘ、其外方ニ四紋ヲ連ネ、外緣ニアル弦月紋ハ表翅ノモノヨリモ判然シ大ナリ、開張(♂)(♀)三寸二分—三寸五分、此ハ斑蝶亞科ニ屬スルあさぎまだらニ酷似セル種類ニシテ飛翔ノトキ注意セザレバ見紛フコトアリ、臺灣ニテハ阿里山地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. matsumurae Fruhs. ト云フ、

第三十二圖(4)(♀)

(519) きぼしあげは

學名　Papilio epycides Hew.

昆蟲學上ノ地位　鳳蝶科

雌雄翅ハ暗色、前翅中室ノ三縱條、第一室ノ二縱條ヲナセル外緣ノ一紋列ハ黃白、後翅ノ中室ニアル三縱條、第一室ノ一縱條、各室ノ基部ニアル一紋及ビ外緣ニアル二紋列ハ黃白、肛角紋ハ橙黃色、裏面ハ少シク褐色ヲ帶ビ、斑紋ハ表翅ノモノト同

樣ナレドモ少シク淡色ナリ、胸腹ニ白紋ヲ散在ス、開張(♂)(♀)二寸一分—二寸七分、臺灣北埔地方ニ產スレドモ其數多カラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. melanoleucus Ney. ト云フ、

第三十二圖(2)(♀)
第五十二圖(1)(♂)

(520) ひめぎふてふ

學名　Luehdorfia puziloi Ersch.

昆蟲學上ノ地位　鱗翅目鳳蝶科

翅ハ黃色、斑紋ハ黑色、前翅ニ六帶アリテ第二及ビ第四帶ハ短カク、之レハ獨立シテ他紋ト合セズ、黃色ノ亞外緣線ハ前後ノ兩緣ニ達シ、第八室ニテ少シク內方ニ曲リ、第一室ニテハ少シク波狀ヲナス、後翅中室ノ末端ニアル一斜帶、內緣及ビ各室ノ一紋第二室ニアルモノ最モ大ナリ)ハ黑色、外緣ハ廣ク黑色、其內ニ藍色紋ヲ列ネ、第二乃至第五室ノ末端ニ黃紋ヲ具ヘ、第一乃至第四室ノ中央ニ淡紅紋ヲ列ヌ、緣毛ノ凹陷部ハ黃白、肛角紋ハ淡紅、其內方ハ黑色ノ細キ弓狀線ニテ、外方ハ同色ノ小楕圓紋ニテ緣取ラル、尾狀突起ハ短カシ、裏面ハ表面ト異ナラザレドモ、後翅ニ各室ノ中央ヲ橫斷スル太キ赤帶ヲ具ヘ、外緣ノ橙黃紋ハ四個ニシテ大ナリ、だんだらてふニ似レドモ色ハ鮮黃、後翅ノ外緣紋ハ黃色、雌ノ尾端ニアル椀狀ノ附屬物ハ淡褐ナリ、北海道及ビ本州ニ產スレドモ餘リ多カラズ、開張(♂)(♀)一寸七分—二寸內外、

分布—北海道(天鹽、石狩)、本州、(信州、岩手)、朝鮮、滿洲、

(附　言) 本州ニ産スルモノハ變種ニシテ Var. inexacta Shelj. (第五十二圖(1))ト云ヒ、北海道ニ産スルモノヲ Var. jezoensis Mats. (第五十一圖(2))ト云フ、

Luehdorfia puziloi Ersch. var. jezoensis n. var. (pl. XXXII, fig. 2, ♀).

♀ Differs from var. *inexacta* Shelj. in the following characters: Colour paler, cross bands broader, the 3rd, 5th and 6th bands being somewhat broader than the others. Pale yellowish spots only distinct at the 4th and 5th interspaces and much narrower, the anal patch being paler and inconspicuous. The tail much shorter. The pouch of the female paler.

Exp.—50 mm.

Hal.—Hokkaido (Teshio), 2 female specimens collected in the early part of June by Mr. S. Sugawara.

第三十圖(4)(♀)
(5)(♀)

(521) ほそをてふ

學名 Sericinus telamon Don.

昆蟲學上ノ地位　鳳蝶科

翅ハ黃白、斑紋ハ黑色、前翅ノ前緣、中室ノ一紋、橫脈上ノ一紋、橫脈上ノ一紋、中室ノ外側ニアルニ橫紋(此內外側ニアルモノハ細ク延長シテ後緣ニ達ス)及ビ外緣ノ上半ハ黑色、尙第一室ヨリ第三室ニ渡リテ太キ橫紋ヲ具ヘ、第三室ニ圓紋ヲ有ス、後翅ノ內緣ハ黑色、前翅前緣ノ中央ヨリ肛角ニ向テ一弓狀帶ヲ出シ、第一室ヨリ第三室ニ渡リテ紅色帶ヲ具ヘ、其後方ニ三個ノ靑藍色紋アリ、尾狀突起ハ細長ニシテ其脈及ビ中央部ハ暗色、各脈ノ末端ハ黑色、裏面ハ表面ニ異ナラズト雖ドモ後翅ノ紅色帶ハ判然シ、尙ホ第五及ビ第七室ニモ紅色紋ヲ裝フ、體長ハ黑色、頸ニ二紅色紋アリ、開張(♂)(♀)二寸五分

內外、朝鮮ニ產スレドモ餘リ多カラズ、第三十圖(4)ニ描ケルモノハ夏性ナリ、

分布—朝鮮、滿洲、支那、

(附　言) 第三十圖(5)ニ描ケルモノハ變種ニシテ Var. fixeni Stgr. ト云ヒ、春性ノモノナリ、翅ハ全體暗色、黃紋ヲ裝ヒ、後翅ニ一紅色帶アリテ第一室ヨリ第五室ニ達シ、第六七ノ兩室ニモ紅色紋アリ、裏面ノ斑紋ハ淡色ニシテ殊ニ後翅ニアリテハ黑紋ヲ散在ス、

第二十九圖(5)(♀)

(522) えぞうすばしろてふ

學名 Parnassius jezoensis Mats.

昆蟲學上ノ地位　鳳蝶科

ひめうすばしろてふニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

一、雌翅ハ暗色ヲ帶ビ、全面半透明ナルコト、

二、翅ハ長クシテ細ク、後翅內緣ノ黑色部ハ淡色ニシテ其末端ニ近ク白紋ヲ缺ク、

三、中室ニ斑紋ヲ缺キ、後翅中室ノ基半部ハ黑色、

四、各室ニ黑鱗ヲ密布シ、黃白鱗ハ稀ナリ、

五、腹部ニ黑鱗ヲ具ヘ、黃色鱗ヲ缺ク、

六、尾端ニアル雌ノ所有セル椀狀ノ附屬物ハ遙ニ短形ニシテ腹半ニ達スルニ過ギズ、開張(♀)二寸一分內外、稀ナリ、

此ハ札幌定山溪附近ニ發見セラレタルモノニシテ余ハ初メ之レヲひめうすばしろてふノ變種トセシモ翅面鱗毛ノ大部黑色ナルヲ知ルニ及ビ前記ノ差異アルヲ發見シタリ、

分布—北海道(定山溪)、

Parnassius jezoensis n. sp. (pl. XXIX, fig. 5, ♀).

Closely allied to P. *stubbendorfii* Mén, but differs from the latter as follows:

1. Colour of the wings much darker and the whole surface pellucid.
2. Wings narrower and longer.
3. Discoidal cell lacking any spot, basal half of the hind discoidal cell fuscous.
4. All interspaces fuscous scaled, with very few pale yellowish scales.
5. The pouch of the female much shorter, scarcely reaching the middle of the abdomen.
6. Abdomen above with black scales, lacking pale yellowish ones, with very few pale yellowish hairs.

Exp.—63 mm.

Hab.—Hokkaido (Jozankei), 3 female specimens collected in the early part of August by the author.

第三十二圖(1)(♀)

(523)

ひめうすばしろてふ

學名 Parnassius stubbendorfii Mén.

昆蟲學上ノ地位 鳳蝶科

うすばしろてふ(千四、六十三圖(4)ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

一、雄ニテハ頭頂、前胸背、胸側、腹基部ノ兩側並ニ腹面ニアル長毛ハ黃白ニシテうすばしろてふノ如ク橙黃色ナラズ、

二、翅ハ白色、少シク綠色ヲ帶ビ、前翅ノ中室ハ明瞭ニ短カク、隨テ縱脈ハ長シ、第二脈ト第三脈ノ間ハ第三脈ト第四脈ノ間ヨリモ基部ニテ遙ニ廣シト雖ドモうすばしろてふニテハ稍々同幅ナリ、

三、後翅ニテモ中室ハ短カク、縱脈長ク、基部ニ黑鱗多ク、殊ニ中室ノ基部、第二及ビ第三室ノ基部ニ多キヲ見ル、

四、兩翅トモ鱗毛少ナキヲ以テ一層透明ナリ、開張(♂)(♀)二寸一分—二寸二分內外、此ハ樺太ニ普通ナレドモ札幌地方ニハ餘リ多カラズ、

分布—樺太、千島、北海道、

(附言) 北海道札幌地方ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. hoenei Schweitz. ト云フ、尙ホ樺太、千島、根室地方ニ產スルモノハ原種ニ近キモノニシテ何レモ多少ノ變化アレバ爰ニ變種トシテ記載セズ、然レド札幌地方ニ產スルモノヨリハ遙ニ小形ナリ、

第三十三圖(9)(♂)

(524)

たかむくてふ

學名 Betaporia moltrechti Oberth.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科 (Pieridae)

雄翅ハ暗黑色、前翅ニ黃白ノ二紋列アリテ、第一室ノ內方ニアルモノハ延長シテ基部ニ達ス、第三

ふノ如ク橙黃色ナラズ、

二、翅ハ白色、少シク綠色ヲ帶ビ、前翅ノ中室ハ明瞭ニ短カク、隨テ縱脈ハ長シ、第二脈ト第三脈ノ間ハ第三脈ト第四脈ノ間ヨリモ基部ニテ遙ニ廣シト雖ドモうすばしろてふニテハ稍々同幅ナリ、

三、後翅ニテモ中室ハ短カク、縱脈長ク、基部ニ黑鱗多ク、殊ニ中室ノ基部、第二及ビ第三室ノ基部ニ多キヲ見ル、

四、兩翅トモ鱗毛少ナキヲ以テ一層透明ナリ、開張(♂)(♀)二寸一分—二寸二分內外、此ハ樺太ニ普通ナレドモ札幌地方ニハ餘リ多カラズ、

分布—樺太、千島、北海道、

(附言) 北海道札幌地方ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. hoenei Schweitz. ト云フ、尙ホ樺太、千島、根室地方ニ產スルモノハ原種ニ近キモノニシテ何レモ多少ノ變化アレバ爰ニ變種トシテ記載セズ、然レド札幌地方ニ產スルモノヨリハ遙ニ小形ナリ、

第三十三圖(9)(♂)

(524)

たかむくてふ

學名 Betaporia moltrechti Oberth.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科 (Pieridae)

雄翅ハ暗黑色、前翅ニ黃白ノ二紋列アリテ、第一室ノ內方ニアルモノハ延長シテ基部ニ達ス、第三

室ノ基部ニアルモノハ小、第一、第四及ビ第五室ニアルモノハ長形、尚ホ中室ニ黄色鱗ヨリ成レル一縦紋アレドモ餘リ判然セズ、後翅ニ橙黄紋アリテ中室ニアルモノハ大ニシテ長シ、各室ニ二紋列アリテ第一乃至第三室紋ヲ合シテ一長紋トナル、内縁ハ廣ク白色、裏面ハ表翅ニ異ナラザレドモ斑紋ハ大ニシテ判然ス、前翅ノ中室ニ長キ一縦條アリ、後翅ノ橙黄紋ハ何レモ分離シ、第二乃至第五室ニアルモノハ小ナリ、内縁ハ黄色、脈ハ黒色、開張(♂)二寸三分、此ハ臺灣埔里社ニテ捕獲セラレタルモノニシテ高橋帥吉氏ノ送附ニ係ルモノナリ、頗ル稀ナルガ如シ、

分布―臺灣埔里社、

Betaporia n. g.

Very near to *Aporia* Hb., but differs from the latter as follows:

In the primaries vein 10 equidistant from the upper angle of the discoidal cell and vein 11; lower discocellular nearly straight, and which is distinctly shorter than the interspace of the median vein between vein 3 and 4. In the secondaries discoidal cell more rounded on the onterside, upper discocellular much longer and scarcely shorter than the middle and lower taken together. Antennae much longer, broadly spatulate at the apices; 3rd joint of the palpi scarcely narrower than the 2nd and subequel in length. Genotype:—*Betaporia moltrechti* Oberth.

(525) たまのへてふ　　第三十一圖(5)(♀)

學名 Aporia hippia Brem. et Grey.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

雌雄ハ翅ノ白色、前翅ノ前縁、外縁、横脈上ノ一帯及ビ脈ハ黒色、外縁ニハ三角形ノ黒紋ヲ列ネ相連續ス、後翅ノ外縁ハ細ク黒色、脈ハ黒色ナレドモ、第二乃至第五脈迄ハ白色、裏面ハ少シク黄色ヲ帯ビ、後翅ノ基部ハ橙黄色、脈ハ黒色、其周圍ハ廣ク黒色ニシテすぢぐろてふニ酷似ス、開張(♂)二寸一分内外、信州諏訪地方ニハ普通ナレドモ他ニハ稀ナリ、

分布―本州、臺灣、支那、滿洲、

附言　本邦ニ産スルモノハ變種ニシテ Var. japonica Mats. ト云フ、原種ト異ナル所ハ後翅ハ丸味ヲ帯ビ、裏面ノ脈ニ沿ヒ黒條ハ遥ニ太キニアリ、尚臺灣ニ産スルモノモ變種ニシテ Var. taiwana Mats. ト云フ、此ハじやぼにか形ニ酷似スレドモ前翅ノ幅狭ク外縁ハ一層丸味ヲ有スルニアリ、

Aporia hippia Brem. et Grey. var. japonica n. var. (pl. XXXII, fig. 5, ♀).

Differs from the type in having much rounded hindwings and very broad fuscous bands along the veins.

Exp. 62—66 mm.

Hab.—Honshu (Shinano); 4 ♂ specimens collected by Messers. Kyuchi Kanai and Shinji Kawai in the early part of July on Mt. Asama and in the vicinity of Suwa lake.

do. var. taiwana n. var.

Differs from var. *japonica* Mats. in having more narrower primaries and more rounded apex and termen to the primaries.

Hab.—Formosa (Hoppo); one male specimen collected by the late Kamesaku Watanabe.

(526) てうせんしろてふ

學名 Leucochloe daplidice L.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

雌翅ハ白色、翅底ハ灰色ヲ帶ブ、前翅横脈上ノ一紋、後翅ノ各室ニ一暗色紋ヲ具ヘ、尙脈端ニモ一暗色紋ヲ裝フ、中央ニハ判然セザル裏面ノ斑紋ヲ透視シ得ベシ、裏面、中室ノ基半部及ビ翅端ノ大部(四白紋ハ表面ト同樣)ハ綠黃、横脈上ノ一紋、第一室及ビ第三室ノ一紋ハ黑色、後翅ハ暗綠、白紋ヲ散在ス、內綠ハ白色、雄ノ異ナル處ハ形ノ遙ニ小ニシテ、前翅ノ第一室ニ黑紋ヲ缺キ、後翅ニ斑紋ナシト雖ドモ裏面ノ斑紋ヲ透視シ得ベク、裏面ニテハ後翅ノ內緣暗綠ナルニアリ、開張(♂)(♀)一寸三分—一寸八分、此ハ朝鮮、滿洲、支那、歐洲、

第三十一圖(6)(♀)

(527) すぢぐろてふ

學名 Pieris napi L.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

雄翅ハ白色、前緣、翅端及ビ翅底ハ暗色、裏面ニテハ脈上ニ暗色ノ太キ縱條ヲ具ヘ、後翅ニテハ少シク黃色ヲ帶ビ、前緣ノ基部ハ黃色、雌ノ雄ト異ナル處ハ前翅第一及ビ第三室ニ黑紋ヲ具ヘ、後緣ハ廣ク黑色ニシテ翅端ニ於ケル黑紋ノ大ナルニアリ、裏面ニテハ前翅ノ第一及ビ第三室ニ一黑紋ヲ

第三十二圖(7)(♀)

裝フ、開張(♂)(♀)一寸二分—一寸九分、北海道及ビ東北地方ニ普通ナル種類ニシテ何レモ山間ニ住ス、

分布—樺太、北海道、本州(青森、岩手)、

(附　言)　拙著千蟲圖解第四卷六十八頁ニアルすぢぐろてふハうすもんしろてふ Pieris melete Mén. ノ過ナルヲ以テ訂正ス、又本邦ニ產スルすぢぐろてふハ變種ニシテ之レヲ Var. nesis Fruhs. ト云フ、

(528) たいわんもんしろてふ

學名 Pieris canidia Sparm.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

もんしろてふニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

前翅端ニアル紋ハ小、第三乃至第五脈ノ末端ニ黑紋ヲ具ヘ、第五脈ノモノ最モ大ナリ、後翅第三乃至第六脈ノ末端ニ黑紋ヲ具ヘ、此紋雌ニテハ一層大ナリ、尙第六室ニモ一黑紋アリ、裏面ハ黃色部ヲ缺キ、前翅底ノ半部ニ灰色鱗ヲ密布シ、後翅ニテハ全面ニ黑鱗ヲ密布スル爲メ稍々暗色ヲ呈セリ、尙ホ前緣ノ基部ニアル黃色部ハ短カシ、開張(♂)(♀)一寸五分—二寸內外、

分布—沖繩、臺灣等ニ普通ニシテ蔬菜ノ害蟲ナリ、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. sordida Fruhs. ト云フ、

第三十三圖(8)(♀)

(529) たいわんすぢぐろてふ

學名 Huphina nerissa F.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

雄翅ハ白色、前翅ノ前緣、外緣及ビ縱脈ハ黑色ニシテ殊ニ後者ハ末端ニテ三角形ノ黑紋トナル、後翅ノ外緣ニ三角形ノ黑紋ヲ列ネ、前翅ノ夫レヨリモ判然ス、裏面ハ少シク綠黃ヲ帶ビ、脈上ハ廣ク暗色、前翅中室ノ內側ニテ殊ニ判然ス、第一、第三及ビ第五室ニ黑紋ヲ具ヘ、後翅ニテハ第二、第三、第四及ビ第六室ニ黑紋アレドモ餘リ判然セズ、雌ニテハ翅暗色ニシテ白紋及ビ白條ヲ具ヘ、前翅ノ第一及ビ第三室ニアルモノハ黑紋ニテ遮斷セラル、後翅ニテハ中室ヲ貫キテ外緣ニ達スル一縱條ハ最モ太ク、第二乃至第四室ニハ黑紋アリテ白條ヲ遮斷ス、裏面ハ少シク黃色ヲ帶ビ、前翅ノ第一及ビ第二室ニ黑紋ヲ具ヘ、中脈上ニ太キ灰色條ヲ裝フ、後翅ニテハ表翅ノ斑紋ト略ボ同樣ナレドモ總テ淡色ナリ、開張(♂)(♀)一寸七分—二寸內外、臺灣ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. cibyra Frühs. ト云フ、

第三十二圖(9)(♀)
第三十四圖(1)(♂)

(530) みづあをしろてふ

學名 Catopsilia florella F.

第三十三圖(7)(♀)

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

此ハうらなみしろてふ(千蟲四、六十六頁)ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

觸角桃色ナルニ反シうらなみしろてふニテハ暗色ナリ、

前翅端及ビ外緣ハ狹ク黑色、外緣及ビ前緣ノ基部ハ少シク桃色ヲ帶ビ、第三乃至第七室ニ黑紋ヲ列ネ、後翅ノ外緣モ亦桃色ヲ帶ブ、裏面ハ黃色、前翅橫脈上ニ桃色紋ヲ具ヘ、後翅ニテハ銀色ノ三紋アリテ何レモ其周圍ハ桃色、第一乃至第七室並ニ翅底ニ桃色紋アリ、開張(♂)(♀)二寸二分內外、臺灣ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣、支那、印度、

第三十三圖(8)(♀)
第三十四圖(7)(♂)

(531) うすきてふ

學名 Catopsilia crocale Cram.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

雄翅ハ黃白、翅底ノ半部ハ黃色、前緣、翅端及ビ外緣ハ細ク黑色、後翅ニテハ大半黃色、外緣ハ黃白、裏面ハ全部黃色、第一乃至第三室ニ跨リ廣キ黃白ノ部分アリ、雌ハ白色、前翅ノ前緣、橫脈上ノ一紋、翅端及ビ外緣ハ黑色、翅端ノ黑紋中ニ二三ノ白紋ヲ列ス、翅底ノ三分ノ一ハ黃色、後翅ノ外緣ハ廣ク黑色、翅底ハ少シク黃色ヲ帶ブ、裏面ハ淡黃褐、前翅後緣ノ半部ハ白色、表面ノ斑紋ヲ透視シ得ベシト雖ドモ餘リ判然セズ、開張(♂)(♀)一寸九分—二寸二分、此ハ臺灣恒春地方ニ普通ナリ、

分布―臺灣、支那、印度、其他南洋諸島、

(532) うすきしろてふ

學名 Catopsilia pomona F.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

雄翅ハ白色、少シク綠色ヲ帶ビ、前翅底ノ三分ノ一ハ黃色、翅端及ビ外緣ハ細ク黑色、後翅底ノ約半分ハ黃色、裏面ニテハ橫脈上ノ一點、第三室ヨリ第五室ニ跨ガル一帶及ビ翅端ハ桃色、翅底(中室ノ下方)ハ黃色、後翅中室ノ外側ニ桃色ノ二眼狀紋アリテ中央ハ銀色ヲ帶ブ、外緣ニ近ク暗色ノ波狀帶アレドモ餘リ判然セズ、雌ニテハ全部黃色、前翅橫脈上ノ一紋、前緣ニ於ケル末端ノ三分ノ一、翅端、外緣及ビ各室ノ中央ニ近キ小紋等ハ黑色、後翅ノ外緣ニ黑紋ヲ列ス、裏面ハ橙黃色、前翅ノ橫脈上ニ黑環紋ヲ具ヘ、翅端及ビ外緣ハ黃褐、各室ニ褐紋アリテ、第三乃至第五室ニアルモノハ直線ヲナス、後翅ノ中室外ニ銀色ノ二眼狀紋アリテ其周圍ハ褐色、更ニ其外圍ハ黑色、各室ノ中央ニ近クへ字形ノ褐紋ヲ列ヌレドモ餘リ判然セズ、觸角ハ桃色ヲ呈ス、開張二寸―二寸二分、臺灣恒春地方ニ普通ナリ、

分布―臺灣、支那、印度其他南洋諸島、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ Var. catilla Cram. ナリ、

第三十三圖 (10) (♀)
第三十四圖 (8) (♂)

(533) くもまつまきてふ

學名 Anthocharis cardamines L.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

雄翅ハ白色、前翅ノ外半ハ柿色、翅端、外緣(狹ク)及ビ橫脈上ノ一點ハ黑色、翅底ハ灰色、後翅ハ裏面ノ斑紋ニヨリテ灰色紋ヲ散在スルガ如シ、翅底ハ前翅同樣ニ灰色、裏面ハ表翅ト異ナラザレドモ翅端ハ灰色ニシテ少シク綠黃ヲ帶ブ、後翅ニテハ暗綠紋ヲ散在ス、雌ノ雄ト異ナル所ハ全翅白色ニシテ橫脈上ノ一點及ビ翅端ハ黑色ナルニアリ、開張(♂)(♀)一寸四分―一寸六分、此ハ信州ノ高山ニ發見セラルヽモ稀ナリ、

分布―本州(信州)、支那、滿洲、歐洲、

第三十三圖 (12) (♀)
第三十四圖 (9) (♂)

(534) たいわんひめしろてふ

學名 Leptosia xiphia F.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

翅ハ白色、前翅前緣ノ基半部ニ小黑線ヲ列ヌ、翅端ハ少シク灰色ヲ帶ビ、第三室ニ黑色ノ一大紋アリ、後翅ニ灰色ノ波狀線アレドモ判然セズ、裏面、前翅ニテハ前緣及ビ翅底ニ灰色ノ網狀紋ヲ具ヘ、後翅ニテハ灰綠色ノ小波狀線ヲ散在ス、開張(♂)(♀)一寸―一寸五分內外、臺灣ニ稀ナラズ、

第三十三圖 (11) (♀)

分布―臺灣、支那、印度其他南洋諸島、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. niobe Wall. ト云フ、

第三十五圖（1）（♂）

(535) ごまだらしろてふ

學名　Delias belladonna F.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

雌翅ハ黑色、各室ノ二紋及ビ中室ノ中央ニアル紋ハ長ク、第一室ニアルモノ最モ長ク順次小形トナル、後翅ノ內緣ハ黃白、肛角ハ黃色、尙ホ第二室ノ斑紋モ少シク黃色ヲ帶ブ、裏面ノ斑紋ハ更ニ判然シ、前翅末端ノ四紋ハ黃色、中室ニ白縱條アリテ其內ニ黑色ノ二條ヲ縱走ス、後翅ノ內緣及ビ斑紋ハ黃色、但シ中室ノ基部、第二乃至第五室ノ基部紋ハ白色ニシテ其中央少シク黃色ヲ帶ブ、開張雌二寸五分內外、此ハ臺灣埔里社ニ產スレドモ稀ナリ、

分布―臺灣、支那、印度其他南洋諸島、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. taiwana Wilem ト云フ、

第三十五圖（2）（♂）

(536) あかねてふ

學名　Delias aglaia L.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

翅ハ黑色、斑紋ハ白色、橫脈上ノ一紋ハ橫脈ニテ遮斷セラル、各室紋ハ稍々圓錐形ヲ呈シ、前翅ノ第一室及ビ第二室ノ基部ニアルモノハ大ナリ、後翅ノ內緣ハ廣ク黃色、中室ノ中央ヨリ前緣ニ廣ガリタル大紋ハ少シク藍色ヲ帶ブ、裏面、前翅ニテハ中央ニ廣キ白帶ヲ具ヘ、各室紋ハ餘リ判然セズ、橫脈上ノ白紋ハ表翅ト異ナラズ、後翅ノ基部ニ紅色ノ廣キ一帶ヲ具ヘ、其他ノ斑紋ハ橙黃色、雌ニテハ暗色、白紋ハ餘リ判然セズ、後翅ノ內緣ハ地色ニシテ黃紋ヲ缺ク、開張（♂）（♀）二寸四分―二寸五分、此ハ臺灣ニ稀ナラズ、

分布―臺灣、支那、印度、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. curasena Frubs. ト云フ、

第三十四圖（10）（♂）

(537) べにもんしろてふ

學名　Delias hyparete L.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

翅ハ白色、前翅ノ末端ハ黑色、之レニ灰色ノ五紋アリテ橫列ス、尙前緣ニ黑縱條アリ、後翅ノ後緣ハ灰黑、少シク裏面ノ赤紋ヲ透視シ得ベシ、裏面、斑紋ハ表翅ニ異ナラザレドモ、翅端ノ斑紋ハ白色ナリ、後翅底ノ半部ハ橙黃色、脈、前緣並ニ後緣ハ黑色、各室ノ末端ニ近ク六個ノ赤紋ヲ列ヌ、開張（♂）（♀）二寸一分―二寸七分、

分布―臺灣、支那、印度、比利賓、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. peirene Fruhs. ト云フ、

(538) まだらしろてふ

學名 Prioneris thestylis Fruhs.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

翅ハ白色、前翅ノ前緣ニ小齒ヲ列ヌ、前緣、外緣、第一及ビ第二脈ノ外半、第三乃至第十一脈並ニ其周圍ハ黑色、各室ノ外緣ニ白紋ヲ列ネ、第六及ビ第七室ニアルモノハ細長ナリ、尙ホ第三乃至第六ノ各室ハ全部黑色ニシテ之レニ二白紋ヲ縱列スルモノアリ、後翅ノ周圍ハ黑色、外緣ニ白紋ヲ列ヌレドモ內側ノ限界判然セザルモノ多シ、第二、第三、第五、第六及ビ第七脈ノ外半並ニ第四脈ハ全部黑色、裏面、前翅ノ中室ハ黑色、其二紋及ビ一縱條ハ白色、外緣ノ斑紋ハ稍々表翅ニ異ナラザレドモ、第四乃至第八室ニアルモノハ細長ナリ、後翅ハ黑色ニシテ橙黃色ノ大紋ヲ具ヘ、二列ヲナス、前緣ノ基部及ビ中室ノ大部モ亦橙黃色、開張(♂)(♀)二寸二分—三寸、此ハ臺灣埔里社地方ニ普通ナル種類ニシテ河床ノ砂地ニ集合シテ吸水スルヲ見ル、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Fruhs. ト云フ、

第三十五圖
(3)
(♀)

(539) たいわんこがたやまきてふ

學名 Gonepteryx zaneka Moor.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

雄ハやまきてふニ酷似スレドモ翅ハ淡色、翅底ノ半部ハ濃色、前緣ノ外半ハ高ク突出シ、鉤狀突起ハ長ク一層深ク彎曲ス、橫脈上ノ橙黃紋ハ大ナリ、後翅ノ橙黃紋ハ一層大、後緣ニ尾狀突起ヲ缺キ、六個ノ齒狀突起ヲ裝フ、裏面ノ褐色紋ハ一層大ナリ、開張(♂)二寸一分內外、此ハ臺灣埔里社ノ北蕃ニテ發見セラレタルモノナルガ稀ナルガ如シ、

分布—臺灣(埔里社)、印度(ヒマラヤ)、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. taiwana Parav. ト云フ、

第三十四圖
(14)
(♂)

(540) すぢぼそやまきてふ

學名 Gonepteryx aspasia Mén.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

やまきてふ(千蟲四、第六十四圖(4))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

一、形大ナルコト、

二、前翅ハ濃色、後翅淡色ナルコト、

第三十五圖
(10)
(♂)

三、中室紋ノ圓形ナルコト(やまきてふニテハ楕圓形)、
四、翅端ハ遙ニ細ク突出シ、緣紋點ノ微小ナルコト、
五、裏面、前翅底半部ノ黃色ナルコト(やまきてふニテハ黃色部外緣ニ達ス)、後翅ノ第八脈ハ遙ニ細シ、開張(♂)(♀)二寸二分—二寸四分內外、東北地方ニ普通ナリ、

分布—本州、四國、九州、朝鮮、滿洲、支那、

(附言) 本邦ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. acuminata Feld. ト云フ、

第三十五圖
(4)
(♂)

(541) たいわんやまきてふ

學名 Gonepteryx amintha Blanch.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

雄前翅ハ橙黃色、後翅ハ少シク淡色、中室紋ハ大ニシテ赤黃、何レモ楕圓形ヲナス、前翅ノ末端ハ細ク鉤狀ニ尖リ、其下方ノ外緣ハ第四脈迄褐色、後翅脈ノ終止スル處ニ黃褐ノ各一點アリ、裏面ハ黃白、前翅ハ前緣ヲ除キ黃色、後翅ハ少シク綠色ヲ帶ビ、第八脈ハ頗ル太ク、黃色ニシテ其前緣ハ細ク白色ナリ、緣紋ハ黑褐、開張(♂)(♀)二寸三分—二寸五分內外、此ハ臺灣恒春、北埔、埔里社地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、支那、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Fruhs. ト云フ、

(542) たいわんきてふ

學名 Eurema (Terias) blanda F.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

きてふ(千蟲、四、六十五圖(5))ニ酷似スレドモ、前翅ノ緣毛ハ黑色ニシテ少シク黃毛ヲ混ズルニヨリ容易ニ區別シ得ベシ、尙ホ外緣ノ下半ニアル黑色緣ハ細ク稍々同幅ヲ呈シ、前翅裏面ノ基部ニアル短カキ橫帶ハ三條ヨリ成リ、短カキ波狀帶ハ中室ノ中央ニ位ス、小黑鱗ヲ散在シ、外緣ニ近ク褐色ノ大紋アルモノ多シ、後翅ニモ小黑鱗多ク、第二室、中室並ニ第七室ノ基部ニ褐色ノ環紋ヲ具ヘ、橫脈上ニ太キく字形ノ褐紋アリテ其中部ハ黃色、前翅ニアルモノヨリ遙ニ大ナリ、外緣ニ近ク黑色ノ波狀帶アレドモ亦其判然セザルモノモアリ、開張(♂)(♀)一寸六分內外、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラザルモ普通ノきてふニ酷似スルヲ以テ餘リ人ノ注意ヲ惹カズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. arsakia Fruhs. ト云フ、

第三十四圖
(11)(♀)
(13)(♂)

(543) ほしぼしきてふ

學名 Eurema libythea F.

昆蟲學上ノ地位 粉蝶科

つまぐろきてふニ酷似スレドモ形ハ遙ニ小、前翅ノ前縁ハ黑色、外緣ノ黑色部ハ廣クシテ三分ノ一ヲ占メ、外緣ハ稍々同幅ニシテ內方ニ三齒ヲ裝フ、翅底及ビ前緣ニ小黑鱗ヲ散在ス、翅端ニ近ク前緣ニ判然セザル三個ノ短黃線ヲ具ヘ、緣毛ハ黃色ト紫褐色ト相半ス、後翅ノ基部ニ黑鱗ヲ散在シ、外緣黑色、翅端ニテ最モ廣ク、時ニ後方ニ至ルニ從ヒ點紋トナル、裏面、前翅中室ニ黑鱗ヲ具ヘ、橫脈上ニ二黑點ヲ裝ヒ、翅端ニ近キ前緣ノ三分ノ一ハ橙黃色、之レニ四黑點ヲ列ネ、外緣線ハ細ク橙黃色、後翅ハ全面ニ黑鱗ヲ散布シ、翅底ニ近ク四五個ノ黑點ヲ具ヘ、中央ニ近ク外緣ニ接シテ二條ノ黑帶ヲ具ヘ、各脈ノ末端ニ黑點ヲ裝フ、開張(♂)(♀一寸一分—一寸三分內外、臺灣ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノニ二變種アリテ一ヲ Var. punctissima Mats. ト云ヒ、翅ノ表裏ニ多數ノ黑點ヲ散布ス、他ハ本文ニ記載セルモノニシテ Var. formosana Mats. ト云フ、

Eurema libythea F. var formosana n. var. (pl. XXXIV, fig, 13, ♂).

Differs from the typical form as follows:—outer black margin of the fore-wings becomes gradually narrower towards the tornus, having the tornal spot isolated from the marginal band. Underside of the hind-wings strongly irrorated with black scales.
Hab.—Formosa (Horisha, Tappan); many specimens collected by the author.

第三十五圖(8)(11)(♂)

(544) つまぐろきてふ(變種)

學名　Eurema laeta Boisd. var. bethesba Jans.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

原種ト異ナル處ハ左ノ如シ、

翅端ハきてふヨリモ尖リアレドモつまぐろきてふ原種ヨリモ圓シ、

前翅ノ緣毛ハ黑色ト黃色ト相混ズレドモ黑毛ノ方多シ、前緣ノ四分ノ三ハ黑色、外緣帶ハ後緣角ニ達シ後方ニ至リテ次第ニ細マル、其內側ニ七八個ノ銳齒ヲ出シ、前緣ノ黑鱗ハ少ナシ、後翅ノ外緣ハ細ク黑色ニシテ翅端ヨリ第二脈ニ達ス、

裏面ハ表面ヨリ少シク淡色、前翅及ビ後翅ニ黑鱗アレドモ少ナシ、後翅ノ黑帶ハ細クシテ餘リ判然セズ、前後翅ニ於ケル脈端ノ黑點ハ判然ス、開張一寸二分—一寸三分、此ハ夏生ノ種類ニシテつまぐろきてふト全ク異ナリタルノ觀アリ、

分布—本州、四國、九州、

(附　言) 尙ホ臺灣ニ近似ノ變種アリ之レヲ Var. vagans Wall. ト云フ、同シク翅ノ裏面ハ淡色ナリ、

第三十一圖(3)(4)(♀)

(545) ふたくろきてふ

學名　Eurema latimargo Hopf.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

きてふニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

翅ハ黃白色、外緣ノ黑帶ハ頗ル太ク、之レニ反シテ前緣ノ黑色部ハ頗ル細シ、前翅ノ緣毛ハ黑色、

後翅ノ緣毛ハ淡黃、黑色ヲ混ズ、兩翅底ヨリ橫脈ニ亘リテ小黑點ヲ散在シ、橫脈上ニ沿ヒ判然セザル暗色線ヲ裝フ、裏面ニテハ各室縱皺ノ終止スル處ニ一小黑點ヲ裝ヘルヲ以テ容易ニ區別シ得ベシ、開張(♂)(♀)一寸六分—一寸八分、此ハ臺灣恒春地方ニ稀ナラザレドモきてふト混飛シ居ルヲ以テ注意セザレバ發見シ難シ、

分布—臺灣、比利賓、馬來群島、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. taiwana Mats. ト云フ、

Eurema latimargo Hopf. var. taiwana n. var. (pl. XXXI, fig. 3, 4, ♀).

Differs from var. *mesos* Fruhs. as follows.

♂. Wings much paler in color, at the bases scattered with much more fuscous powdery spots, at the costa narrowly black, discocellular spot distinct, fuscous outer margin of the hind-wings much broader, suddenly stopping at the vein II.

♀. Wings at the basal halves scattered with fuscous powder, discocellular spot linear and conspicuous.

Exp. ♂♀ 48—54 mm.

Hab.—Formosa (Koshun); 3 specimens (2 ♂, 1 ♀) collected in the early part of July by the author.

This species resembles much *E. hecabe* L., but it may easily be distinguished by the fuscous fringes to the anterior wings and fuscous spot on each termination of the longitudinal folds in the interspaces.

第三十一圖(5)(♂)
第三十五圖(9)(♂)

(546) うすいろきてふ

學名 Eurema andersoni Moor

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

此ハ同ジクきてふニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

前翅ノ前緣ハ基部迄黑色、外緣ノ黑色部ハ第二及ビ第三室ノ外緣ニテ內方ニ突出セズ、後翅ノ外緣ハ細ク黑色、前後翅共ニ緣毛ハ黑色ヲ混ジ、後翅ニテハ前翅ヨリモ黃毛多ク、前翅ノ外緣線ハ細ク黑色、緣毛ハ黑色ニシテ少シク黃毛ヲ混ジ、後翅ニテハ前翅ヨリモ黃毛多ク、黑毛ト黃毛ト相半ス、前後翅共脈及ビ縱皺ノ終止スル處ニ一黑點ヲ裝フ、中室ノ中央、橫脈上及ビ後翅前緣ノ中央ニ一紋アリテ何レモきてふノモノヨリ大ナリ、但シ中室紋ハ環狀ヲナス、開張(♂)(♀)一寸三分—一寸五分內外、此ハ臺灣ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、印度、爪哇、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. godana Fruhs. ト云フ、

第三十五圖(7)(♀)

(547) たいわんつまべにてふ

學名 Hebomoia glaucippe L. var. formosana Fruhs.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

つまべにてふ(千蟲四、六十五圖(5))ト異ナル處ハ形少シク小ニシテ雌ハ少シク綠色ヲ帶ビ、翅端ノ紅色部ハ稍々雄ト同色ナリ、開張(♂)(♀)二寸—二寸四分、臺灣埔里社地方ニ普通ナリ、

分布—臺灣、

(548) めすじろきてふ

學名 Ixias pyrene L.

昆蟲學上ノ地位　粉蝶科

雄ハ翅黃色ニシテ少シク綠色ヲ帶ブ、前翅ノ中央ニ橙黃色ノ大三角紋アリテ脈及ビ其周圍ハ黑色、尙ホ黃脈上ニ黑色ノ一點ヲ裝フ、後翅ノ外緣ハ廣ク黑色、裏面ハ黃色、前翅ノ前緣、外緣並ニ後翅ノ基部ニ黑色ノ小紋ヲ散在ス、後翅ノ各室ニ大小アル暗色紋アリテ第四及ビ第五室ニアルモノハ其中央白色ナリ、雌ハ前翅黑色、中央ノ太キ斜帶ハ白色、後翅ハ白色、外緣及ビ後緣ハ廣ク黑色、裏面ハ灰黃色、前翅ノ後緣角ニ大黑紋ヲ具フ、他ノ紋ハ雄ニ異ナラズ、開張(♂)(♀)一寸五分內外、臺灣埔里社地方ニハ普通ナレドモ他ニハ稀ナリ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. formosana Fruhs. ト云フ、

第三十五圖(5)(♂)(6)(♀)

(549) くろあさぎまだら

學名 Danais (Chittira) melanaeus Cram.

昆蟲學上ノ地位　斑蝶科 (Danaidae)

雄ハ翅黑褐、斑紋ハ少シク青色ヲ帶ビタル灰白、前翅ノ中室ハ大部灰白、判然セザル暗色ノ三條アレドモ判然セズ、尙第一室ノ灰白部ニ暗色ノ一條アリ、其他ノ斑紋ハあさぎまだらニ酷似ス、但シ後翅ノ外半ハ暗褐ニシテ之レニ判然セル白色ノ二紋列アリ、裏面ハ表面ニ異ナラズト雖ドモ後翅ハ褐色ニシテ斑紋ハ一層判然ス、開張(♂)二寸八分內外、臺灣ニハ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、

第四十六圖(8)(♂)

(550) こもんあさぎまだら

學名 Danais (Tirumala) melissa Cram.

昆蟲學上ノ地位　斑蝶科

翅ハ黑褐、青白ノ紋條ヲ散在ス、翅底ニアル斑紋ハ總シテ縱線ヨリ成リ、前翅橫脈上ニアル一斜紋ハ外側ニテ深ク刳ラル、各室ニ三乃至五紋アリテ第二及ビ第五室ニ各五紋ヲ具ヘ、外方ノ四紋ハ二列ヲナス、第五乃至第八室ノ基部ニアルモノハ長形ナリ、後翅ニ二紋列ヲ具ヘ、各室ニ四個アリ、尙第二及ビ第三室ノ基部ニアルモノハ人字形ヲナス、裏面ノ斑紋ハ表翅ノモノニ異ナラザレドモ大部ハ白色ニシテ、後翅ノ中室並ニ第五乃至第七室ニアルモノハ少シク青色ヲ帶ブ、雄後翅第一室ノ中央ニ近ク耳狀ノ突起ヲ裝フ、開張(♂)三寸(♀)三寸內外、臺灣何レノ地方ニモ普通ナリ、

分布—臺灣及ビ支那地方ニ產スルモノハ Var. septentrionis Butl. ナリ、

第四十六圖(9)(♀)

(551) うすこもんあさぎまだら

學名 Danais (Tirumala) limniaceae Cram.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

前種ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

一、翅ノ斑紋ハ何レモ大形ニシテ色ハ淡色ナリ、

二、後翅第一室ニアル白條ハ基部ニテ合ス、

三、雄、後翅裏面ノ耳狀突起ハ明瞭ニ廣シ、

開張(♂)三寸、(♀)三寸四分內外、臺灣ニテハ前種ヨリモ普通ナリ、

分布—臺灣、支那、比利賓、馬來、印度、爪哇、

第三十六圖(1) (♀)

(552) ひめこもんあさぎまだら

學名 Danais (Parantica) aglea Cram.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

臺灣ニ產スル最小ノ斑蝶ニシテ前種ニ酷似ス、翅ハ黑褐、斑紋ハ靑白、前翅中室ノ大部ハ靑白、黑色ノ二縱條ヲ裝ヒ、前緣ニモ細キ一縱條アリ、第一室ノ基部ハ同ジク靑白ニシテ之レニ一黑條ヲ縱走ス、外緣ニ二乃至四紋列アリテ、外緣ニアルモノハ各室ニ二個アリテ小ナリ、第五及ビ第六室ノ

第四十六圖(10) (♀)

基部ニアルモノハ甚ダ長シ、後翅底ノ半部ニ縱條多ク、外半ニハ二乃至四紋列アリテ、各室ノ外緣ニ二個アルコト前翅ノ如シ、裏面ハ表翅ト異ナラザレドモ少シク淡色、雄ハ後翅第二脈ノ中央ニ大形ノ黑紋ヲ具フ、開張(♂)一寸六分、(♀)二寸內外、臺灣何レノ地方ニモ普通ナリ、

分布—臺灣、支那、比利賓、馬來、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. maghaba Fruhs. トス、

第三十六圖(2) (♂)

(553) おほかばまだら

學名 Danais (Anosia) archippus F.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

雄翅ハ柿色、周圍及ビ脈ハ黑褐、外緣ニ白色ノ二紋列ヲ具ヘ、各室ニ四個アリ、前翅前緣ノ中央ニ近ク白色ノ五紋ヲ具ヘ、第四及ビ第五室ニ各二個、第六室ニ一個ノ黃色紋アリ、後翅第二脈ノ中央ニハ黑褐ノ一突起ヲ裝フ、之レハ臭腺ナリ、裏面ハ淡色、後翅ニテハ灰黃、白紋ハ一層判然シ、第四乃至第六室ニ大ナル灰黃紋ヲ裝フ、後翅ノ脈ニ沿ヒ黑條ヲ具ヘ、前緣ニハ三白紋アリ、頭及ビ胸部ニ白紋ヲ散在ス、雌ハ雄ヨリモ少シク暗色ヲ帶ビ、脈ニ沿ヒ黑條ヲ縱走ス、開張(♂)(♀)三寸二分—三寸五分內外、此ハ臺灣、沖繩、小笠原島等ニ普通ナリ、

分布—沖繩、小笠原島、臺灣、支那、比利賓、馬來、印度、南洋、濠洲、米國等、

(554) ばらうかばまだら

學名 Danais philene Cram.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

すぢぐろかばまだらニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

一、翅脈ニ沿ヘル黑褐條ノ判然セザルコト、

二、第四、第五及ビ第六室ノ白紋ハ遙ニ小ニシテ且ツ短カキコト、

三、前翅中室ノ外側及ビ前緣室ニ白紋ヲ缺クコト、

四、黃褐ナル地色ハ第三室ノ基部ニ布延セズ、

五、雄ノ生殖板ハ長ク三角形ヲナシテ尖小シ、其末端ハ互ニ相交叉ス、

開張二寸三分餘、南洋ばらうニテ理學士藤田輔世氏ノ捕獲セルモノナルガ稀ナルガ如シ、

分布—南洋(ばらう)、

(附 言) 南洋ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. rubrica Fruhs. ト云フ、

第三十一圖 (9) (♂)

(555) しろをびまだら

學名 Euploea (Crastia) cratis Butl.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

第三十六圖 (7) (♀)

翅ハ黑褐、斑紋ハ黃白、形くろいはまだらニ酷似ス、前翅中室ノ末端ニアル一紋ハ半月形ヲナス、外緣ニ小紋列アリテ各室ニ二個ヲ具ヘ、尙ホ各室ニ一乃至二紋アリテ第二及ビ第三室ニアルモノハ大ナリ、後翅ノ外緣ニモ前翅同樣ノ小紋ヲ列ヌ、各室ノ中央ニ近ク一長紋アリテ內緣ニアルモノ最モ長ク、次第ニ前緣ニ進ムニ隨ヒ其長サヲ減ズ、前緣ハ灰白、裏面ハ淡色、斑紋ハ白色、少シク紫色ヲ帶ブ、後翅ノ內半ハ黑褐ニシテ中室ニ三白紋ヲ具ヘ、外方ノ二個ハ連續ス、第五乃至第八室ノ基部ニ白紋アリテ第七及ビ第八室ニアルモノハ長形ナリ、尙ホ第一室ニモ長縱條アリ、他ハ表翅ニ異ナラズ、開張(♂)(♀)二寸七分內外、此ハ八重山、臺灣等ニ產スレドモ稀ナルガ如シ、爰ニ記載セル標本ハ臺灣產ニシテ仁禮景雄及ビ高椋悌吉ノ兩氏ヨリ送附セラレタルモノナリ、

(附 言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Mats. ト云フ、原種ト異ナル處ハ斑紋ハ小ニシテ後翅第一室ニアル三縱紋ハ他紋ト同長ニシテ延長セズ、裏面、前翅第一室ノ斑紋ハ長クシテ稍々其半長ヲ占ム、

Euploea (Crastia) crastis Butl. var. formosana n. var. (pl. XXXVI, 7, ♀)

Differs from the typical form in the following points.—

♂♀ White spots to the primaries smaller, those of the first interspace much shorter and nearly of an equal length to those of the other interspaces. Underside:—in the male a broad long white stripe in the first interspace to the primaries occupies nearly one-half part of the interspace; the 7th and 8th interspaces to the secondaries also with a long longitudinal white stripe; basal-half of the secondaries concolorous with the outer-half. Exp. 90—92 mm.

Hab.—Formosa (Koshun); 2 (1♂, 1♀) specimens in my collection, presented me by Messers. K. Nerei and T. Takamuku

(556) さいばんまだら

學名 Euploea (Crastia) eleutho Quoy

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

雄翅ハ黑褐、斑紋ハ白色、前翅ノ各室ニ一紋アリテ第三室ニアルモノ最大、第四室ニ之レヲ缺キ、翅端ニアルモノハ斜置セラル、第七、第九及ビ第十室ニアルモノハ微小ナリ、外緣ニ小紋アレドモ判然セズ、後翅ノ外緣ニ近ク一紋列アリテ第二及ビ第三室ニアルモノハ外側ニテ刳ラル、外緣ニ小紋列アリテ第一乃至第三室ニアルモノハ判然セズ、裏面ハ淡色、斑紋ハ表翅ニ異ナラズ、開張(♂)二寸二分內外、此ハ南洋さいばん、つるっく等ニ稀ナラザルガ如シ、

分布—南洋諸島(さいばん、ぐわむ、つるっく)、濠洲、

第三十六圖(3)(♂)

(557) ぼなべうすぐろまだら

學名 Euploea (Crastia) abjecta Butl.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

雄翅ハ暗褐、斑紋白色、前翅ノ第二、第三、第五、第六及ビ第十室ニ各一紋ヲ具ヘ、其內第四室ニアルモノハ大ナリ、後翅ノ第二及ビ第三室ニ各三紋ヲ具ヘ、內側ノ二紋ハ長クシテ一双ヲナス、尙ホ第四室ニ一小紋アリ、裏面ハ淡色、斑紋ハ表翅ニ異ナラズ、但シ中室ノ末端、第三、第四及ビ第

第三十六圖(5)(♂)

六室ノ基部ニ少シク藍色ヲ帶ビタル小白紋アリテ、其第七室ニアルモノハ長ク紡錘形ヲナス、雌ニテハ斑紋ヲ缺キ、唯ダ前翅第十室ニ灰白紋ヲ有スルモノアリ、裏面、前翅中室ノ末端、第二及ビ第三室ノ二紋ハ白色、後翅第七室ノ紡錘形紋ハ雄ニ異ナラズ、開張(♂)(♀)二寸五分—二寸七分內外、此ハ南洋ばのべ、あんがーる、ばらう等ニ稀ナラズ、

分布—南洋諸島、

(558) おほむらさきまだら

學名 Euploea (Euploea) althaea Semp.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

雄翅ハ紫褐色、斑紋ハ紫色、外緣ニアルモノハ白色ニシテ少シク紫色ヲ帶ブ、前翅中室ノ末端ニ近ク一紋ヲ具ヘ、外半ニハ三紋列アリテ外緣ニ近キモノハ各室ニ二個アリ、後翅ノ斑紋ハ前翅ノモノニ酷似スレドモ第二紋列モ第三紋列ト同樣ニ各室ニ二紋アリ、前緣ハ灰白、裏面ハ表翅ト同色、斑紋ハ前翅ニアリテハ紫色部少ナク、初メノ三室ノ基部ニアル紋ハ大ナリ、後緣ハ延長シテ後翅ノ前半ヲ掩フ、後翅ノ紋ハ表翅ノモノヨリモ小ナリ、雌ニテハ前翅ノ後緣端直ニシテ延長セズ、開張(♂)(♀)三寸六分—四寸內外、此ハ臺灣恒春地方ニ普通ナル種類ニシテ百日紅ノ花ニ集來ス、

第三十六圖(4)(♀)

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. juvia Fruhs. ト云フ、

(559) やえやまむらさきまだら

學名 Euploea (Salpinx) leucostictos Gmel.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

翅ハ濃藍色、斑紋ハ紫色、前翅第一室ノ中央ニアル紋ハ長大、外緣ニ近ク一紋列アリテ第六室ニアルモノ最大、第四乃至第七室ニ小形ノ一紋ヲ具ヘ、尙外緣ニ沿ヒ小形ノ一紋列ヲ裝ヒ、翅端ニ近キ紋ハ白點ヲ有ス、尙中室ノ末端ニ二小紋ヲ有スルモノアリ、後翅ニテハ外緣ニ小形ノ二紋列ヲ具ヘ、第四及ビ第五室ニアルモノ少シク大ナリ、尙斑紋ニハ變化多ク一定セズ、裏面ハ紫褐色、斑紋ハ少シク青色ヲ帶ビタル白色、前翅ノ第二室ニアルモノハ最モ大ナリ、外緣ニ近ク二紋列アリテ外側ノモノハ各室ニ二紋ヲ裝フ、尙ホ第四及ビ第十室ノ基部ニモ一紋アリ、後翅ノ外緣ニモ二紋列アリテ、第一乃至第五室ノ外側ニアルモノハ二紋ヲ具ヘ、第一乃至第三室ノ內側ノモノモ亦二紋ヨリ成ル、第四乃至第七室ノ內側紋ハ一個ニシテ、第六及ビ第七室ノ外側紋ヲ缺ク、雄ニテハ後翅ノ前緣ニ廣キ灰黃紋アリ、開張(♂)(♀)二寸五分—三寸三分內外、此ハ臺灣ニ稀ナラズ、

分布—沖繩(八重山)、臺灣、比律賓、南洋諸島、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. hobsoni Butl. ト云ヒ、前翅第一室ニアル紋ハ細長ナリ、八重山ニ產スルモノハ Var. kadu Fruhs. ト云ヒ前翅第一室ニアル紋ハ甚ダ大ナリ、之レハ臺灣及ビ南洋群島ニモ產ス、

第三十六圖 (6) (♀)

(560) ほりしやるりまだら

學名 Euploea (Euploea) koxinga Fruhs.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

翅ハ濃藍色、斑紋ハ青白、光線ノ工合ヨリ紺色ヲ表ハス、前翅ノ外緣ニ近ク一紋列アリテ各紋ノ中央ハ白色、其內第五乃至第七室ニアルモノハ大ニシテ相連續ス、第十室ノ基部ニ一小白紋アリ、後翅ノ外緣ニ近ク一紋列アレドモ前翅ノモノヨリモ遙ニ小形ニシテ淡色ナリ、裏面ハ紫褐色、外緣ニ二紋列アリテ外側ノモノハ各室ニ二個アリ、前翅第二室ノ基部ニ近ク一青白紋ヲ具ヘ、後翅ニテハ第二及ビ第三室ノ內側紋ハ各室ニ二個アレドモ、第四乃至六室ニアリテハ各一個ヲ有スルニ過ギズ、開張(♂)(♀)二寸二分—二寸四分內外、此ハ臺灣埔里社、恒春地方ニ普通ナリ、

分布—臺灣、

第三十七圖 (1) (♂)

(561) むらさきまだら

學名 Euploea (Stictoploea) dufresne Godt.

昆蟲學上ノ地位 斑蝶科

前種ニ酷似スレドモ雄ハ前翅ノ第一室ニ暗色ノ二線ヲ有スルヨリ容易ニ區別シ得ベシ、翅ハ濃藍色、斑紋ハ青色、前翅ノ外緣ニ近ク二紋列アリテ多クハ白點ヲ有ス、其內第六及ビ第七室ニアルモノハ

第三十七圖 (2) (♂)

最モ大ナリ、第一室乃至第三室ノ外側紋ハ各二個ヨリ成リ、夫レヨリ以上ノ紋ハ判然セズ、後翅ニハ外緣ニ近ク第二乃至第四室ニ亘リ白色ノ一紋列アリテ各室ニ二個アリ、第四乃至第六室ニテハ其內方ニ更ニ一紋列ヲ有ス、他紋ヨリ大ニシテ青色ヲ呈シ其中點ハ白色、裏面ハ紫褐色、斑紋ハ表翅ノモノニ酷似スレドモ前翅內側ノ紋列ハ小ニシテ白色ナリ、尙ホ第二、第三、第五、第六及ビ第十室ノ基部ニ青白紋ヲ具ヘ、中室ノ末端ニ近ク同色紋アリ、後翅各室ノ基部ニ各一個ノ青白紋ヲ具ヘ、外緣ノ紋ハ表翅ノモノニ異ナラズ、但シ其紋ハ少シク大ナリ、開張(♂)(♀)二寸七分—三寸內外、此ハ臺灣恒春地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、比律賓、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. swinhoei Wall. et Moor. ト云フ、

(562) くもまべにひかげ

第三十七圖(3)(♀)

學名　Erebia ligea L.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

翅ハ暗褐、天鵞絨樣ノ光澤ヲ帶ブ、前翅ノ外緣ニ近ク柿色ノ一帶アリテ第一ヨリ第七脈ニ亘リ、其帶中ニ黑色ノ四紋ヲ具ヘ、第三室ニアルモノハ小ナリ、後翅ニモ同樣ノ一帶アレドモ遙ニ細ク、同ジク其中ニ黑色ノ四紋アリテ第五室ニアルモノ微小ナリ、凹陷部ノ緣毛ハ白色、裏面ハ淡色、柿色帶ハ表翅ノモノト約ボ同樣、其中ニアル黑紋ノ大部ハ中央ニ白點ヲ具ヘ、第三室ニ黑紋ヲ缺ク、後

翅ニアル柿色帶ノ內側ニ白色ノ波狀帶アリテ、第四室ニテ齒狀ニ突出ス、開張(♂)(♀)一寸四分—一寸五分、此ハ信州八ヶ嶽ニテ初メテ高野鷹藏氏ニヨリテ捕獲セラレタリ、本邦稀ナル種類ナリ、

分布—樺太、本州(八ヶ嶽)、

(附　言)　本邦ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. takanonis Mats. ト云フ、尙ホ樺太ニ產スルモノモ亦變種ニシテ之レヲ Var. sachalinensis Mats. ト云フ、前變種ト異ナル處ハ柿色ノ帶ハ一層濃色ニシテ赤褐トナリ、前翅第四及ビ第五室ノ黑紋ハ大、之レニ反シテ後翅ノ黑紋ハ小ナリ、

Erebia ligea L. var. sachalinensis n. var.

Differs from var. *takanonis* Mats. in having broader reddish-brown bands to both wings and larger black spots to the 4th and 5th interspaces of the primaries, while the black spots-series of the secondaries are much smaller.

Hab.—Saghalien (Motodomari); 3 male specimens collected by the author.

第三十七圖
(4)
(4ª)
(♂)

(563) たかむくうらなみじやのめ

學名　Ypthima akragas Fruhs.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

雄翅ハ暗色、外半ハ淡色、前翅ノ第五室ニ小形ノ黑紋アリテ眼狀紋ヲナサズ、後翅ノ第二室ニ小形ノ眼狀紋ヲ裝ヒ、緣毛ハ灰白、裏面、前翅ハ暗灰色、暗色ノ小波狀線ハ判然セズ、眼狀紋ハ大ニシテ藍色ノ二點ハ楕圓形ニシテ橫置セラル、後翅灰黃、暗色ノ小波狀線ハ判然シ、中室下方ノ一圓及

ビ前緣ノ眼狀紋ト第二室ノ同紋トノ間ヲ橫走セル太キ一帶ハ雪白、尙ホ第二室ニアル眼狀紋ノ外側モ亦白色ナリ、中室下方ノ白色部ニ暗色ノ小波狀線多シト雖ドモ橫帶ノ中央ニハ少ナシ、眼狀紋ノ藍色點ハ楕圓形ニシテ橫置セラレ、第一室ニアル眼狀紋ハ楕圓形ヲナシ二個ノ藍色點ヲ有ス、開張一寸四分、此ハ高椋悌吉氏ヨリ送附セルモノニシテ頗ル稀ナルガ如シ、臺灣埔里社櫻ヶ峯(八千五百尺)ニテ朝倉氏ノ捕獲セルモノナリト云フ、

分布—臺灣(埔里社)

Ypthima akragas Fruhs. var. takamukuana n. var. (pl. XXXVII, fig. 4,4a, ♂).

♂. Primaries fuscous, on the outer-halves paler, ocelli small, becoming a mere fuscous spot, lacking rings and pupils. Secondaries with a single ocellus, with a bluish pupil; fringes grayish white. Under-surface of the primaries dark yellow, with numerous indistinct fuscous strigae, ocellus large, with 2 oblong bluish pupils, in the middle with an indistinct fuscous band, which becoming distinct towards the base. Secondaries grayish yellow, with many fuscous strigae, a region below the cell, a broad band beyond the cell, and a outer part of the 2nd interspace, snowy-white, apical ocellus with a large, oblong bluish pupil, pupil of the ocellus of the 2nd interspace nearly roundish, anal ocellus oblong, with 2 pupils; all the ocelli being surrounded by fuscous rings; white band with a few fuscous strigae.

Exp.—♂ 44 mm.

Hab.—Formosa (Mt. Sakuragamine, 8,500 ft high near Horisha), collected on the 7th, July, 1915, by Mr. T. Takamuku.

The whitish band to the secondaries somewhat resembles Y. *vinhiana* Mats. (Thousand Ins. vol. IV, pl. LXXVI, fig. 2, 1906).

(564) たいわんうらなみじやのめ

學名 Ypthima multistriata Butl.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

うらなみじやのめ(千蟲、四、七十三圖(12))ニ酷似スレドモ前翅ノ眼狀紋ハ遙ニ大ニシテ圓形ヲ呈シ、其周圍ノ黃色環ハ幅廣シ、翅ノ外半ハ少シク淡色ニシテ外緣ニ近キ濃色帶ハ判然ス、後翅ノ緣毛ハ白色、裏面、眼狀紋ノ周圍ハ白色ニシテ暗色ノ小波狀線ハ少ナシ、但シ乾燥期ニ出ヅルモノハ前翅ニ眼狀紋ヲ缺キ、裏面ニアル眼狀紋周圍ノ白色部ハ少ナシ、開張(♂)(♀)一寸二分—一寸六分、此ハ臺灣何レノ地方ニモ普通ナリ、

分布—臺灣、

第三十七圖(9)(9ª)(♀)

(565) おほうらなみじやのめ

學名 Ypthima conjuncta Leech.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

前種ニ酷似スレドモ形大ニシテ前翅ノ眼狀紋ハ楕圓形ヲナシ、後翅ニハ三個ノ眼狀紋アリヲ第一室ニアルモノハ微小ナリ、裏面、前翅眼狀紋ノ黃色環ハ下方ニテ幅廣ク、後翅ニハ第四室ヲ除キ各室ニ一個ノ眼狀紋アリテ、第一室ニアルモノハ二個ノ白點ヲ有ス、開張(♂)(♀)一寸六分—一寸八分、此

第三十七圖(7)(7ª)(♂)

ハ前種同樣ニ臺灣ニ普通ナリ、

分布—臺灣、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosanus Fruhs. ト云フ、

第三十七圖(5)
(5ª)
(♂)

(566)　こうらなみじやのめ

學名　Ypthima baldus F.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

前翅ノ眼狀紋ハ楕圓形ニシテ前種ニ異ナラズ、外緣ニ近ク濃色ノ判然セル一帶ヲ裝フ、後翅ニ三個ノ眼狀紋アリテ第二及ビ第三室ニアルモノハ大、第五室ニアルモノハ小ナリ、裏面、前後翅ノ中央ニ判然セザル濃色ノ一帶ヲ具ヘ、後翅ニテハ其內側ニ同樣ノ一帶アリ、六個ノ眼狀紋アリテ、第一室ニハ二個ヲ具ヘ微小ナリ、第四室ニ之レヲ缺ク、開張(♂)(♀)一寸—一寸二分內外、臺灣ニハ普通ナリ、

分布—沖繩、臺灣、支那、馬來、印度、爪哇、

(附　言)　沖繩ニ產スルモノヲ Var. ishigakina Fruhs. ト云ヒ、臺灣ニ產スルモノヲ Var. zodina Fruhs. ト云フ、尙ホ裏面ノ蛇目樣ノ斑紋ノナキモノアリ、之レヲ Var. zodia Butl. ト云フ、

第三十七圖(8)
(8ª)
(♀)

(567)　たつばんうらなみじやのめ

學名　Ypthima tappana Mats.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

雌翅ハ暗灰色ナレドモ他ノ種類ヨリモ淡色、前翅ノ中央ニ濃色ノ一帶ヲ具ヘ、其內側ニ細キ同樣ノ一帶アレドモ餘リ判然セズ、外緣ニ近ク弓狀ヲナセル濃色帶アリ、眼狀紋ハ大ニシテ稍々圓形ニ近シ、後翅ノ中央ニ波狀ヲナセル濃色ノ一帶ヲ具ヘ、四個ノ眼狀紋アリテ第一室ニアルモノハ微小ニシテ二個アリ、他ノ二個ハ第二及ビ第三室ニ位ス、黃色ノ周環ハ細シ、外緣ニ近ク濃色ノ一帶アリテ其內側ハ白色、其外側ニ同樣ノ細キ一帶ヲ具ヘ、緣毛ハ灰白、裏面、前後翅ニ三條ノ暗色帶ヲ具ヘ、眼狀紋ハ大ニシテ一層判然ス、後翅ノ中央帶ハ波狀ヲナスコト表翅ノ如シ、眼狀紋ハ四個アリテ第一室ニアルモノハ二白點ヲ有ス、第四及ビ第五室ニ眼狀紋ヲ缺ク、此ハ臺灣達邦社ニテ發見セルモノナルガ極メテ稀ナリ、開張(♀)一寸五分、

分布—臺灣(達邦社)、

(附　言)　ふるふすとーへる氏ハ此種ヲおほうらなみじやのめト同種トナセドモ全ク異ナリタル種類ニシテ、殊ニ裏面ニテ後翅ノ前緣ニ唯ダ一個ノ大眼狀紋ヲ有スルニヨリ容易ニ他ト區別シ得ベシ、

第三十七圖(6)
(6ª)
(♀)

(568)　むもんうらなみじやのめ

學名　Ypthima posticalis Mats. (Y. minuta Mats. ♂).

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

たいわんうらなみじやのめニ酷似スレドモ後翅ニ眼狀紋ナキヲ以テ容易ニ區別シ得ベシ、前翅ニアル眼狀紋ノ白點ハ楕圓形ニシテ橫置セラレ、稀ニ後翅ニ判然セザル一眼狀紋ヲ有スルコトアリ、裏面、波狀ノ小線ハ微小ニシテ後翅ニ於ケル眼狀紋ノ周圍ハ淡色ナリ、第一室ノ眼狀紋ハ二白點ヲ有ス、開張(♂)(♀)九分—一寸一分、此ハ臺灣北投地方ニ發見セラレタレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣(北投)、

第三十八圖
(3)
(3ª)
(♀)

(569) うらまだらしろをびひかげ

學名 Lethe drypta Feld.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

雌翅ハ灰褐、前翅前緣ノ中央ヨリ後緣角ニ向ヒ斜走スル一帶ハ黃白、其帶中第二室ニ當ル部分ニ一灰色紋アリ、第三乃至第六室ニ暗色紋アレドモ餘リ判然セズ、第五室紋ノ外側、第六室紋ノ內側及ビ第一室ノ末端ニ近ク黃白紋アリ、後翅ノ各室ノ中央ニ近ク眼狀紋列アレドモ判然セズ、但シ第五室ニアルモノハ判然ス、前後翅ノ外緣ニ淡色ノ二波狀線アリテ後翅ノモノハ稍々判然ス、緣毛ハ白色、脈ノ終ル處ハ暗色、後翅第四脈ノ處ハ尾狀ニ突起ス、裏面ハ表翅ヨリ少シク淡色、翅底ニ近ク灰白ノ二波狀帶アリテ其兩側ハ灰褐、前翅ノ黃帶ハ表翅ノモノヨリ少シク太シ、第三乃至第五室ノ中央ニ近ク眼狀紋アリテ中央ハ黑色、其次ギハ黃白、其次ギハ暗色、其周圍ハ灰白ニシテ少シク紫色ヲ帶ブ、後翅ノ眼狀紋ハ前翅ノモノニ似タレドモ大ニシテ黑色ノ部分ニ小白點ヲ散在ス、但シ第

三乃至第五室ニアルモノハ楕圓形ヲナシ、中央ノ黑色部ヲ缺キ、多數ノ小黑點ヲ散在シ、更ニ其中央ニ小白點ヲ有スルモノ多シ、雄ニテハ前翅ニ黃白帶ヲ缺キ、翅端ニ近ク二白紋ヲ有スルニ過ギズ、裏面ニテハ前翅第二室ニモ眼狀紋ヲ有シ、中帶ハ灰白ニシテ細シ、開張(♂)(♀)二寸一分—二寸三分內外、臺灣ニテハ普通ナレドモ次種ヨリモ少ナシ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、爪哇、

(附 言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. daemoniaca Fruhs. ト云フ、

第三十八圖
(4)
(4ª)
(♀)

(570) しろをびひかげ

學名 Lethe europa F.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

前翅ニ酷似スレドモ、前翅ノ中帶ハ白色ニシテ少シク細ク、後翅ノ各室ニアル暗色紋ハ判然ス、裏面、翅底ノ三分ノ一ノ處ニ少シク紫色ヲ帶ビタル白色ノ一帶アリテ後翅內緣ノ中央ニ連續ス、前翅各室ノ中央ニ近ク眼狀紋列アリテ第一室ニアルモノ最大、其中央ニ二三個ノ暗色點ヲ有スルモノアリ、後翅ノ眼狀紋ハ一層大ニシテ第六室ニアルモノ最大、何レモ銀色ノ小點ヲ散在ス、雄ニテハ裏面ノ中帶細ク前緣ニ於テノミ白色、外緣ノ三分ノ一ハ少シク黃色ヲ帶ブ、開張(♂)(♀)二寸一分內外、

此ハ臺灣何レノ地方ニモ普通ナリ、

分布—臺灣、支那、比利賓、馬來、印度、其他南洋諸島、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. pavida Fruhs. ト云フ、

第三十八圖
（5）
（5ª）
（♀）

(571)

めすちやひかげ

學名　Lethe chandica Moor.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

雌翅ハ赤褐、前翅ノ中央ヨリ一白條ヲ第四脈ノ處迄斜走シ、第二及ビ第三室ノ中央ニ近ク一白紋アリ、其內側ハ多少濃色、外緣ニ近ク各室ニ暗色點アリテ第四及ビ第五室ニアルモノ少シク大ナリ、第六及ビ第七室ニハ灰白紋ヲ具ヘ、亞外緣線ハ暗色ナレドモ餘リ判然セズ、後翅ノ外緣ニ近ク暗色紋列アリテ第五室ニアルモノ最モ大、緣毛ノ凹陷部ニアルモノハ灰白ナリ、裏面ハ淡色、中央ハ褐色、翅底三分ノ一ノ處ニ赤褐ノ一帶アリテ後翅內緣ノ中央ニ達ス、其外側ノ中室ノ部分ニ同色ノ一短帶アリ、中央ノ白斜帶ハ表翅ノモノニ異ナラズ、各室ノ中央ニ近ク一眼狀紋列アリテ中央ハ暗色、其周圍ハ灰白、更ニ其外圍ハ褐色ナリ、亞外緣線ハ褐色、二條ヨリ成リ、外側ノモノハ細ク上端ニテ判然セズ、後翅中央ニ赤褐ノ一波狀帶アリテ第四室ノ處ニテ甚ダシク屈折シ、第二、第三及ビ第五室ノ外側ニ黃白紋アリ、眼狀紋ノ中央ハ何レモ黑色、銀白ノ小點ヲ散在シ、第六室ニアルモノハ一白點ヲ具ヘ、周圍ハ黃色、更ニ其外圍ハ褐色ナリ、外緣ニ近ク灰白ノ一波狀線アリテ少シク紫色ヲ帶ブ、雄ニテハ全翅暗褐、中央ハ濃色、後翅ニ眼狀紋アレドモ判然セズ、外緣ハ赤褐、裏面ハ淡色、赤褐帶ハ雌ト同樣ナレドモ前翅ノ中央ニ近ク赤褐帶アリテ之レハ第四脈ノ處ニテ屈折ス、眼狀

紋ノ一圓ハ灰白、少シク紫色ヲ帶ブ、開張（♂）（♀）二寸一分—二寸三分、此ハ臺灣嘉義地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、支那、比利賓、馬來、印度、爪哇、其他南洋諸島、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. ratnacri Fruhs. ト云フ、

第三十八圖
（6）
（6ª）
（♂）

(572)

おほしろをびくろひかげ

學名　Lethe mataja Fruhs.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

雄翅ハ暗褐、前翅前緣ノ中央ノ近クヨリ一白帶ヲ後緣角ニ向テ斜走シ、第二室ノ白紋ハ分離ス、後翅ノ第二室ニ筆狀毛アリ、裏面ハ淡色、赤褐ノ二帶アリテ前翅ニテハ中室ニ位シ、後翅ニテハ外側ノモノハ中央ニアリテ波狀ヲナシ、第三及ビ第四室ノ處ニテ彎形ヲナシテ外方ニ曲リ、第二室ノ處ニテ內方ニ甚ダシク屈折ス、前翅ニハ二個、後翅ニハ五個ノ白點ヲ有スル黑色ノ眼狀紋アリテ、其周圍ハ黃色、前翅ニアルモノハ第四及ビ第五室ニ位シ、後翅ニテハ第二室ニ之レヲ缺ク、其外側ニ赤褐ノ一波狀線アリ、外緣ハ灰色ニシテ中央ニ褐色ノ亞外緣線ヲ裝フ、雌ニテハ形大、前翅ノ白帶太ク、裏面ノ眼狀紋モ亦大ナリ、開張（♂）（♀）二寸三分—二寸四分、此ハ臺灣埔里社、達邦社等ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、

(573) しろをびくろひかげ

學名 Lethe (Hermias) verma Koll.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

前種ニ酷似ス、翅ハ暗褐、前翅ノ白帶ハ少シク黃色ヲ帶ビ、第二室ニテ分離セズ、後翅ノ第二室ニ筆狀毛ヲ缺ク、裏面、前翅ハ表翅ニ異ナラズ、第四及ビ第五室ニ眼狀紋アルコト前種ノ如シ、後翅ニハ淡紫色ノ四波狀帶アリテ第二帶ハ中央ニアリテ前緣ニテ眼狀紋ノ內側ニテ甚ダシク彎曲ス、第三帶ハ外緣ニ近ク位ス、眼狀紋ハ黑色、各室ニ一個アリテ、第六室ニアルモノ最大、中點ハ白色、周圍ハ黃色、外圍ハ淡紫色、亞外緣線ハ暗色、雌ニテハ前翅ノ白帶廣ク、第四室ノ眼狀紋ハ小ナリ、開張(♂)(♀)一寸七分—二寸內外、此ハ臺灣ノ高山ニ稀ナラズ、前種ニ酷似スレドモ翅ハ圓味ヲ帶ビ、後翅ノ第二室ニ筆狀毛ヲ有スルヲ以テ容易ニ區別シ得ベシ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. cintamini Frubs. ト云フ、

第三十八圖(8)(♂)

(574) たいわんくろひかげもどき

學名 Lethe (Tansima) periscelis Frubs.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

第三十八圖(7)(7ª)(♀)

此ハくろをびひかげもどき(千蟲、四、七十二圖(7))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ形小ニシテ、前翅ノ中央ニ近ク淡色ノ斜條ヲ缺キ、第五室ノ眼狀紋ハ大ニシテ其內側ニ短カキ淡色ノ一斜條ヲ具ヘ、雄ニテハ第二室ニ更ニ大形ノ一眼狀紋ヲ裝フ、後翅ニ於ケル眼狀紋ノ外圍ハ廣ク黃色、外緣ニアル淡色ノ二帶ハ遙ニ太シ、裏面、前翅眼狀紋ノ內側ニ沿ヒ褐色ノ一波狀帶アリテ其外側ハ灰白ヲ帶ブ、外緣ハ淡色、之レニ褐色ノ二波狀帶アリ、眼狀紋ノ內第二及ビ第五室ニアルモノ大ナリ、後翅ニテハ前緣ノ眼狀紋頗ル大ニシテ第五、第六及ビ第七室ニ跨ル、眼狀紋ノ內側ニアル褐色ノ波狀帶ハ第四室ノ處ニテ銳角ヲナシテ甚ダシク屈折ス、外緣ニ二波狀線アルコト前翅ノ如シ、開張(♂)(♀)一寸九分—二寸內外、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、

第三十九圖(2)(2ª)(♂)

(575) みやまひかげ

學名 Lethe (Lethe) christophi Leech.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

翅ハ褐色、前翅ニ判然セザル稍々濃色ノ三帶アリテ其內中室ニアルモノハ他ヨリモ判然ス、後翅ニ暗褐ノ紋列アリテ其內第三及ビ第五室ニアルモノハ大ナリ、雄ハ第二室ニ暗褐ノ大紋ヲ裝フ、裏面ハ淡色、前翅ニ三條、後翅ニ二條ノ赤褐帶アリテ波狀ヲナシ、前翅ノ中室ニアルモノハ短カシ、前翅各室ノ中央ニ近ク眼狀紋列アレドモ餘リ判然セズ、其外側ニ判然セザル赤褐ノ一波狀帶ヲ裝フ、

後翅ノ外半ハ濃色、各眼狀紋ハ中央ニ一白點ヲ有スレドモ、第一室ニアルモノハ二白點ヲ裝フ、開張(♂)一寸二分—一寸五分、此ハ臺灣ノ高山ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. hanako Fruhs. ト云フ、

(576) みやましろをびひかげ

學名　Lethe insana Koll

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

雄翅ハ暗褐、前翅ノ中央ニ近ク一灰白帶アリテ後緣角ニ向テ斜走ス、第六及ビ第七室ニ一灰白紋アリ、第五室ニ一暗色紋アレドモ餘リ判然セズ、亞外緣線ハ暗色、後翅ニハ暗色ノ紋列アリテ第二室ニアルモノハ白點ヲ有シ最モ大ナリ、外緣ニ暗色ノ二波狀線ヲ裝フ、裏面ハ淡色、前翅ノ中室ニ赤褐ノ二短帶ヲ具ヘ、灰白ノ斜帶ハ表翅ノモノヨリモ判然ス、外緣ニ近ク第三乃至第五室ニ各一眼狀紋アリテ其一圓ハ少シク紫色ヲ帶ブ、後翅ノ二帶ハ稍々內緣ノ中央ニ達ス、眼狀紋ノ周圍ハ淡紫色、第一室ニアルモノハ二白點ヲ有スレドモ他室ニアルモノハ皆一白點ヲ有ス、第二室ニアルモノ最モ大ナリ、亞外緣線ハ赤褐、其內側ハ淡紫色、其外側ハ黃色ニテ緣取ラル、雌ニテハ前翅ニ白斜條ヲ具ヘ、之レハ稍々後緣角ニ達ス、翅端紋モ亦白色ナリ、開張(♀)一寸八分—二寸、此ハ臺灣阿里山ノ如キ高山ニ產スレドモ其數多カラズ、

第三十九圖(4)(♀)

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Fruhs. ト云フ、

(577) ありさんちやいろひかげ

學名　Lethe gemina Leech.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

翅ハ黃褐、前翅ノ橫脈ハ暗褐、第五室ニ黑色ノ一眼狀紋アリテ中點ハ白色、周圍ハ黃色、尙ホ第一乃至第四室ニ黃紋アレドモ餘リ判然セズ、外緣ハ黃色、其內側ニ暗色帶アリ、後翅ニハ黑褐ノ楕圓紋列アリテ其周圍ハ黃色、第四室ニ之レヲ缺キ第三室ニアルモノハ最モ大ナリ、外緣ハ黃色、其內側ハ灰色帶ニテ緣取ラレ、更ニ其外側ハ太キ暗色帶ニテ堺セラル、裏面ハ淡黃褐、前翅ノ中央ニ黃褐ノ一帶アリテ、第四室ノ處ニテ銳角ヲナシテ屈折ス、橫脈上ノ一紋モ亦黃褐ナリ、第五室ニアル眼狀紋ノ白點ハ大ニシテ少シク紫色ヲ帶ブ、外緣ハ黃色ニシテ淡紫色線ニテ緣取ラル、コト後翅ノモノト同樣ナリ、後翅ニハ三個ノ眼狀紋アリテ第一、第二及ビ第六室ニ位ス、白點ハ大ニシテ少シク紫色ヲ帶ブ、中室ノ外側ニ黃褐ノ一波狀帶アリテ第四脈ノ處ニテ甚ダシク彎曲ス、尙ホ橫脈上ニモ同色ノ一短帶アリ、開張(♂)二寸一分、此ハ臺灣阿里山ニテ捕獲セルモノナルガ稀ナルガ如シ、

第三十九圖(3)(♂)

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. zaitha Fruhs. ト云フ、

(578) をじろくろひかげ

學名 Lethe (Zophossa) dura Leech.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

翅ハ天鵞絨様ノ黑褐、前翅ニ斑紋ヲ缺キ、外緣ハ淡色ナリ、後翅ノ外半ハ灰色ニシテ暗色ノ紋列ヲ具ヘ、其周圍ニ判然セザル淡色環アリ、第四脈ノ末端ハ延長シテ尾狀ヲナス、亞外緣線ハ暗色、其外側ニモ同様ノ太キ一波狀帶アリ、裏面ハ暗褐、前翅中室ノ大紋ハ淡紫色、其兩側ハ暗色、外半ハ淡色、內半ト相堺スル處ハ更ニ一層淡色ニシテ前緣ニテハ白色ニ近ク少シク紫色ヲ帶ビ、翅端ニ近ク白紋ヲ裝フ、後翅ニ暗色ノ二波狀帶アリテ外側ノモノハ長ク、外緣ハ濃色線ニテ緣取ラル、內方帶ノ外側ハ紫白線ニテ緣取ラル、尙ホ內半ニハ淡紫色ノ短波狀帶多シ、眼狀紋ハ何レモ同大ノ白點ヲ具ヘ、黑色部ノ判然スルモノト灰白鱗ニ蔽ハレテ判然セザルモノトアリ、第一室ノモノハ二個ノ黑紋及ビ白點ヲ有ス、何レモ其周圍ハ紫白色ナリ、第一室ノ末端ニ近ク三角形ノ紫白紋ヲ具ヘ、亞外緣線モ亦同色ナリ、開張(♂)二寸四分、此ハ臺灣ノ高山ニ產スレドモ稀ナリ、余ハ大東山ニテ得タル一雄ヲ有ス、

第三十九圖(1)(♂)

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Fruhs. ト云フ、

(579) しろきまだらひかげ

學名 Neope lacticolora Fruhs.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

翅ハ暗褐、前翅ノ基半部ハ少シク綠色ヲ帶ブ、外緣ニ近ク黃白ノ一紋列アリテ、第三及ビ第五室ニ黑紋ヲ具ヘ、第三室ノ基部ニ一黃白紋アリ、尙ホ前緣ニ同樣ノ三紋アリテ橫脈ト紋列トノ中間ニ位ス、後翅ハ黃白、翅底及ビ外緣ハ暗褐、裏面ノ眼狀紋ヲ透視シ得ベシ、凹陷部ノ緣毛ハ白色、裏面ハ白色、黃色及ビ黑褐ノ斑ヲナシ、前翅ノ中室及ビ其外側ノ一紋ハ黑褐ニシテ大、其周圍ハ白色、外緣ハ暗褐、黑褐ノ波狀緣アリテ其內側ヲ緣取ル、第三及ビ第五室ニ一眼狀紋アリテ中點ハ白色、中室下方ノ一圓ハ黃白、中室後角ノ下方ヨリ黑褐ノ太キ一帶ヲ後緣角ニ送ル、後翅底ノ半部ハ黑褐、之レニ白條アリテ太キモノハ中央ヲ貫ク、細キモノハ稍々網狀ヲナス、外半ハ綠褐、各室ニ眼狀紋アリテ一列ヲナス、第一室ニアルモノハ二白點ヲ有ス、外緣ニ近ク暗色ノ一波狀線アレドモ後方ニアリテハ判然セズ、亞外緣線ハ暗色、後緣ニテ太ク、其兩側ハ黃白、開張(♂)(♀)一寸五分—一寸六分、此ハ臺灣阿里山地方ニ稀ナラズ、

第三十九圖(5)(♀)

分布—臺灣(阿里山、埔里社、白狗)、

(580) わたなべきまだらひかげ

學名 Neope watanabei Mats.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

きまだらひかげ(千蟲四、七十二圖(8))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

觸角ハ一樣ノ赤褐ニシテ末端ニ黑色部ヲ缺キ、基部ニ白輪ヲ有セズ、翅ハ暗色ニシテ前翅ノ第二、第三及ビ第五室ニアル黑紋ハ大ニシテ從テ黃紋ハ小ナリ、第一室ノ黃色紋中ニモ一黑點ヲ有ス、後翅ノ黃紋ハ小ニシテ其中ニアル黑紋ハ大ナリ、中室ノ外側ニ當リ一黑紋ヲ裝フ、裏面、前翅中室紋ノ中央ニアルモノハ內方ニ向テ屈折スレドモきまだらひかげニテハ外方ニ彎曲ス、外側紋ハ中紋ヨリ約二倍大ナリ、外緣ニ近ク第一室ヨリ第四室ニ亘リ黃白ノ大ナル楕圓紋アリテ內側ハ弓狀ノ太キ黑帶ニテ緣取ラレ、其內ニアル眼狀紋ハ大ニシテ白點ヲ有ス、中室ノ外側ニアル黑紋ハ外側ニテ犬牙狀ノ突起ヲ具ヘ、其外部ハ太キ白帶ニテ緣取ラル、翅端ニ靑白鱗多シ、後翅ハ全部暗色、前緣ノ中央ニ白紋アリテ其下方ニ更ニ弦月形ノ一白紋アリ、中室ノ外側ニ黑色ノ大紋アリテ判然ス、第二室ニアル眼狀紋ハ最大、第六室ニアルモノハ之レニ次ギ、第七室ノモノヨリモ內方ニ位ス、眼狀紋列ノ兩側ニ判然セザル白帶アリ、開張(♂)二寸三分、此ハ故渡邊龜作氏ノ北埔ニテ採集セルモノナルガ甚ダ稀ナルガ如シ、余ハ發見以來今日迄十年ヲ過經スト雖ドモ未ダ一匹ヲモ捕獲シタルコトナシ、

分布—臺灣(北埔)、

第三十九圖(8)(♂)

(581) ありさんきまだらひかげ

學名 Neope pulaha Moor

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

翅暗褐、前翅ノ黃紋ハ小ナリ、第二及ビ第三室ノ黃紋中ニアル褐紋ハ長形ニシテ幅ノ約倍長アリ、後翅ノ黃紋中ニアルモノハ其兩側ニ小ナル黃點ヲ有スルニ過ギズ、一見きまだらひかげニ酷似スレドモ前翅ニ黃毛少ナキヲ以テ容易ニ區別シ得ベシ、裏面ハ黑色、前翅中室ノ末端ニアル一斜條、中室外側ノ黑紋ヲ緣取ル一斜條及ビ第一室乃至第四室ニアル紋列ハ黃色、第二及ビ第三室ノ黃紋中ニ大ナル黑圓紋アリ、中室ノ下方ハ暗黃、第一室ノ黃紋トノ界ニV字形ノ黑紋アリ、後翅ハわたなべきまだらひかげノモノニ酷似シテ全部暗褐、紫色ノ鱗毛多シ、後翅前緣ノ中央ニ白色ノ一紋アリテ其下方ニ黃白ノ弦月紋ヲ裝フ、眼狀紋ハ大ニシテ何レモ白點ヲ缺キ、中室外ノ黑紋ハ稍々正方形ニシテ其外側ニ黃白紋ヲ裝フ、中室ノ外側ヲ橫走スル黑色ノ波狀帶ハ其黑紋ヲ貫通ス、中央ニ判然セル紫色ノ一帶アリ、開張二寸餘、此ハ臺灣阿里山ニテ捕獲セルモノナルガ稀ナリ、

分布—臺灣、支那、

(附 言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. didia Fruhs. トス、

第三十六圖(6)(6ª)(♂)

(582) たいわんきまだらひかげ

學名 Neope bremeri Leech.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

翅ハ暗色、各室ニ黃紋アリテ多クハ黑紋ヲ有スレドモ前翅ノ第一、第四、第五及ビ第六室ニ之レヲ缺ク、橫脈ノ外方ニ當リ前緣ニ二黃紋アレドモ餘リ判然セズ、凹陷部ノ緣毛ハ灰黃白、裏面ハ灰色、斑紋ハ暗色、前翅ノ中室ニ五紋アリテ、第一ハ基部ニ位シ、短線ニシテ縱置セラレ、第二ハ外方ニ屈折シ、第三ハ瓢形ヲ呈シ、第四ハ二重ニ屈折シ、第五ハ內方ニ屈折ス、橫脈ノ外側ニ波狀ノ一帶アリテ第五室ノ處ニテ甚ダシク突出シ、其下方ノ外側ハ白帶ニテ緣取ラル、眼狀紋ハ四個アリテ第二乃至第五室ニ位シ、第四室ニアルモノハ小ニシテ大ナル白點ヲ有ス、外緣ニ近ク細キ一帶アリ、後翅ノ眼狀紋ハ小ニシテ第二及ビ第六室ニアルモノハ大ナリ、中室ノ基部ニ二個、第七室ノ基部ニ一個ノ環紋アリテ其中央ハ灰黃、中央ニ近ク波狀ノ二帶アリテ何レモ淡色帶ニテ緣取ラル、中室ノ外側ニ暗色ノ一紋アリ、尙ホ橫脈上ニ暗色線アリテ其外側ハ灰黃、開張(♂)(♀)二寸三分—二寸五分內外、此ハ臺灣埔里社ニテ捕獲セルモノナルガ稀ナルガ如シ、

分布—臺灣、支那、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. taiwana Mats. ト云フ、原種ニテハ裏面ハ淡色ニシテ斑紋ハ一層判然ス、表翅ノ黃紋ハ小ナリ、

第三十六圖(7)(7ª)(♂)

Neope bremeri Leech var. taiwana n. var. (pl. XXXVI, fig. 7, 7ª, ♀).

Differs from the typical form as follows.—

♂. Yellowish spots to the primaries much larger, with 4 extra luteous spots near the costa respectively in the interspaces 6, 9, 10, 11; underside more grayish, primaries at the inner side of the ocellar spots with a large grayish white crescent-band, in its innerside in the interspaces 2 and 3 with an incurved fuscous band, discoidal spots being much narrower; secondaries with a much smaller ocellus in the 7th interspace. Exp. 70—75 mm.

Hab.—Formosa (Horisha, Gyochi); 2 (1♂,1♀) specimens collected in the middle part of June by the author.

第四十圖(1)(♀)

(583) うらきまだらひかげ

學名 Neope muirheadii Feld.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

雌翅ハ暗褐、前翅ニ三個、後翅ニ二個ノ暗色紋アリテ其周圍ハ淡色ナレドモ黃色ヲ混ゼズ、凹陷部ノ緣毛ハ灰黃、裏面ハ暗灰色、斑紋ハ暗色、前翅ノ中室ニ四紋アリテ第一ハ端直ニシテ橫置セラレ、第二ハ太キ橫線ニテ其中ニ四個ノ灰色紋ヲ列ス、第三ハ括弧狀ヲ呈シ、第四ハへ字形ヲナス、中央ニ一帶アリテ少シク波狀ヲナシ、其外側ハ灰白、黃色、外緣ニ近ク二帶アリテ少シク波狀ヲナス、後翅ニモ前翅同樣ノ中帶アレドモ餘リ判然セズ、其外側ノ白帶ハ一層太クシテ判然ス、眼狀紋ハ前翅ノモノニ異ナラズト雖ドモ小ナリ、第一室ニアルモノハ二小點ヲ有ス、眼狀紋ノ外側ハ灰白、之レニ暗色ノ二波狀帶アリ、開張(♀)二寸四分、此ハ

臺灣大麻里社ニテ永澤定一氏ノ捕獲セル珍種ナルガ頗ル稀ナルガ如シ、

分布—臺灣(大麻里社)、支那、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. nagasawae Mats. ト云フ、雌ノ原種ト異ナル處ハ前翅ノ斑紋ハ遙ニ小ニシテ裏面ノ白帶ハ判然シ、眼狀紋ハ遙ニ大ナルニアリ、

Neope muirheadi Feld. var. nagasawae n. var. (pl. XL, fig. 1, ♀).

♀ Differs from the typical form in having much smaller fuscous spots (upperside), narrower whitish band, much larger ocellar spots to the primaries and whitish band to the secondaries (underside), which being distinctly broader than that of the primaries.

Exp. ♀ 70 mm.

Hab.—Formosa (Taimarisha); one female specimen collected in August by Mr. Teiichi Nagasawa.

第四十圖(2)(♀)

(584) しろじやのめ

學名　Melanargia halimede Mén.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

翅ハ白色、脈ハ暗色、前翅端ノ半部及ビ前後緣ハ暗色、第四室ヲ除キ各室ニ一白紋アリテ第一室ニアルモノハ一列ヲナシ、外側ニ一黑帶ヲ具ヘ、第四乃至第六室並ニ第十及ビ第十一室ノ基部ニ長形ノ白紋ヲ裝フ、後翅ノ外緣ハ暗色、之レニ三角形ノ白紋列ヲ具ヘ、白色ノ亞外緣線ヲ裝フ、緣毛ハ白色、裏面ハ灰白、少シク黃色ヲ帶ビ、斑紋ハ暗色、前翅ノ中室ニ山形ノ細キ斑紋ヲ具ヘ、橫脈外ニ一斜帶アリテ第三室ニテ三角形ニ、第一室ノ處ニテ四角形ニ肥大ス、尙外緣ニ細キ一帶アレドモ前後緣ニ達セズ、後翅ニ二波狀帶アリテ細ク、外帶ノ內側ニ眼狀紋アリテ其中央ハ白色ナレドモ餘リ判然セズ、亞外緣線ハ前翅ニテハ暗黃、後翅ニテハ暗色ナリ、開張(♂)(♀)六分—八分、此ハ朝鮮及ビ滿洲ニ稀ナラズ、

分布—朝鮮、滿洲、歐洲、

第三十七圖(10)(10ª)(♀)

(585) てうせんじやのめ

學名　Aphantopus hyperantus L.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

翅ハ暗色、雌ニテハ少シク淡色、前翅ニ三眼狀紋アリテ、第二、第三及ビ第五室ニ位シ稍々一直線上ニアリ、後翅ニ一眼狀紋アリテ第二及ビ第三室ニ位シ、白點ハ判然シ、外圍ハ黃色ナリ、雄ニテハ前翅ニ一個(第五室)、後翅ニ二個ノ眼狀紋アレドモ雌ノモノヨリハ小ナリ、裏面、黃褐、前翅ニ三個、後翅ニ五個ノ眼狀紋アリテ白點ハ判然シ、外圍ハ黃色、第四室ニ之レヲ缺ク、開張(♂)(♀)一寸五分—一寸七分、此ハ朝鮮ニ產スレドモ餘リ多カラザルガ如シ、

分布—朝鮮、滿洲、歐洲、

(附　言)　朝鮮ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. ocellatus Butl. ト云フ、

(586) たかねひかげ

學名 Oeneis jutta Hb.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

翅ハ灰黃、前翅ノ前緣ハ灰白、黑色ノ小短線ヲ散在ス、各室ノ中央ニ暗黃ノ大紋列アリテ、第二乃至第五室ニアルモノハ眼狀紋ヲ具ヘ、其中央ニ白點ヲ有スルモノアリ、時ニ第四室ニ眼狀紋ヲ缺クモノアリ、後翅ノ外半ハ暗黃、第二及ビ第三室ニ眼狀紋ヲ具ヘ、時ニ第三室ニ之レヲ缺クモノアリ、前後翅共ニ外緣ハ廣ク暗色、緣毛ハ暗色ト灰黃ノ斑ヲナス、裏面、前翅ハ暗黃、前緣、外緣及ビ翅端ハ暗色ニシテ前緣及ビ翅端ニハ白色ノ綾樣紋ヲ裝フ、眼狀紋ハ表翅ノモノニ異ナラズ、明ニ白點ヲ有ス、後翅ハ暗色、灰白ノ綾樣紋ヲ具ヘ、中央ニ近ク廣キ灰白帶アリテ弓狀ニ曲リ、內側ニテ波狀ヲナス、前緣及ビ中室ノ基部ニ灰白紋ヲ裝フ、開張(♂)(♀)一寸五分—一寸七分內外、此ハ信州淺間ニテ捕獲セルモノナルガ餘リ多カラズ、

分布—本州(信州)、滿洲、歐洲、北米、

(附言) 本州ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. asamana Mats. ト云フ、雌ノ原種ト異ナル所ハ前翅ハ細クシテ第四室ニ第五室ト同樣ノ黑紋ヲ具ヘ、第二及ビ第三室ニアルモノハ同大ニシテ徵小ナルニアリ、

Oeneis jutta Hb. var. asamana n. var. (pl. XXXVII, 11, 11ª, ♀).

第三十七圖
(11)
(11ª)
(♀)

Differs from the typical form as follows: primaries of the male distinctly narrower and with a large ocellar spot in the 4th interspace, which resembles much that of the 5th, and other 2 spots in the 2nd and 3rd interspaces, being very small and of a same size; beneath with distinctly white pupillated fuscous spots; secondaries beneath with much broader, inwardly zigzac angulated, whitish medial band; in the female the ocellar markings nearly the same with the typical form. Exp. ♂♀ 50—52 mm.

Hab.—Honshu (Asama); 3 (1♂, 2♀) specimens collected in August, 1900, by Mr. Yozo Takano.

第三十八圖
(2)
(♂)

(587) ますゐたかねひかげ

學名 Oeneis masuiana n. sp. (pl. XXXVIII, fig. 2, ♂).

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

雄翅ハ暗黃、外緣ハ暗色、前翅ノ前緣ハ暗色ニシテ小黑點ヲ散在ス、第二室ニ一眼狀紋アリテ白點ヲ有セズ、後翅ノ第二及ビ第三室ニ眼狀紋ヲ具ヘ、第二室ニアルモノハ微小ノ白點ヲ裝フ、緣毛ハ、灰黃、裏面ハ灰色、前翅ノ前緣及ビ後翅ノ內半ニ黑色ノ綾樣紋ヲ散在ス、開張(♀)一寸五分內外、此ハ朝鮮ニ稀ナラザルガ如シ、余ハ增井林太郎氏ノ鎭海灣貴山ニテ採集セルモノヲ所有ス、

分布—朝鮮(鎭海灣)、

Wings pale luteous, at veins and margins broadly, pale fuscous. Primaries at the costa marmorated with grey, in the second interspace with a small, not pupillated fuscous spot. Secondaries with 2 fuscous spots, respectively in the 2nd and 3rd interspaces, the first of which being much larger, all the ocelli not pupillated; at the basal part marmorated with fuscous; fringes of both wings entirely pale yellowish, underside greyish, wanting ocelli; primaries at the base and costa fuscous

marmorated; secondaries over the whole surface fuscous marmorated, especially at the basal part being conspicuous.

Exp.—♀ 45 mm.

Hab.—Corea (Mt. Kizan near Chinkaiwan); one female specimen collected in April, 15th, 1910, by Mr. Rintaro Masui; it seems to be rare.

(588) てうせんたかねひかげ

學名 Oeneis nanna Mén.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

翅ハ黃褐、翅底ノ半部及ビ外緣ハ暗色ヲ帶ブ、前翅ハ三個ノ眼狀紋ヲ有スレドモ第四室ニアルモノハ小ニシテ判然セズ、後翅ノ各室ニハ眼狀紋ヲ具ヘ、何レモ白點ヲ有ス、尤モ眼狀紋ノ大ニ減數スルモノアリテ朝鮮ニ產スルモノハ普通前翅ニ一紋ヲ具ヘ、第二室ニ位ス、尙ホ變種 var. coriacea Fruhs. ニアリテハ後翅ノ第二室ニ唯ダ一紋ヲ有スルニ過ギズ、裏面ハ表翅ニ酷似スレドモ後翅ノ中室ニハ灰色ノ小短線ヲ散在シ、後翅ノ眼狀紋ハ判然シ、翅底ハ暗色ニシテ多クハ白色ノ綾樣紋ヲ有ス、開張(♂)(♀)一寸七分內外、此ハ朝鮮ニ產スレドモ餘リ多カラザルガ如シ、

分布—朝鮮、滿洲、支那、

(附 言) 朝鮮ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. walkyria Fix. ト云フ、

第三十八圖
(1)
(♀)

(589) かぎこじやのめ

學名 Mycalesis suvaveolens W. Mas.

昆蟲學上ノ地位 蛇目蝶科

大形ノ種類ニシテひめじやのめニ酷似ス、前翅ニハ二眼狀紋ヲ具ヘ、第二室ニアルモノハ大、第五室ニアルモノハ小、後翅ニハ二眼狀紋アリテ第二室ニアルモノハ大ニシテ判然スレドモ第三室ニアルモノハ小ニシテ餘リ判然セズ、雄ハ後翅前緣ノ基部ニ近ク黃色ノ筆狀毛ヲ有ス、裏面ハ表翅ト稍同色、三分ノ一ノ處ニ濃色ノ一波狀帶ヲ具ヘ、三分ノ二ノ處ニ黃白帶アリテ何レモ後翅ニ連續ス、前翅ニ四個ノ眼狀紋アリテ第二室ニアルモノハ大、第四及ビ第六室ニアルモノハ微小ナリ、後翅ニハ七個ノ眼狀紋アリテ第三乃至第六室ニアルモノハ稍々同大、第二室ニアルモノ最モ大ナリ、亞外緣線ハ暗色ニシテ波狀ヲナシ、其內側ハ灰色ニテ緣取ラル、開張(♂)(♀)一寸九分—二寸一分內外、此屬ニ係ル最モ大形ノ種類ナリ、臺灣嘉義地方ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣(嘉義)、

(附 言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. kagina Fruhs. ト云フ、

第四十圖
(4)
(♀)

(590) ひとつめじやのめ

學名 Mycalesis mineus L.

第四十圖
(3)
(♀)

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

前翅ノ第二室ニ大ナル眼狀紋ヲ具ヘ、其內側ニ一濃色帶アリテ之レヨリ外部ハ少シク淡色、翅端ハ斜ニ截斷セラレタルノ狀ヲ呈セス、外緣淡色、其中ニ濃色ノ亞外緣線アリ、裏面ノ中央ニ黃白ノ太キ一帶ヲ具ヘ、翅底ニ近ク細キ波狀ノ暗色帶ヲ裝フ、前翅ニ二個ノ眼狀紋アリテ第二及ビ第五室ニ位シ、外緣ニ近ク鋸齒狀ノ一暗色帶アリ、後翅ニハ七個ノ眼狀紋アリテ初メノ五個ハ一直線上ニ位ス、外緣ニ二條ノ波狀帶アリテ內側ノモノハ鋸齒狀ヲナス、乾燥期ニ發生セルモノハ裏面暗色ニシテ中帶ハ濃色、眼狀紋ハ微小ナリ、翅底ニ近ク小黑點ヲ散在ス、雄ニテハ後翅ノ基部ニ黃白ノ筆狀毛ヲ有ス、開張(♂)(♀)一寸五分—一寸七分、此ハ臺灣ニ普通ナリ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、

(附　言)　此ハふたをびじやのめ(M. visala Moor.)ニ酷似スレドモ後翅橫脈ノ下端ハ第二及ビ第三脈ノ分岐點ニ開口スルヲ以テ容易ニ區別スルコトヲ得ベシ、

第四十圖(5)(♀)

(591) むもんじやのめ

學名　Mycalesis perseis F.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

前種ニ酷似スレドモ前翅裏面ノ第二室ニアル眼狀紋ハ頗ル大ニシテ中室ニ暗色ノ橫帶ヲ缺キ、外緣線及ビ亞外緣線ハ一層外緣ニ近シ、後翅ニ於ケル初メノ三眼狀紋ハ一直線上ニアリ、開張(♂)一寸七

分—一寸九分內外、此ハ臺灣ニ稀ナラズト雖ドモ前種ヨリハ遙ニ少ナシ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、

第四十圖(6)(♀)

(592) こひとつめじやのめ

學名　Mycalesis sangaica Butl.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

前種ニ酷似スレドモ形小ニシテ翅ハ丸味ヲ帶ビ、前翅端ハ截斷狀ヲナサズ、第二室ニ一眼狀紋ヲ具ヘ、第五室ニ微小ノ眼狀紋アレドモ判然セズ、裏面、翅底ノ半部ハ暗色ノ綾狀斑紋ヲ具ヘ、中帶ハ白色、前翅ニハ眼狀紋三個アリテ第二室ニアルモノハ大、第四及ビ第五室ニアルモノハ小ニシテ時ニ第四室ノモノヲ缺ク、後翅ニハ七個ノ眼狀紋アリテ初メノ五紋ハ一直線上ニ位シ何レモ淡紫色線ニテ縁取ラル、亞外緣線ハ灰白ノ二波狀線ヨリ成リ少シク紫色ヲ帶ブ、雄後翅ノ基部ニアル筆狀毛ハ暗色、中室ノ前緣ニアルモノ黑色ナリ、開張(♂)(♀)一寸五分—一寸六分內外、此ハ臺灣ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、滿洲、支那、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. mara Fruhs. ト云フ、

第四十圖(7)(♀)

(593) ひめひとつめじやのめ

學名　Mycalesis horsfieldi Moor.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

前種ニ酷似スレドモ雄ハ後翅ノ基部ニ黃白ノ筆狀毛ヲ具ヘ、中室ノ前緣ニ黑毛ヲ缺ク、裏面、翅底ノ內半ニ綾樣ノ暗色紋ヲ缺キ(唯ダ後翅ノ內緣ニ少シクアレドモ判然セズ)、後翅ノ眼狀紋ハ遙ニ外緣ニ接近シ、亞外緣線ト眼狀紋トノ間室ハ狹ク、殊ニ第四室ニ於テ其然ルヲ見ル、開張(♂)(♀)一寸四分—一寸七分、此ハ臺灣恒春地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、爪哇、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. panthaka Fruhs. ト云フ、

第四十圖(8)(♀)

(594) きんじやのめ

學名　Palaeonympha opalina Butl.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

翅ハ淡キ暗色、前翅中室ノ外側ニ濃色ノ一帶ヲ具ヘ、第五室ニ一大眼狀紋ヲ裝ヒ、其中ニ銀色ノ二點アリ、其外圍ハ金色、外緣ニ近ク濃色ノ一波狀帶アリテ亞外緣線ハ細ク波狀帶ニ平行ス、後翅ノ中央ニ濃色ノ一帶アリテ中室ノ外側ニテ外方ニ屈折ス、眼狀紋ハ五個ニシテ第二及ビ第五室ニアルモノ判然シ、前翅ノモノニ異ナラズ、他ノモノハ微小ニシテ判然セズ、外緣ニ近ク波狀帶アリテ前翅ノモノヨリモ一層深シ、裏面、表翅ヨリモ少シク淡色、中央ニ近ク黃褐ノ二帶アリテ後翅外側ノモノハ中央ニテ外方ニ屈折ス、眼狀紋ハ表翅ノモノニ似タリ、前翅ニテハ第一乃至第三室ニ楕圓形

ノ暗黃紋アリテ第三室ニアルモノハ二個ノ銀色點ヲ有ス、後翅ノ眼狀紋ハ表翅ノモノヨリ大ニシテ判然シ、總シテ二個ノ銀色點ヲ有ス、第三及ビ第四室ニアルモノハ黑色部ヲ缺ク、外緣ニ近キ波狀線ハ表翅ノ如ク波狀ヲナセドモ一層細シ、後翅ノ外半ハ灰白ナリ、開張(♂)(♀)一寸六分—一寸八分、此ハ臺灣効坪地方ニ稀ナラザルガ如シ、

分布—臺灣、支那、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. macrophthalma Fruhs. ト云フ、

第四十一圖(1)(♀)
第四十一圖(6)(♀)

(595) くろこのまてふ

學名　Melanitis phedima Cram.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

翅ハ暗黑、前翅ノ中央(前緣ニ近ク)ニ濃色紋ヲ具ヘ、其中央ニ橫脈アリテ之レヲ二分ス、中室外ニ黑紋アリテ其外側ニ少シク紫色ヲ帶ビタル二白紋ヲ具ヘ、第四室ニアルモノハ大ナリ、時ニ白紋ヲ缺クモノアリ、翅端ハ赤褐ヲ帶ビ、第五脈ノ終點ニテ尾狀ニ突出ス、裏面、赤褐ナルモノト暗褐ナルモノトアリテ全面ニ濃色ノ綾樣紋ヲ散在シ、前翅ニハ二條、後翅ニハ一條ノ濃色帶ヲ具ヘ、後翅ニアルモノハ弓狀ニ彎曲ス、前翅ニハ一條ノ濃色帶ヲ具ヘ、後翅ニアルモノハ弓狀ニ彎曲ス、前翅ニハ四個(第二、第三、第五及第六室)後翅ニハ七個(各室)ノ眼狀紋アリテ後翅ノ第二及第六室ニアルモノ

ハ大ナリ、開張(♂)(♀)二寸一分—三寸内外、此ハ四國、九州、臺灣等ニ分布スレドモ餘リ多カラズ、
分布—四國(伊豫)、九州(大分)、臺灣、支那、比利賓、印度、
(附　言)　臺灣ニ產スルモノニ二變種アリテ一ヲぽりしやーな形 Var. polishana Fruhs. (第四十一圖)(1)ト
云ヒ之レハ大ニシテ前翅ニ二白色紋ヲ具ヘ、第四室ニアルモノハ大ナリ、第三室ニ大ナル
黑紋アリ、他ヲあさくられー形 Var. asakurae Mats (第四十一圖)(6)ト云フ、此モノハ形小、前
翅ニアル斑紋ハ判然セズ、唯ダ第三室ニ微小ノ白紋ヲ有スルニ過ギズ、黑紋ヲ缺ク、第
五脈ノ終止スル處ハ餘リ突起セズ、後翅ノ尾狀突起ハ短カシ、兩者何レモ埔里社ニ產ス、
尙ホ九州ニ產スルモノモ變種ニシテ Var. oitensis Mats. ト云フ、此ハ斑紋ハあさくられー形ニ
酷似スレドモ形ハぽりしやーな形ニ酷似ス、前翅ノ第四室ニ白紋ヲ缺キ、第五脈ノ終止
スル所ハぽりしやーな形ト同樣、大分ニテ捕獲セリ、

Melanitis phedima Cram. var. asakurae n. var. (pl. XLI, 6, ♀).

Differs from var. *polishana* Fruhs. in lacking white spots to the 4th interspace of the primaries, and having the end of the 5th vein scarcely produced, while the cauda of the secondaries being very short.
Hab.—Horisha, Hoppo (Formosa); 2 male specimens collected by the author.

Do var. oitensis n. var.

This stands between *polishana* and *asakurae*; in the marking it resembles *asakurae* and in the form *polishana*.
Hab.—Kiushiu (Ōita); one male specimen in my collection, presented me by Mr. Teiji Takano.

(596) るりもんじやのめ

學名　Elymnias nigriscens Butl.

昆蟲學上ノ地位　蛇目蝶科

雄翅ハ黑藍色、前翅ノ外緣ニ沿ヒ藍色紋ヲ列ヌ、第六室ニアルモノハ長シ、前緣ニ白色ノ綾樣紋ヲ具ヘ、外緣ハ波狀ヲナス、後翅ノ外緣ハ赤褐、第四脈ノ終點ハ少シク尾狀ヲナス、雌ニテハ翅紫褐色ニシテ外緣ニ沿ヘル斑紋ハ白色ニシテ少シク紫外緣ニ沿ヒ三四個ノ白紋ヲ列ネ、其內側ニ赤褐ノシテ赤褐ノ短線ヲ散布シ綾狀ヲナス、前翅ノ末端ニ近ク三角形ノ灰白紋アリテ之レニ褐色ノ綾樣紋ヲ裝フ、尙ホ後翅ノ外緣ニ近ク灰白ノ太キ一帶アリテ之レニモ褐色ノ綾樣紋アリ、開張(♂)(♀)二寸—二寸七分、此ハ臺灣何レノ地方ニモ稀ナラズ、
分布—臺灣、支那、馬來、印度、其他南洋諸島、
(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Fruhs. ト云フ、

第四十一圖(2)(♀)

(597) いはさきこのは

學名　Dolechallia bisaltide Cram.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

第四十一圖(3)(♀)

翅ハ黃褐、斑紋ハ黑褐、前翅端及ビ外緣ハ廣ク黑褐、橫脈上ヨリ第三脈上ヲ通シテ外緣ノ黑褐帶ニ達スル太キ一斜帶アリテ其兩側ニ凸凹アリ、第七及ビ第九室ニ白點アリテ後者ニアルモノ少シク大ナリ、尙ホ第一室ニ暗色ノ一紋アレドモ餘リ判然セズ、第七脈ノ末端ハ鈍角ヲナシテ突出ス、後翅ハ前翅ヨリ少シク暗色ヲ帶ビ、肛角ハ木葉蝶ノ如ク尾狀ヲナシ、之レニ白毛ヲ裝フ、裏面ハ暗灰色、前翅ノ中室ニ白色ノ四紋アリテ、外方ノ下方ニアルモノハ〈字形ヲナス、中央ニ近ク暗色ノ細キ一帶アリテ其外側ハ少シク濃色、第六脈ノ處ニテ〈字形ニ少シク屈折ス、翅端ニ近キ二白紋ハ一層判然ス、第三室ヲ除キ各室ニ判然セザル眼狀紋アリテ其中點ハ白色、後翅ノ第二及ビ第五室ニ各一個灰黃ノ眼狀紋アリテ其中點ハ黑色、第七室ノ基部ニ一個及ビ中脈ニ沿ヒ二個ノ白紋ヲ裝フ、暗色ノ中帶ハ端直、外緣ニ近ク暗色ノ波狀帶アリテ之レハ尾狀突起ノ末端ニ達シ其外方ハ灰白、開張二寸四分內外、此ハ嘗テ石垣島ニ捕獲セラレタルモノナルガ定メテ暴風ノ爲メ比利賓島ヨリ吹キ飛サレ來リタルモノナルベシ、著者ノ爰ニ描ケルモノハ支那產ニシテ Var. continentalis Fruhs. ナリ、昆蟲世界第十五卷第十九版ニ描ケルモノハ Var. philippinensis Fruhs ナルガ如シ、分布—沖繩(石垣島)、支那、比利賓、馬來、印度、

(598) きをびてふ

學名 Yoma (Salamis) sabina Cram.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

第四十二圖(1)(♀)

翅ハ暗褐、前翅ノ中室ニ濃色ノ四帶アリテ何レモ多少波狀ヲナス、翅ノ中央ニ橙黃色ノ太キ一帶アリテ後翅ノ內緣角ニ延長ス、外緣ニ暗色ノ波狀帶ヲ具ヘ、其內側ニ黃白紋ヲ裝ヒ、第三乃至第六室ニアルモノハ最モ顯著ナリ、後翅ノ外緣ニ三條ノ暗色帶アリテ何レモ波狀ヲナシ、外側ニ於ケルモノ最モ細シ、內緣角ニ少シク紫色ヲ帶ビタル部分アリ、裏面ハ灰褐ニシテ黑鱗ヲ散在シ、前翅ノ第三及ビ第四室ニ白紋ヲ具ヘ、他室ニハ黑點アリ、後翅ノ中央ニ灰白ノ四角紋アリ、後緣角ハ灰白、其內側ニ藍色ノ大紋ヲ裝ヒ、後緣七分、此ハ臺灣恒春地方ニ普通ナリ、

分布—臺灣、支那、印度、

(599) ひめふたをてふ

學名 Eriboea (Charaxes) narcaeus Hew.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ黃白、前翅ノ前緣、外緣、橫脈上ノ一帶、中脈ノ中央ヨリ第四脈ノ中央ニ達スル弓狀帶及ビ後橫帶ハ黑色、外緣ニ近ク七個ノ黃白紋アリテ橫置セラル、後翅ノ後橫帶及ビ外緣(狹ク)ハ黑色、外緣ニ近ク小黑紋ヲ列ヌ、尾狀突起ハ黑色ニシテ其中軸ニ沿ヒ藍色部アリ、內緣角ニ黃褐部アリテ其內側ニ二黑點ヲ具ヘ、其周圍ハ藍色、其內側ハ黑線ニテ區劃セラル、第一室ノ毛列ハ暗灰色ヲ帶ブ、裏面ハ白色、銀色ヲ帶ビタル部分アリ、前翅ノ前緣(翅端及

第四十二圖(2)(♂)

ヒ翅底ヲ除キ)外緣、後橫帶、後緣ノ基部ヨリ第四脈ノ中央ニ達スル一弓狀帶並ニ橫脈上ノ一帶ハ褐色、此內後橫帶ノ外側、橫脈上ノ一帶並ニ弓狀帶ノ兩側ハ黑線ニテ緣取ラル、尙ホ中室ノ中央ニモ一黑帶アリ、後翅ノ基部ニ近ク褐色ノ弓狀帶アリテ其前半部ハ黑線ニテ緣取ラル、後橫帶ハ紫褐色、其內側ハ靑紫色、更ニ其內側ハ黑線ニテ緣取ラル、外緣ハ褐色、其內側ハ黃褐、更ニ其內側ニ八個ノ黑紋ヲ列ス、尾狀突起ノ中軸ニハ靑色鱗アレドモ表翅ノモノヽ如ク判然セズ、開張(♂)(♀)二寸二分—二寸五分、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. megadhuta Frubs. ト云フ、

第四十二圖(3)(♀)

(600) やえやまむらさき

學名 Hypolimnus antelope Cram.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ紫褐色、雄ハ紫色ヲ帶ビ、光線ノ工合ニテ變色スルコトめすあかむらさきノ雄ニ似タリ、外緣ニ二列ノ靑白紋アリテ外側ニアルモノハ各室ニ二個アリ、外緣線ハ黑色ニシテ波狀ヲ呈シ、其外側ハ靑色ニテ緣取ラル、緣毛ノ凹陷部ハ白色、雌ニテハ斑紋白色ニシテ前翅ノ外側ニアルモノハ少シク紫色ヲ帶ブ、裏面ハ表翅ト異ナラズト雖ドモ前翅ノ中室ニ二白紋ヲ裝フ、開張(♂)(♀)二寸五分內外、此ハ沖繩八重山島ニ產スレドモ餘リ多カラザルガ如シ、

分布—沖繩、支那、比利賓、南洋、爪哇、

(附　言) 八重山ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. phalkes Frubs. (第四十二圖(3)ト云ヒ、南洋ばらうニ產スルモノヲ Var. truentus Frubs. ト云フ、

第四十二圖(4)(♀)

(601) なかぐろみすぢ

學名 Pantoporia (Athyma) asura Moor.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗黑色、斑紋ハ白色、但シ後翅ノ後緣ニ近キ白紋列ハ其中央ニ黑點ヲ有ス、前翅ノ中室ニ一縱條アリテ基部ヨリ中央ニ達ス、各室ニ二紋アリテ內側ニアルモノハ大ニシテ圓ク、第五及ビ第六室ニアルモノハ長シ、外側ニアルモノハ細クシテ短線トナル、後翅底ニ近キ一帶ハ前翅ノ內側ノ帶ニ連續シテ一字形ヲナス、裏面ハ黃褐、斑紋ハ表面ト異ナラザレドモ、外緣ニ近ク更ニ一條ノ白紋列アリテ其內側ノ白紋ハ稍々環狀ヲナス、後翅底ニ更ニ一條ノ白帶ヲ具ヘ、腹部ノ基部ニ太キ一白帶ヲ裝フ、開張(♂)(♀)二寸二分—二寸六分、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. baelia Frubs. ト云フ、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. baelia Frubs. ト云フ、

(602) たいわんほしみすぢ

學名 Pantoporia sulpitia Cram.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗褐色、斑紋ハ白色、前翅ノ中室ニ棍棒狀ノ一縱條アリテ中央ニ近ク遮斷セラル、各室ニ二紋列アリテ內側ニアルモノハ大、其內第四乃至第六室ニアルモノハ細長ナリ、後翅三分ノ一ノ處ニ一帶ヲ具ヘ、三分ノ二ノ處ニ半月形紋ノ一列アリテ、其內方ニ更ニ黑色ノ紋列アレドモ餘リ判然セズ、緣毛ノ凹陷部ニアルモノハ白色ナリ、裏面ハ黃褐、斑紋ハ表翅ノモノト稍々同樣ナレドモ、中室ノ縱條ハ中央ニ近ク前緣ニテ遮斷セラレ、各室ノ白紋ハ三個ナリ、後翅ノ基部ニ五個ノ黑紋ヲ具ヘ、中央ニハ褐紋及ビ黑紋ヲ橫列ス、白帶及ビ白紋ハ表翅ノモノヨリ太シ、開張(♂)(♀)一寸九分—二寸三分、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

第四十二圖(5)(5ª)(♀)

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. tricula Frubs. ト云フ、

第四十二圖(7)(♀)(7ª)(♂)

(603) たいわんいちもんじ

學名 Pantoporia cama Moor.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

雄翅ハ暗黑、前翅中室ノ外側ニ三白紋アリテ稍々斜ニ排列ス、尙ホ後緣ノ中央ニ第三脈ニ達スル白帶アリテ之レハ後翅ノ同樣帶ニ連續ス、何レモ少シク藍色ヲ帶ブ、翅端ニ近ク橙黃ノ一紋アリ、外緣ハ淡色ニシテ之レニ濃色ノ一帶アリ(後翅モ同樣)、前後翅共ニ緣毛ノ凹陷部ハ白色ナリ、裏面ハ黃褐、斑紋ハ白色ニシテ少シク紫色ヲ帶ブ、前翅ノ中帶ハ第二室ニ達シ、中室ノ棍棒線ハ末端ニ近ク遮斷セラル、第一室ノ基部ニ暗色紋ヲ具ヘ、後緣角ニ近ク暗色ノ一大紋アリ、外緣ニ近ク淡紫色ノ一帶アリテ第三及ビ第四室ノ處ニテ幅廣シ、尙ホ同室ノ外側ニ白紋ヲ裝フ、後翅ニ三帶アリテ前緣ノ基部ニアルモノハ紫色ヲ帶ブ、外緣ニ近ク白紋列アリテ其內側ニ褐色帶ヲ具ヘ、中央ニハ暗褐ノ太キ一帶アリテ其兩端ハ細小ス、內緣ハ靑白、雌ハ暗褐、前後翅ヲ貫通スル橙黃ノ三帶アリ、前翅ノ中室外ニ大紋ヲ具ヘ、斜ニ排置セラル、尙ホ翅端ニモ同色ノ一紋アリ、外緣及ビ裏面ハ雄ニ異ナラズ、開張(♀)一寸八分、(♂)二寸三分、此ハ臺灣何レノ地方ニモ產スレドモ雌ハ餘リ多カラズ、

第四十三圖(1)(♀)(4)(♂)

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. zoroastes Butl. ト云フ、

(604) やえやまいちもんじ

學名 Pantoporia selenophora Koll.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

雄ハ前種ニ酷似スレドモ前翅中室外ノ三紋ハ小ニシテ翅端ニ橙黃紋ヲ缺クヲ以テ容易ニ區別シ得ベ

シ、前翅ノ第二室ニアル白紋ハ他紋ヨリモ大ナリ、後翅帶ハ內緣ニ至ルニ從ヒ其幅ヲ增ス、裏面モ前種ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ中室ニ黑褐ノ三斜條ヲ具ヘ、中央帶ハ第三室ニ達ス、中室ノ外側ニ黑褐ノ二紋アリ、後翅第七室ノ基部ニ褐色ノ環紋ヲ具ヘ、中帶ハ中央ニテ太キ外他ハ前種ニ同ジ、雌ニテハ斑紋ハ白色ニシテ中室ノ棍棒線ハ末端ニ近ク三分セラレ、中室ノ外側ニ三角形ノ白紋アリ、外緣ニ平行シテ白紋ヲ列ス、帶ハ前種ヨリ細シ、前後翅共中央ニ金色鱗ヲ散布ス、開張(♂)二寸、(♀)二寸五分內外、此ハ八重山及ビ沖繩ニ產スレドモ雌ハ餘リ多カラズ、

分布—沖繩(八重山)、臺灣、支那、印度、

(附　言)八重山ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. ishiana Fruhs. (第四十三圖(1)(♀))ト云フ、前者ハ形遙ニ大ニシテ雄ノ白帶ハ廣ク、後モノヲ Var. laela Fruhs. (第四十三圖(4)(♂))ト云フ、

翅裏面ニ於ケル第七室ノ基部ニ環狀ノ褐紋ヲ裝ヘドモ後者ニアリテ二短線トナル、

(追　記)千蟲四第七十七圖(5)ニ Pantoporia opalina Koll. トアルハ前記ノ誤ナルヲ以テ訂正ス、

(605) にこべみすぢ

第四十二圖(6)(♂)

學名　Pantoporia jina Moor.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

翅ハ黑色、前後翅ヲ通ズル三帶ハ白色、前翅中室ノ棍棒帶ハ基部ニテ黑鱗ヲ散在ス、橫脈外ニ三白

紋アリテ一斜線上ニ排置セラル、中帶ハ少シク藍色鱗ヲ帶ビ、殊ニ其兩緣ニ於テ其然ルヲ覺ユ、之レハ後翅第一室ノ中程ニ終ル、前翅ノ第二室ニアル紋ハ最モ長シ、第五乃至第七室ノ外方ニ小白紋アリテ同ジク斜線上ニ排置セラル、尙ホ第一室ノ外方ニモ一白紋アリ、第三帶ハ點線ニシテ何レモ稍々方形ヲ呈ス、內緣ノ腹部ニ接スル處ハ灰白、凹陷部ノ緣毛ハ白色、裏面ハ黃褐、斑紋ハ表翅ノモノニ異ナラザレドモ更ニ外緣ニ白紋列ヲ裝フ、開張(♂)二寸內外、此ハ南投及ビ埔里社ノ蕃界ニ產スルモ稀ナルガ如シ、著者ハ未ダ雌ヲ捕獲セズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言)臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. sauteri Fruhs. トス、

(606) をすあかみすぢ

第四十二圖(8)(♀)(8ª)(♂)

學名　Abrota pratti Leech.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

雄翅ハ柿色、斑紋ハ暗褐、前翅中室ノ中央ニ二紋アリテ橫置セラレ、橫脈上ニハ橫線アリテ波狀ヲナシ、其中部ハ淡色、中帶ハ第三及ビ第四室ノ處ニテ甚ダシク屈折ス、翅端及ビ外緣ハ暗褐、外緣ニ平行シ一紋列アリテ後緣ヨリ第三室迄ハ一帶ヲナス、外緣ニ近ク二黃紋ヲ具ヘ、第一及ビ第二室ノ中央ニ近ク暗色紋アリ、後帶ハ波狀ヲナシ、外緣ハ暗色ニシテ內緣角ニ至ルニ從ヒ其幅ヲ增ス、裏面ハ淡色、斑紋ハ黃褐、前翅端ヨリ後翅內緣ノ中央ニ向テ紫褐色ノ一條ヲ斜

走ス、中室ニハ二紋ヲ具ヘ、中帶ハ波狀ヲナシ、第四及ビ第五室ノ處ニテ犬牙狀ヲナス、外側ノ三分ノ一ノ處ニ紫褐ノ二紋列アリテ內側ノモノハ前緣ニテ白紋トナル、翅端ニ白紋アリテ少シク紫色ヲ帶ブ、後翅ノ外半ニ判然セザル二條ノ波狀帶アリテ、第七室ニ一個、中室ノ基部ニ二個ノ環狀紋ヲ具ヘ、尙ホ其外側ニ波狀ノ短線ヲ裝フ、雌ハ暗褐、前後翅ヲ通ジテ灰白ノ三帶ヲ具ヘ、前翅中室ノ棍棒線ハ三分セラレ、其基部ニ暗色ノ二三紋ヲ縱列ス、中室外ニ一斜帶アリテ第九脈ヨリ第四脈ニ達ス、外緣ニ平行シテ細キ紋列アレドモ第五室以上ニテハ判然セズ、第五乃至第七室ニ各一個ノ白紋ヲ裝ヒ、中帶ハ第二室ニ達ス、後翅ノ後帶ハ紋列ヨリ成リ、何レモ內側ニテく字形ニ刻ラル、前後翅ノ緣毛ハ凹陷部ニ少シク白毛ヲ裝フ、裏面ノ斑紋ハ雄ニ酷似スレドモ更ニ一層淡色ニシテ中央部ニ紫色ヲ帶ビタル部分多シ、開張(♂)二寸一分、(♀)二寸五分內外、此ハ埔里社地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ之レヲ Var. formosana Fruhs. ト云フ、

第四十三圖(2)(3)(♀)

(607) いなづまてふ

學名 Sasakia fulguralis Mats.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗黑、前後翅ノ基半部、各室ノ縱皺及ビ脈ハ天鵞絨樣ノ黑色、前翅ノ中室ニ紅色ノ二短線ヲ橫

走ス、後翅ノ外緣ハ廣ク黑色、內緣角ニ一紅色紋ヲ裝フ、裏面、前緣ノ基部紋、中室ノ二橫紋、後翅底ノ前緣ニアル弓狀帶、第六及ビ第七室ノ基部ニアル紋、中室ノ基部ニアル二紋、外緣ノ一紋列及ビ內緣ハ紅色、尙ホ下唇鬚ノ下面、複眼ノ後方モ亦紅色ナリ、雌ハ大形ニシテ後翅表面ノ外緣ニ紅色紋ヲ列ヌル外大差ナシ、開張(♂)二寸二分、(♀)二寸八分內外、此ハ埔里社地方ノ高山ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣(埔里社)、

第四十三圖(5)(♀)(6)(♂)

(608) きごまだら (ひさごすみながしよ)

學名 Sephisa chandra Moor.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

雄翅ハ黑色、白色及ビ柿色ノ斑ヲナス、前翅中央ニ柿色ノ紋列アリテ中室ニアル一紋ハ前外角ニテ刳ラル、中室外ニ白色ノ一紋列アリテ第一室ニ紋ヲ缺キ、第五及ビ第六室ニ小形ノ白紋ヲ裝フ、後翅ノ中央ハ廣ク柿色、中室ノ中央ニ一黑紋ヲ具ヘ、外緣ニ近ク柿色ノ一紋列アリテ第二及ビ第三室ノ外側ニ藍色ノ一小紋ヲ裝フ、前後翅共緣毛ノ凹陷部ハ白色ナリ、裏面ノ斑紋ハ表面ノ斑紋ト餘リ異ナラザレドモ前翅中室ノ基部ノ一紋、第五及ビ第六室ノ基部ニアル各一紋、第一室ノ外緣ニアル四紋及ビ其中央ニ近キ一紋ハ藍色、外緣ニ近ク白色ノ二紋列ヲ裝フ、後翅ノ基部ニ八個ノ白紋ヲ具ヘ、外緣ニ沿ヒ靑白ノ一紋列ヲ裝ヒ、第二室ノ中央ニモ柿色ノ一紋アリ、尙ホ胸部ニ白紋ヲ散在ス、

雌ニテハ翅ハ全體黑色、前翅端ハ少シク淡色、中室ニハ瓢狀ノ柿色紋ヲ具ヘ、其內側ノ一紋、第一室ノ基部ニアル一縱條、其中央ノ一紋、其外緣ノ四紋、第二室ノ二紋並ニ第三室ノ一紋ハ藍色、第五及ビ第六室ニ各二個ノ白紋ヲ具ヘ、外緣ニ判然セザル暗色ノ一帶ヲ具ヘ、其內側ニ灰白ノ紋列アリ、後翅ノ外緣ニ二列ノ藍色紋ヲ具ヘ、第三乃至第六室ニ更ニ一個乃至二個ノ同色紋ヲ裝ヒ、第五室ニアルモノハ長シ、裏面ノ斑紋ハ表翅ノモノヨリ更ニ一層多ク、前翅中室ノ基部ニアル一紋及ビ中央ノ紋列ハ藍色、中室ノ瓢形紋ハ一層大ナリ、後翅ハ暗色、基部ニ九個ノ白紋ヲ具ヘ、尙ホ五列ノ白紋アリテ其內中室ノ基部ニアル一紋、第三乃至第六室ノ第二列ニ位スル各一紋ハ橙黃色、第一室ノ外緣ニ近キ紋ハ少シク藍色ヲ帶ブ、開張(♀)二寸七分、(♀)三寸內外、此ハ臺灣埔里社地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、雌ハ稀ナリ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. androdamas Fruhs. ト云フ、

(609) だいめうきごまだら

學名 Sephisa dichroa Koll.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

雄翅ハ暗褐、斑紋ハ柿色、前翅中室ノ內半ハ柿色、之レニ暗褐ノ一紋アリテ斜置セラレ中脈ニ達セズ、橫脈ノ外側ニ傾斜セル一紋アリテ其外側ニ三銳齒ヲ出ス、翅ノ中央ハ廣ク柿色、第二室ノ中央ニ暗褐ノ一圓紋アリ、外緣ニハ二紋列アリテ何レモ尙ホ第四乃至第六室ノ中央ニ柿色ノ一紋ヲ裝フ、後翅ノ中央ハ柿色、暗色紋ヲ散在ス、外緣ハ廣ク暗褐、之レニ二乃至三紋列アリテ、第二及ビ第三室ニハ三紋ヲ具ヘ、中央紋ハ何レモ〈字形ヲナシ、前緣ニ進ムニ隨ヒ、其高サヲ增スコト前翅ノモノニ異ナラズ、內緣ハ白色、前後翅ノ緣毛ハ何レモ黑色ニシテ唯ダ後翅ノ第一室ニアルモノノミ白色ナリ、裏面、前翅ハ柿色、黑紋ヲ散在ス、前翅ノ中室ニ三紋アリテ、橫脈上ニアル一紋ハ大ニシテ其中央ニ一黃白紋ヲ裝フ、外緣ハ暗色、其內側ニ當リ外緣ニ平行セル一帶ヲ具ヘ、其內側ニ更ニ半月形ノ一紋列ヲ裝ヒ、第四乃至第七室ニ於ケル半月形紋ノ外側ニ黃白ノ一紋アリ、尙ホ中央ニモ暗色ノ紋列アリテ、第一及ビ第三室ニハ紋ヲ缺ク、第一室ノ基部ニ二紋アリテ外方ニアルモノハ大ナリ、後翅ハ灰白、少シク靑色ヲ帶ブ、第七室ニアル半環紋、其內側ニアル一短線、中室ノ一紋及ビ三紋列ハ暗色ニシテ、第一紋列ノ外側ハ柿色、第二及ビ第三室ニハ更ニ暗色紋ヲ具ヘ、第二室ニアル暗色紋ノ中央ハ柿色ナリ、第二及ビ第三紋列ハ何レモ〈字形ヲナス、外緣ハ細ク暗色ニシテ其內側ニ柿色ナル半月形ノ紋列アリ、內緣ニハ黑紋及ビ黑條ヲ裝ヒ、胸面ハ灰白ニシテ暗色條ヲ有ス、開張(♂)二寸一分、臺灣埔里社地方ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣(埔里社)、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. daimio Mats. ト云フ、

第四十三圖
(7)
(12)
(♂)

(610) たいわんこむらさき

學名 Apatura ulupi Doh. (= fulva Leech).

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

雄翅ハ柿色、前翅横脈上ノ一波狀紋、第一、第二、第五及ビ第六室ノ各一紋、翅端並ニ外緣ハ暗色、但シ第二室ノ暗色紋ハ圓形ニシテ判然ス、後翅ノ外緣ニ二紋列アリテ外方ニアルモノハ細線ニヨリテ相連續ス、第二室ノ中央ニ近ク前翅ノ如キ圓紋アレドモ少シク小ナリ、裏面ハ灰黃色、前後翅ノ中央ニアル半横帶ハ橙黃色、其外側ハ淡色、後翅第二室ニ黑色ノ眼狀紋アリテ其中點ハ白色、其周圍ニ黃褐ノ一細環アリ、雌ハ暗褐、少シク紫色ヲ帶ブ、翅底ノ半部ハ少シク綠色ナリ、中帶ハ白色、前翅ニテハ二紋ニ分離シ、前方ノモノハ外方ニ位シ、下方ノモノハ少シク內方ニ位ス、第二室ニ暗色ノ一圓紋ヲ具ヘ、第二室乃至第六室ニ白紋ヲ裝フ、但シ第四室ニテハ判然セズ、後緣角ニ黃紋ヲ裝フ、後翅ノ中帶ハ後方ニ至リテ細小シ、其外側ハ波狀ヲナス、第二室ニ暗色ノ眼狀紋ヲ具ヘ、中點ハ灰白、外緣ニ黃色ノ紋列ヲ具ヘ、第五及ビ第六室ニモ同色ノ一紋ヲ裝フ、裏面ハ灰黃、少シク綠色ヲ帶ブ、斑紋ハ表翅ノモノニ酷似スレドモ第二室ノ圓紋ハ一層判然ス、開張(♂)二寸、(♀)二寸—二寸三分、此ハ埔里社地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附 言) 臺灣ニ產スルモノニ五變種アリ、

第四十三圖
(8)(♀)
(9)(♂)

一、くりそろーら形 Var. chrysolora Fruhs. 雄、横脈上ノ黑紋ハ微小、翅端ハ暗色、之レニ柿色ノ圓紋ヲ有ス、(第四十三圖(9))

二、ほるもさーな形 Var. formosana Moltr. 雌、翅ノ中帶ハ白色ナリ、最モ普通ナルモノ、

三、ぷすーどばらす形 Var. pseudopallas Fruhs. 雌、翅ノ中帶ハ黃色ニシテ細シ、(第四十三圖(8))

四、ぷすーどふあしをら形 Var. pseudofasciola Fruhs. 雌、翅ノ中帶ハ鮮黃色ナリ、

五、せちあ形 Var. setia Fruhs. 雌、後翅ニ灰色若クハ綠白ノ縱帶ヲ有セズ、

第四十三圖
(10)
(11)
(♀)

(611) あさくらこむらさき

學名 Apatura plesseni Fruhs.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

雄翅ハ黑褐、前翅ノ中帶ハ白色ニシテ第三脈ヨリ起リ後翅ノ第一脈ニ達ス、尙ホ第五及ビ第六室ニ白紋ヲ裝フ、前後翅ノ外緣ニ沿ヒ灰白ノ紋列アレドモ餘リ判然セズ、裏面ハ青白色、兩翅ヲ通ジ一白帶ヲ具ヘ、其內側ハ黑線、外側ハ黑褐線ニテ緣取ラレ、後者ノ外側ハ黃色ニシテ更ニ之レニ黑紋列アリ、開張一寸八分、埔里社ノ高山ニ產スルモ稀ナリ、

分布—臺灣(埔里社)、

(附 言) ふるふすとーへる氏ノ原記載ニヨレバ裏面白帶ノ外側ハ黃褐ノ紋列ニヨリテ區劃セラルル樣記セリ、仁禮景雄氏ノ動物學雜誌第三百四十三號百四十二頁ニ記スル asakurai ニテハ

白帶ノ外側ハ黑色點ヲ有スル黃色帶ヲ伴フト記セリ、或ハ Var. asakurae Nir. トナスノ價値アルカモ知レズ、

(612) たかさごいちもんじ

學名 Euthalia formosana Fruhs.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗色、少シク綠色ヲ帶ブ、前翅ノ中帶ハ白色、雌ニテハ黃白、後翅ノ第二脈ニ延長ス、中室ニ二個ノ楕圓形ヲナセル暗黑ノ二環紋アリテ內側ノモノハ稍々瓢形ヲナス、第五乃至第八室ニ各一個ノ白紋ヲ具ヘ、其白紋ノ下方ニ暗黑帶アリテ之レハ後緣ニ達ス、第一室ノ基部ニモ暗黑ノ一環狀紋アリ、後翅中室ノ橫脈上ニ暗褐ノ一楕圓環ヲ具ヘ、白帶ハ前緣ニテ廣シ、外緣帶ハ灰白、其內側ハ暗黑、緣毛ノ凹陷部ハ白色、裏面ハ淡色、斑紋ハ稍々表翅ノモノト同樣ナレドモ外緣ニ近キ黑帶ハ後緣ニテ太シ、後翅第六及ビ第七室ノ基部ニアル環紋及ビ中室ノ基部ニアル二環紋ハ何レモ楕圓形ニシテ黑色ナリ、開張(♂)二寸八分、(♀)三寸五分、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣(埔里社)、

第四十四圖
(1)
(♀)

(613) ほりじやいちもんじ

學名 Euthalia shinshin Fruhs.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗褐、少シク綠色ヲ帶ブ、斑紋ハ暗黃、前種ニ似レドモ其異ナル處ハ形小ニシテ、斑紋ハ暗黃色ヲ呈シ、第四、第五、第六室ニアル暗黃紋ハ遙ニ大形ニシテ、第一室ニアル環狀紋ノ下方ニ黑色ノ一弓狀線ヲ裝フ、後翅ノ中帶ハ遙ニ細ク、脈ハ暗色ナルヲ以テ紋列トナリ、外緣ハ暗色ノ波狀線ニテ堺セラル、裏面ハ淡黃褐、斑紋ハ表翅ノ如ク判然セズ、前翅ノ橫脈上ニアル環紋ノ外側ニアル黑波狀帶ハ相近接シ、第三脈以下ノ黑帶ト連續セズ、後翅ノ基部ニアル環狀紋ハ不整ニシテ多ク環ヲナサズ、開張(♀)二寸五分內外、埔里社地方ニ稀ナラザレドモ余ハ未ダ雌ヲ見ズ、

分布—臺灣(埔里社)、

第四十四圖
(2)
(6)
(♀)

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗褐、少シク綠色ヲ帶ブ、斑紋ハ暗黃、前種ニ似レドモ其異ナル處ハ形小ニシテ、斑紋ハ暗黃色ヲ呈シ、第四、第五、第六室ニアル暗黃紋ハ遙ニ大形ニシテ、第一室ニアル環狀紋ノ下方ニ黑色ノ一弓狀線ヲ裝フ、後翅ノ中帶ハ遙ニ細ク、脈ハ暗色ナルヲ以テ紋列トナリ、外緣ハ暗色ノ波狀線ニテ堺セラル、裏面ハ淡黃褐、斑紋ハ表翅ノ如ク判然セズ、前翅ノ橫脈上ニアル環紋ノ外側ニアル黑波狀帶ハ相近接シ、第三脈以下ノ黑帶ト連續セズ、後翅ノ基部ニアル環狀紋ハ不整ニシテ多ク環ヲナサズ、開張(♀)二寸五分內外、埔里社地方ニ稀ナラザレドモ余ハ未ダ雌ヲ見ズ、

分布—臺灣(埔里社)、

第四十四圖
(2)
(6)
(♀)

(614) だいざういちもんじ

學名 Euthalia pyrrha Leech.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗褐、少シク綠色ヲ帶ブ、前翅中室ノ環狀紋ハ前種ニ酷似ス、中帶ハ白色ニシテ第二脈ニ達ス、第五室ニアルモノ最モ長シ、第六及ビ第七室ノ中央ニ一白紋アリテ其以下ノ各室ニハ判然セザル灰色紋ヲ裝フ、外緣ニ淡色帶ノアルコト前種ニ異ナラズ、第一室ノ基部ニアル環狀紋ノ下方ニ暗色ノ一點ヲ裝フ、後翅ノ前緣ハ少シク紺色ヲ帶ビ、第五及ビ第六室ノ中央ニ一白紋ヲ裝ヒ更ニ其外側ニ灰白ノ一紋アリ、外緣ニ淡色帶アリテ其內側ニ暗色ノ一帶アルコト前種ニ異ナラズ、中室ニハ黑色

ノ二短線ヲ裝フ、裏面ハ暗黃、少シク綠色ヲ帶ブ、前翅ノ斑紋ハ表翅ト異ナラズト雖ドモ後翅ニアリテハ第二乃至第六室ノ中央ニ白紋ヲ具ヘ、一直線上ニアリ、翅底ニ近キ楕圓環狀紋ハ前種ニ異ナラズ、開張(♀)三寸內外、此ハ初メ臺東ニテ發見セラレタレドモ其後埔里社地方ニモ產スルヲ知ルニ至レリ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノニ二變種アリテ一ヲこうせんぼな形 Var. kosempona Fruhs. ト云ヒ(ふるふすとーへる氏ハE. sahadeva Moor. ノ變種トナセドモ誤ナリ)、他ヲだいとういえんしす形 Var. daitoensis Mats. ト云フ、其異ナル所ハ前翅第五室紋ハ短カク、之レニ反シテ第二室紋ノ長大ナルコト並ニ第五室ノ白紋ハ三角形ヲナシテ內方ニ向キ、第四室ノ小白紋ヲ有スルニアリ、

Euthalia pyrrha Leech. var. daitoensis n. var. (pl. XLIV, 6 ♀).

Differs from var. *kosempona* Fruhs. as follows.—Primaries—White spot of the 5th interspace much shorter than that of the 4th interspace, while that of the 2nd interspace much longer; secondaries with a triangular, inwardly pointed spot in the 5th interspace, providing a small white spot in the 4th interspace; underside with much larger whitish spots to the secondaries.

Hab.—Formosa (Daito, on the eastern coast of Formosa); one female specimen in my collection, collected by some police-man in August, 1908.

(615) るりつまたては

學名 Euthalia phemius Dbl.

第四十四圖(4)(♀)(5)(♂)

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

雌ハだいとういちもんじニ似レドモ、前翅ノ中帶ハ前緣ノ中央ヨリ起リ外緣角ニ達シ、第六及ビ第七室ニ一白紋アリ、裏面ハ暗黃、中帶ハ表面ノモノニ異ナラズ、中室及ビ後翅底ノ環狀紋ハ前種ニ異ナラズ、後翅ノ外緣ハ少シク紫色ヲ帶ブ、雄ニテハ白帶ヲ缺キ、第三乃至第六室ニ各二個ノ白紋アリテ、第四乃至第六室ノモノハ長ク、(第五室紋最モ長シ)、第五乃至第七室ノ中央ニ近ク各一個ノ白紋ヲ裝フ、中室紋ハ雌ニ異ナラズ、後翅ノ後緣ハ廣ク藍色ヲ帶ビ、外方ハ白帶ニテ緣取ラレ、外緣ハ暗色、裏面ノ斑紋ハ表翅ノモノニ異ナラズ、後翅底ノ環狀紋ハ雌ニ異ナラズ、開張(♂)二寸三分、(♀)二寸六分、此ハ臺灣ニ產スレドモ稀ナリ、對岸ノ香港ニハ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(616) むらさきいちもんじ

學名 Limenitis dudu West.

第四十四圖(6)(♀)

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗褐、前翅ノ中室ニ二赤紋アリテ其兩側ハ黑色、第一室ノ基部ニ黑色ノ環狀紋アリテ其中央ハ

赤褐、中帶ハ白色、少シク紫色ヲ帶ブ、前緣ノ三分ノ二ノ處ヨリ起リ後緣ノ中央ヲ貫キテ後翅內緣ノ中央ニ達ス、外緣ニ近ク二條ノ黑帶アリテ內側ノモノハ紋列ヨリ成リ、第三乃至第六室ニ白紋列アリテ斜置セラル、翅端ノ緣毛ハ白色、後翅ノ外半ニ三黑帶アリテ、內方ノ二帶ハ紋列ヨリ成リ、外方ノモノハ波狀線ヨリ成ル、緣毛ハ白色、凸出部ハ少シク暗色ヲ帶ブ、內緣角ハ赤褐、中央ニ二黑紋アリ、裏面ハ灰白、少シク紫色ヲ帶ブ、前翅前緣(中央ノ一部ヲ除キ)及ビ外緣(後緣角ヲ除キ)ハ紫褐色、中帶ハ白色、紫褐帶ニテ緣取ラル、中室ニ楕圓形ノ二環紋アリテ其周圍ハ黑色、中央ハ赤褐、第一室ニモ環狀紋アリテ其中央ハ赤褐、翅端ハ暗黃、外緣帶ハ濃色、後翅ノ肛角ハ廣ク紫褐色、中帶ハ前翅ノモノニ似ルモ太シ、第七室ニ一個、中室ニ二個ノ黑環紋アリテ其內部ハ白色、第五及ビ第六室ニ紫褐ノ二紋アレドモ其限界ハ餘リ判然セズ、外緣線ハ紫褐色、開張(♂)二寸二分、(♀)二寸五分內外、此ハ臺灣ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. jinamitra Fruhs. ト云フ、

第四十四圖(7)(♀)

(617)

きんみすぢ

學名　Rahinda hordonia Stoll.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

翅ハ暗黑、前後翅ヲ通シ三條ノ金色帶アリテ、前翅ノ中室ニアル棍棒狀ノ一帶ハ前緣ノ中央ニテ二

凹陷ヲ有ス、第二帶ハ後緣ノ中央ヨリ第三脈ニ達シ球桿狀ヲナシテ終ル、翅端ニ近ク更ニ金色ノ一斜紋アリテ其內側ニ一凹陷ヲ有ス、外緣帶ハ細クシテ同ジク金色ナリ、後翅ノ外方ニアルモノハ三分ノ一ニシテ其外側ハ波狀ヲナス、裏面ハ褐色ニシテ帶ハ暗黃、前緣ニハ褐色ノ小點ヲ散在ス、後翅ノ中央ニ褐色ノ波狀帶アリテ其內側ハ灰色、外緣ハ褐色、內側ハ灰色線ニテ緣取ラル、開張(♂)一寸六分、(♀)一寸七分內外、臺灣埔里社地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. maligowa Fruhs. ト云フ、

第四十四圖(8)(♀)

(618)

すゞきみすぢ

學名　Neptis soma Moor, var. lutalia Fruhs

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

こみすぢ(千蟲、四、第六十九圖(1))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

前後翅ヲ通シテノ三帶ハ少シク黃色ヲ帶ビ、前翅ノ外緣ニアル白紋列ハ第六脈ノ處ニテ內方ニ彎曲ス、第六室ノ基部ニアル白紋ハ第五室ニアルモノヨリ常ニ小ナリ、中帶紋ノ內第一室ニアルモノ最モ大、中室ニアル棍棒帶ハ其末端ニ近キ兩側ニテ少シク刳ラル、後翅ノ中帶ハ細ク、內緣ニテ更ニ一層細マル、後帶モ亦細シ、亞外緣線ハ灰白ニシテ判然ス、裏面ノモノト同樣ナレドモ後翅ノ後緣ニハ二條ノ白帶アリテ、外方ニアルモノハ第三室ニテ判然セズ、開張(♂)一寸七分、此

ハ始メ臺灣産トシテ鈴木元治郎氏ヨリ送附セルモノナルガ、稀ナルガ如シ、

分布―臺灣埔里社、支那、印度、

第四十四圖(9)(♀)

(619) ほりしやみすぢ

學名 Neptis ananta Moor.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ暗黑、前後翅ヲ通シテノ三帶ハ灰黃白、但シ中帶ト第六及ビ第七室ニアル斑紋ハ白色、前翅ノ一帶ハ橫脈上ノ前緣ニテ三角形ニ刳ラル、中帶ノ前翅ニアル部分ハ第一及ビ第二室ノ二紋ニヨリテ代表セラル、第五室ニアル紋ハ第一帶ト同色、外緣ニ近ク灰白ノ二帶アリテ其中間ハ黑色、第三帶ハ中帶ヨリモ遙ニ細ク、外緣ニ近ク灰白ノ一帶アリテ其內側ハ黑色、緣毛ノ凹陷部ハ白色、裏面ハ黃褐、斑紋ハ白色、前翅ノ外緣ニ近キ二帶及ビ後翅ノ外半ニアル三帶ハ靑白、其中帶ノ內緣ハ灰白、更ニ其外側ハ暗色線ニテ緣取ラル、開張(♂)一寸九分、(♀)二寸四分內外、臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布―臺灣、支那、印度、

(附言) 爰ニ記載セルモノハ Var. taiwana Fruhs. ニシテ原種ハ橙黃帶ヲ有ス、

第四十四圖(10)(♀)

(620) たいわんみすぢ

學名 Neptis nandina Moor.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

此ハこみすぢ(千蟲、四、第六十九圖(1))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

帶ハ少シク黃色ヲ帶ビ、前翅ノ第一帶ハ遙ニ細ク、第五室ノ中央ニアルモノハ第六室ニアルモノヨリ遙外方ニ位シ、第六、第七及ビ第八室ニアル外緣紋ハ遙內方ニ位ス、中帶ハ內緣ノ終止スル處ニテ太カラズ、第三帶ハ長クシテ前緣ニ達ス、緣毛ノ白色部ハ黑色部ヨリ少ナシ、裏面ハ少シク濃色、前翅ノ外緣ニ四白條アリテ外側ノ二條ハ第四及ビ第七八室ニテ判然セズ、後翅ノ外緣ニ二條ノ白帶アリテ外側ニアルモノハ波狀ヲナス、開張(♂)一寸八分、(♀)二寸內外、臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布―臺灣、支那、比利賓、爪哇、馬來、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Fruhs. ト云フ、此ハ又たいわんこみすぢニ酷似スレドモ第三帶ノ兩側ニアル白帶ハ相近接シ、亞外緣線ノ外緣ヲ遠ザカルニヨリテ容易ニ區別シ得ベシ、

第四十五圖(6)(♂)(6ª)

(621) きみすぢ

學名 Symbrenthia hippoclus Cram.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ黑色、斑紋ハ柿色、前後翅ヲ通シテ柿色ノ三帶ヲ具ヘ、第一帶ハ前翅ノ中室ニ位シ末端ニ近ク遽斷セラル、尙ホ之レニ近接シテ第三及ビ第四室ノ基部ニ各一紋アリテ後者ハ小ナリ、橫脈外ニ一

斜條ヲ具ヘ、之レハ四紋ヨリ成ル、外緣ニ近ク紋列アリテ第三室ニ之レヲ缺キ、第五室ノモノ最小、第二室ノモノハ最大、後翅ニアル二帶ハ何レモ波狀ヲナシ、後緣ニ近ク細キ柿色ノ一波狀線ヲ具ヘ、第四脈ノ處ニハ尾狀突起アリ、緣毛ノ凹陷部ハ白色、裏面ハ淡黃褐、表翅ト全ク斑紋ヲ異ニシ多ク褐色ヲ呈ス、前翅ノ前緣ニ六個ノ黑紋ヲ具ヘ、翅端ヨリ後緣ノ中央ヲ貫キ後翅內緣ノ基部ニ達スル一斜條ヲ具ヘ、前後翅ノ前緣中央ヨリ一帶ヲ橫走スレドモ何レモ後緣ニ達セズ、外緣ニ近ク錢形ノ紋列アリテ後翅ノ後半ニアルモノハ少シク紫色ヲ帶ビ、尾狀突起ノ上方ニアル一紋ハ少シク藍色ヲ帶ブ、開張(♂)一寸五分、(♀)一寸六分內外、此ハ臺灣何レノ地方ニモ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosanus Fruhs. ト云フ、

第四十五圖(4)(5)(♂)

(622) ひめきみすぢ

學名 Symbrenthia brabira Moor.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

前種ニ酷似スレドモ前翅ノ中室帶ハ遮斷セラレズ、其前後緣ニ凹凸多シ、橫脈外ノ斜條ハ細ク、外方ニ屈折シ、中帶ノ前翅ニアル部分ハ接續シテ第三脈ニ達ス、第三帶ハ明瞭ナル帶ヲナシ、紋列トナラズ、外緣ノ細キ波狀線ヲ缺ク、後翅第四脈ノ終點ニアル尾狀突起ハ遙ニ短カシ、裏面ハ橙黃色、黑紋ヲ散在シ、後翅底ニアルモノハ三紋列ヨリ成ル、後緣ニ近ク長楕圓環アリテ其內ニ五個ノ眼狀

紋ヲ具ヘ、其中央ハ青藍色ヲ呈ス、外緣ニ二條ノ波狀線アリテ第一室乃至第三室ノ外緣ニアル紋ハ青藍色ヲ帶ブ、尙ホ內緣及ビ第一室ノ中央部ニモ黑紋多シ、開張(♂)(♀)一寸五分內外、此ハ臺灣北埔地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. scatin a Fruhs. ト云フ、

第四十五圖(1)(♀)

(623) くろたてはもどき

學名 Precis iphita Cram.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

翅ハ暗褐色、斑紋ハ黑褐、前翅ノ中室ニ二個ノ環紋アリテ楕圓形ヲ呈シ、內側紋ハ前後緣ニテ開口シ環ヲナサズ、其兩側ハ何レモ波狀ヲナス、中帶及ビ後帶ハ平行シ、第四脈ノ處ニテ屈折ス、外緣ニ二帶アリテ內側ノモノハ太シ、第六脈ノ處ハ突出ス、後翅ニテハ翅底ノ半部濃色、外緣ニ前翅同樣ノ二帶アリテ其內側ニ判然セザル眼狀紋ヲ列ヌ、緣毛ノ凹陷部ハ白色、裏面ハ暗褐ニシテ少シク紫色ヲ帶ビ、前翅ノ前半ニ黃褐ノ三紋ヲ具ヘ、內方ノ二紋下ニハ灰白帶アリテ其中央ニ更ニ濃色ノ細キ波狀線アリテ、翅端及ビ後緣角ハ青紫色ヲ帶ブ、後翅ノ中央ニ黃帶アリテ其外側ハ黑線ニテ緣取ラレ、內側ハ青藍色ヲ帶ブ、翅端ヨリ黑褐ノ波狀線ヲ肛角ニ迄リ、其終止スル處ノ外側ハ青藍色ヲ帶ブ、眼狀紋列アレドモ餘リ判然セズ、開張(♂)二寸

(♀)二寸二分內外、臺灣何レノ地方ニモ普通ナリ、
分布―臺灣、支那、馬來、印度、

(624) いはさきたてはもどき

學名 Precis hedonia L.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

前種ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、
一、體翅黃褐ニシテ小形ナルコト、
二、前翅第六脈ノ突起部ハ遙ニ短カシ、
三、前後翅ニ鮮黃褐ノ眼狀紋ヲ列ネ、其周圍及ビ眼點ハ黑色、外緣ニ近キ二帶ハ細ク、緣毛ハ白毛ヲ混ゼズ、
四、裏面、前翅ノ前半ニアル三黃褐紋ハ此種ニアリテハ判然セザル青白紋ニヨリテ代表セラレ、後翅ノ中央ヲ橫走スル帶ハ黑褐ニシテ黃帶ヲ有セズ、眼狀紋ハ表翅ノモノト同樣ニ鮮黃褐ナリ、開張(♂)二寸內外、此ハ沖繩石垣島ニテ岩崎卓彌氏ノ採集セルモノナルガ稀ナルガ如シ、
分布―沖繩(八重山)、比利賓、南洋諸島、爪哇、濠洲、
(附言) 尙ホまーしやる群島ばらうニ產スルモノハ變種ニシテ Var. palauensis Mats. ト云フ、此眼狀紋ハ一層黃色ヲ帶ビ、眼點ハ黑色ナレドモ微小、外緣線太シ、裏面ノ眼狀紋ハ橙黃色ニシテ判然ス、理學士藤田輔世氏ノ採集セルモノナリ、

第四十五圖(2)(♂)

第四十五圖(3)(♀)

(625) さいばんたてはもどき

學名 Precis villida F.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ灰褐、前翅中室ノ二紋、外緣ニ近キ大紋(黑色ノ三眼狀紋ヲ具ヘ其中央ハ藍色)、後翅ノ中室ニアル弓狀紋並ニ外緣ノ大紋(黑色ノ二眼狀紋ヲ具ヘ其中央ハ藍色)ハ柿色、前翅ノ橫脈外ニ三個ノ黃白紋アリテ斜置セラル、第七及ビ第八室ニ黃白ノ小紋アレドモ餘リ判然セズ、外緣ニ灰白ノ波狀線アリ、後翅外緣ノ波狀線ハ一双ニシテ內側ニアルモノハ深ク彎曲セル波狀ヲナス、緣毛ノ凹陷部ハ灰黃白、裏面ハ灰黃、前翅ニハ柿色ノ部分多シ、後翅ニ眼狀紋列アリテ、第三及ビ第四室ニアルモノハ小ナリ、外緣ニ前後翅共二双ノ暗褐帶ヲ具ヘ、內方ノモノハ紋列ヨリ成ル、開張(♂)一寸三分、(♀)一寸五分內外、此ハ南洋諸島ニ廣ク分布ス、
分布―南洋諸島(さいばん、ばらう、やっぷ、さもあ、そろもん等)、爪哇、
(附言) ばらう、やっぷ地方ニ產スルモノヲ Var. taitica Seiz. ト云フ、

第四十五圖(7)(♂)

(626) うらべにへうもんもどき

學名 Atella phalantha Drury.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

翅ハ柿色、黒褐紋ヲ散在ス、前翅ノ中室ニ瓢簞形ノ二紋アリテ內側ノモノハ後緣ニテ開口ス、橫脈外ニ弓狀ノ一斜傾紋アリ、各室ニ三紋アリテ、外緣ニ近ク一波狀線ヲ具ヘ、第五室ノ處ニテ最モ深ク屈折ス、其外方ニ細キ外緣線アリテ外緣ニハ七紋ヲ列ス、後翅ノ各室ニハ一乃至三個ノ黒褐紋ヲ具ヘ、外緣ニ近ク二双ノ波狀線アリテ內側ノモノハ太ク且ツ其彎曲ハ深シ、外緣ニハ六紋ヲ列ス、裏面ハ少シク淡色、光線ノ工合ニテ少シク紅紫色ヲ帶ブ、斑紋ハ表翅ノ如ク判然セズ、前翅第一室ノ外緣ニアル黒紋ハ圓ク大ナリ、後翅ノ中央ニ黄褐ノ一帶アリテ第三脈ノ處ニテ屈折ス、開張一寸八分內外、此ハ鹿兒島、沖繩地方ニ產スレドモ稀ナリ、

分布―九州、沖繩、支那、比利賓、馬來、印度、

第四十五圖(14)
(15)
(♀)

(627) てふせんへうもんもどき

學名　Melitaea aurinia Rott.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

翅ハ柿色、脈及ビ斑紋ハ暗褐、前翅ニ四條ノ波狀帶アリテ、第一ハ短カク中脈ヨリ起リ後緣ニ達スルニ過ギズ、中室ニ二環紋アリテ內側ノモノハ三分セラル、後翅ニ三波狀帶アリテ翅底及ビ內緣ハ暗褐、外緣ニ近ク各室ニ黒色ノ一小紋アリテ弓狀ニ排列ス、外緣ニ二條ノ波狀帶アリテ外緣ハ暗褐、緣毛ハ灰白、少シク暗色毛ヲ混ズ、裏面ハ淡色、斑紋ハ表翅ノモノニ酷似スレドモ餘リ判然セズ、

後翅ノ基半部ニ四五個ノ環紋アリテ相連續ス、外緣ニ近キ各室ノ黒紋ハ判然シ、外緣ハ廣ク黄白、其內側ハ黒色ノ波狀線ニテ緣取ラル、開張(♀)一寸五分內外、此ハ朝鮮ニ產スレドモ餘リ多カラザルガ如シ、

分布―朝鮮、滿洲、歐洲、

(附　言)　朝鮮ニ產スルモノハ變種 Var. mandschuria Stgr. ナリ、

第四十五圖(8)
(9)
(♀)

(628) みやけへうもん

學名　Argynnis amathusia Esp.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

翅ハ柿色、黒褐紋ヲ散在ス、前翅ノ中室ニ三紋アリテ、第三紋ハ〈字形ニ屈折ス、橫脈上ニ一橫紋ヲ具ヘ、第一室ノ基部ニく字形ノ一紋アリ、各室ニ三個ノ斑紋ヲ具ヘ、第一乃至第四室ノ基部ニアルモノハ大ナリ、後翅ノ基部ハ暗褐、三條ノ波狀帶アリテ相連續ス、外緣ニ近ク二紋列アリテ、外側ニアルモノハ三角形ヲナス、裏面ハ淡色、斑紋ハ表翅ノモノニ異ナラズ、外緣ニ近ク褐色ノ大紋ヲ具ヘ、翅端ハ黄色、後翅ハ褐色、翅底ニ三白紋ヲ具ヘ、中室ニモ一白紋アレドモ其中央ハ黒色、翅ノ中央ニ黄色ノ紋列アリテ其第七室ニアルモノハ白色ナリ、外緣ニ近ク二紋列アルコト表翅ニ異ナラズ、但シ內側ノモノニハ中央ノ淡色ナルモノアリ、外緣ニ白紋列アリテ少シク紫色ヲ帶ブ、開張(♀)一寸五分內外、此ハ樺太ニテ農學士三宅勉氏ノ初メテ捕獲セルモノナリ、

分布—樺太、滿洲、歐洲、

（附　言）樺太ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. miyakei Mats. ト云フ、

Argynnis amathusia Esp. var. miyakei n. var. (pl. XLV, fig. 8, 9 ♀).

Differs from var. *sibirica* Stgr. as follows:

A spot near the base of the 7th interspace of the hind-wings white, being much smaller than the preceding spot; submarginal spots white, with a light pinkish tinge; a discal and three basal spots white, the latter inclosing a black dot.

Hab.—Saghalien (Korsarcoff); one female specimen collected by Mr. Tsutomu Miyake.

第四十五圖(10)(11)(♀)

(629) からふとしろうもん

學名　Argynnis euphrosyne L.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

形及ビ斑紋ハ一見こへうもんニ酷似ス、翅ハ柿色、斑紋ハ黑色、前翅ノ中室ニ四橫紋ヲ具ヘ、第三紋ハ中央ニテ屈折ス、各室ニ三紋アリテ、第一室ノ基部ニハ更ニ一個L字形ノ斑紋ヲ裝ヒ、其外側ニアル一紋ハ延長シテ後緣ノ黑色部ニ連續ス、外緣ニアル二紋列ハ小、第一及ビ第二室ニアルモノ大ナリ、後翅ノ中室ニ一小紋ヲ具ヘ、其外側ニ稍々網狀ヲナセル斑紋ヲ連ス、外緣ニ近キ二紋列ハ前翅ノモノニ異ナラズ、但シ外緣ハ廣ク暗色、裏面ノ斑紋ハ表翅ノモノニ異ナラズト雖ドモ淡色、後翅ノ翅底及ビ中央ノ列紋ハ淡黃褐、但シ橫脈ノ內外ニアル紋ハ銀色、外緣ニ近ク小形ノ黑紋列ア

リテ其中點ハ銀色、外緣ニ銀色ノ紋列アリテ其內側ハ暗褐ノ波狀線ニテ緣取ラル、開張(♀)一寸九分內外、此ハ北海道及ビ樺太ニ產ス、

分布—樺太、北海道、滿洲、歐洲、北米、

（附　言）樺太及ビ北海道ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. sachalinensis Mats. ト云フ、

第四十五圖(12)(13)(♀)

(630) ひめからふとしろうもん

學名　Argynnis thore Hb.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

前種ニ酷似スレドモ前翅ノ外緣ニ近キ紋列ハ帶狀ヲナシ第六脈ノ處ニテ弓狀ニ彎曲ス、外緣ノ紋列ハ大ニシテ判然ス、裏面ニハ銀色紋ヲ缺キ、中帶ノ外側ニ少シク紫色ヲ帶ビタル灰白帶アリテ第三及ビ第四室ノ處ニテ判然セズ、外緣ニ近ク褐色ノ波狀帶アリテ其外側ハ紫色ヲ帶ビタル灰白ノ紋列ヲ有ス、開張(♂)一寸四分、(♀)一寸六分、此ハ樺太及ビ北海道(北見)、滿洲、歐洲、

分布—樺太ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. karafutonis Mats. ト云フ、原種ト異ナル所ハ前後翅ノ基部ハ地色ト同色、斑紋ハ小形ニシテ判然ス、尙ホ北海道ニ產スルモノモ亦變種ニシテ Var. jezoensis Mats. ト云フ、前變種ニ似レドモ斑紋ハ大ニシテ、後翅裏面ノ黃色帶ノ太キニアリ、

Argynnis thore Hb. var. karafutonis n. var. (pl. XLV, 12, 13 ♀).

Differs from var. *borealis Sgy.* as follows: both wings at the bases not fuscous, fuscous spots smaller and narrower, in the fenale submedial maculate series to the primaries gradually becoming smaller and fainter; pinkish white band to the secondaries beneath much broader and scarcely broken in the middle, submarginal pinkish white land conspicuous, especially in the male being much broader. Exp. ♂♀ 43—50 mm.

Hab.—Saghalien (Korsarkof, Solowiyofka); many specimens collected in the middle part of July, 1910, by the author.

Do. var. jezoensis n. var.

♂ Differs from var. *karafutonis Mats.* in having much larger fuscous spots to both wings, narrower pinkish white discal and submarginal bands and much broader postdiscal maculate luteous band to the secondaries. Exp. 48—52 mm.

Hab.—Hokkaido (Kitami); 2 ♂ specimens presented me by Mr. A. Nohira.

第四十六圖(2)(♀)

(631)

くびわてふ

學名 Callinaga buddha Moor.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ黑褐、少シク綠色ヲ帶ビタル灰白紋ヲ散在ス、前翅ノ中室ニアル棍棒帶ハ末端ニ近ク遮斷セラル、各室ニ二双ノ紋列アリテ、第一室ノ基部ニアルモノハ長ク延長シテ翅底ニ達ス、倘ホ第二及ビ第三室ニモ一紋アリ、後翅底ノ半部ハ灰白、脈ハ黑褐、各室ニ二双ノ紋列アリ、裏面、前翅ハ暗褐、翅端ハ淡黃褐、後翅ハ淡黃褐、斑紋ハ表翅ノモノニ異ナラズ、後翅ノ中室ニアル棍棒帶ハ末端ニ近ク遮斷セラル、倘ホ第二及ビ第三室ニモ一紋アリ、各室ニ二双ノ紋列アリ、脈ハ黑褐、翅底ノ半部及ビ二紋列ハ灰白、頸及ビ胸側ニ金色毛ヲ密生ス、開張(♂)二寸五分、(♀)三寸一分、此ハ臺灣北埔及ビ埔里社ノ蕃界ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Fruhs. ト云フ、

第四十六圖(1)(♀)

(632)

しろすずまだら

學名 Penthema lisarda Dbl.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ黑色、斑紋ハ少シク綠色ヲ帶ビタル白色、前翅ノ中室ニ三紋ヲ具ヘ、各室ニ三紋列アリテ、第一室及ビ第二室ニアル內側紋ハ長ク延長シテ稍々基部ニ達ス、後翅ノ中室ハ大部白色、各室ニ前翅ト同樣ニ三紋列アリテ內側ノ二紋列ハ多ク相連續シ、延長シテ基部ニ達ス、緣毛ノ凹陷部ハ白色、裏面ハ暗褐、翅底半部ノ斑紋ハ少シク黃色ヲ帶ビ、外緣ノ二紋列ハ雪白ナリ、前翅ノ中室ニ四紋ヲ有スル外斑紋ハ表翅ニ異ナラズ、開張(♂)二寸八分、(♀)三寸內外、此ハ臺灣何レノ地方ニモ產スレドモ其數多カラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosanum Rothsch. ト云フ、

(633) をながたては

學名 Issoria sinha Koll.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

翅ハ柿色、斑紋ハ暗褐、前翅ノ中室ニ短カキ四橫線アリテ橫脈上ニアルモノハ稍々く字形ヲ呈シ、橫脈ノ外方ニ一斑紋アリ、各室ニ三紋列アリテ第一室及ビ第二室ノ中央紋ハ判然セズ、亞外緣線ハ第二脈ニ達シ少シク波狀ヲナス、外緣、前緣ノ三分ノ二ノ處ニアル一紋及ビ翅端ハ暗褐、後翅底ノ半部ニ斑紋ヲ缺キ、各室ニ一黑紋列ヲ具ヘ、外緣ニ近ク二條ノ波狀線アリテ、第三脈ノ處ニテ尾狀ニ突出ス、裏面ハ淡色、うらべにへうもんノ裏面ニ酷似シ少シク紅紫色ヲ帶ブ、斑紋ハ表翅ノモノニ稍々等シト雖ドモ中央ニ近ク橫走スル紋列ハ白色ニシテ少シク紫色ヲ帶ビ、後翅ニ於ケル各室ノ基部並ニ中室ノ中央ニ褐色ノ一小紋ヲ裝フ、開張(♂)二寸內外、此ハ南洋あんがーる、ぐわむ等ニ稀ナラズ、

分布—南洋諸島、比利賓、支那(海南)、爪哇、印度、濠洲、

(附 言) ぐわむ地方ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. egistina Quoy. ト云フ、

第四十五圖 (16) (♀) (17) (♂)

第四十六圖 (3) (♀)

(634) ほそてふ

學名 Pareba vesta F.

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科 (細蝶亞科)

翅ハ黃褐、雄前翅ノ前緣、外緣後翅共、橫脈上ノ一紋及ビ外半ノ脈ハ暗色、前後翅ノ外緣ニ黃紋列アリテ初メノ三室ニアルモノハ大ニシテ判然ス、雌、前翅中室ノ一紋、橫脈上ノ一紋、其外側ノ一斜條並ニ第一、第二及ビ第三室ノ一紋ハ暗色、裏面ハ黃白、前翅ノ外半及ビ後翅大部ノ脈ハ暗色、外緣ニ前翅ニテハ一條、後翅ニテハ二條ノ波條線アリテ外方ノモノハ各室ニテく字形ニ屈折ス、二線ノ中間ニ黃紋アレドモ雄ニテハ判然セズ、開張(♂)一寸九分、(♀)二寸四分、臺灣何レノ地方ニモ普通ナリ、黃麻、苧麻、らみ1等ノ害蟲ナリ、

分布—臺灣、支那、比利賓、馬來、印度等、

(635) へうもんてふ

學名 Argynnis daphne Schiff.

第三十一圖 (7) (♀)

昆蟲學上ノ地位 蛺蝶科

此ハこへうもん(千蟲、四、七十一圖(9))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

形大ニシテ前翅ハ延長シ、外緣ハ一層傾斜シ、後緣角ニテ廣キ角ヲナスヲ以テ楕圓形ニ近シ、色ハ稍々淡色ニシテ黑紋ハ一層近接セルノ傾アリ、後翅裏面ノ基部ニ近キ黃色ノ紋列ハ常ニ太クシテ、殊ニ第一室ニアルモノハ長大、其兩側ノ褐緣ハ濃色ニシテ一層判然ス、兎ニ角酷似セル爲メ一見區別スルコト困難ナル種類ナリ、唯ダ其發生ノ時期ノ異ナルニヨリ容易ニ兩種ヲ區別スルコトヲ得、

此ハ本邦何レノ地ニモ普通ナリ、

分布―樺太、北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲、

（附　言）本邦ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. rabdia Butl. ト云フ原種ヨリハ大ナリ、

第四十六圖（4）（5）（♂）

(636) しゞみたては(つはめたては)

學名　Dodona eugenes Bates.

昆蟲學上ノ地位　小蛺蝶科 (Nemobiidae)

翅ハ暗褐、斑紋ハ橙黃色、前翅ノ中室ヲ貫キ一斜帶アリテ之レハ第一脈ニ達ス、各室ニ一紋アリテ第一、第二、第四及ビ第五室ニアルモノハ一直線上ニアリ、第三室ニアルモノハ離レテ外方ニ位ス、尙ホ第四、第五及ビ第六室ノ外方ニ一白紋アリ、第三室以下ノモノハ黃色ニシテ一帶トナリ、第一脈ノ處ニテ彎曲ス、後翅ニ五帶アリテ外緣ニ近キ二帶ハ波狀ヲナシテ相平行ス、凹陷部ノ緣毛ハ白色、尾狀突起ハ外方ニ曲リ、其下方ニ暗色ノ一圓紋ヲ裝フ、裏面ハ表翅ヨリモ少シク淡色、表面ト異ナル處ハ翅底ノ前緣ニ弓狀ノ一縱線ヲ具ヘ、基部ニ近ク一白帶ヲ裝フ、橫脈ハ黃色、前緣及ビ翅端ノ斑紋ハ白色、後翅ニ九條ノ白帶アリテ銀色ヲ帶ビ、橫脈上ノ帶ハ黃色ヲ帶ブ、外緣ニ近ク細キ二帶アリテ其內側ノ二帶ハ短カク、前緣ヨリ起リ第三若クハ第四脈ニ達スルニ過ギズ、外帶ノ內側ニ太キ一黑帶アリテ第一乃至第四脈間ニ位シ、尙第四及ビ第五室ニモ二三ノ黑紋ヲ裝フ、尾狀突起ハ黑色、其基部ニ灰白ノ大紋アリテ其外側ハ黑線ニテ堺セラル、開張（♂）（♀）一寸三分―一寸五分內外、

此ハ臺灣四堵、倒吊子地方ニ產スレドモ稀ナリ、

分布―臺灣、支那、印度、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Mats. ト云フ、Var. maculosa Leech. ニ酷似スレドモ後翅裏面ノ斜帶ハ橫脈上ヲ除キ全部白色ナルニアリ、尙ホ前翅ノ亞外緣線及ビ第三室ノ外側ニアル斑紋モ亦白色ナリ、

Dodona eugenes Bates var. formosana n. var. (pl XLVI, fig. 4, 5 ♂).

Differs from var. *maculosa* Leech in having entirely silvery white bands on the underside of the secondaries (on the transverse vein yellow), and whitish subnarginal band to the primaries beneath.

Hab.—Formosa (Shito, Tōchoshi), 2 specimens (♂♀) collected in July, 1901, by Mr. Teiichi Nagasawa.

第五十二圖（6）（♀）

(637) くもがたへうもん

學名　Argynnis anadyomene Feld.

昆蟲學上ノ地位　蛺蝶科

雄翅ハ淡キ橙黃色、斑紋ハ黑色ニシテ他ノヘうもんてふニ似タリ、前翅ノ中室ニ三紋アリテ最モ內方ニアルモノハ楕圓ノ環紋トナリ、最モ外方ニアルモノハ前半甚ダ細ク、前角ニテく字形ニ屈折ス、其外方ニ四紋列アリテ第一列ハく字形ニ排列シ、第四室ニアルモノハ甚ダシク離レテ外方ニ位ス、他ノ三列ハ斜線上ニ位シ、何レモ外緣ニ平行ス、第二脈上ノ長キ發香腺ハ褐色ニシテ判然ス、後翅

ニハ同ジク四紋列アリテ、更ニ中室ニ一紋ヲ裝フ、第一紋列ハ前翅ノ如クく字形ニ排列シ、第四室ニアルモノハ離レテ外方ニアリ、他ノ三紋列ハ弓狀ニ排列セラレ外緣ニ平行シ、其最モ外側ニアル紋列ハ大ナリ、緣毛ハ淡色、裏面ハ淡色、前翅ニハ十二個ノ黑紋アリテ中室ニ二紋ヲ具ヘ、內側ノモノハ楕圓環トナレドモ其外側ハ波狀ヲナス、第一室並ニ第五乃至第七室ニハ一紋ヲ裝フ、後翅ハ少シク綠色ヲ帶ビ、前緣及ビ內緣ハ少シク白色ヲ帶ビ、中帶及ビ外緣線ハ白色ニシテ波狀ヲ呈ス、殊ニ外緣帶ハ其限界判然セズシテ雲形ヲナスヲ以テ此名アリ、第二、第五及ビ第六室ニ白點ヲ有ス、雌ニテハ少シク綠色ヲ帶ビ、黑紋大ニシテ前翅ノ第七室ニ白紋ヲ具ヘ、其周圍ノ一圓ハ暗色、裏面ニモ前翅同樣ノ白紋ヲ裝ヒ、其周圍ノ一圓ハ白色ナリ、開張(♂)(♀)二寸四分—二寸五分內外、此ハ何レノ地方ニモ稀ナラズ、但シ北海道ニハ少ナシ、分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、滿洲、

第四十六圖
(6)
(7)
(♂)

(638) ありさんしゞみたては

學名 Abisara burni Nic.

昆蟲學上ノ地位 小蛺蝶科

翅ハ暗黃褐、翅底ノ半部ハ少シク濃色、前翅前緣ノ中央ニアル一紋及ビ外緣ニ近キ一紋列ハ灰白、後翅ノ翅端ニ近ク二黑紋アリテ內側ハ黃色ニテ緣取ラレ、其外側ニ一銀色紋ヲ具ヘ、尙ホ第一乃至第三室ノ外緣ニ近ク細キ銀色ノ一短線ヲ裝フ、其內側ニ暗灰色ノ一紋列アリテ紋ハへ字形ヲナス、

裏面ハ美麗ノ黃褐、二條ノ白紋列アリテ少シク紫色ヲ帶ビ、前翅中室ノ末端ニ近ク弦月形ノ一褐色紋ヲ具ヘ、其外側ニ白色ノ一短線ヲ橫走ス、內方ノ紋列ノ內第三室ニアルモノハ前後翅共遙外方ニ分離ス、後翅ノ外列ニアルへ字形紋ハ白色ノ亞外緣線ト連續シテ各室ニ大形ノ三角紋ヲ現ハス、其內第四及ビ第五室ニアルモノハ中央ニ黑藍紋ヲ有ス、前緣ノ亞外緣線ハ細クシテ少シク鉛色ヲ帶ブ、觸角ハ小灰蝶ノ如ク白輪ヲ有ス、開張(♂)(♀)一寸四分—一寸六分、此ハ臺灣阿里山ニ稀ナラズ、

(附 言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. etymander Fruhs, (=*formosana* Stich.) ト云フ、

第四十八圖
(8)
(♂)

(639) たいわんうらぎんしゞみ

學名 Curetis brunnea Wilem. (=*lucifuga* Fruhs).

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科 (Lycaenidae).

うらぎんしゞみ(千蟲、四、七十五圖(1))ニ似レドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、前翅ノ前緣角ハ明ニ廣ク、外緣ハ端直ニシテ第一室ノ部分ニテハ突出セズ、緣毛ハ地色ニシテ第三脈ヨリ以下ハ白色ナリ、翅底ニ近ク黃褐ヲ帶ビ紅色紋ヲ缺ク、後翅ニ判然セザル黃褐紋アレドモ時ニ之レヲ缺クモノアリ、緣毛ハ前緣ヨリ第三脈迄白色、基部及ビ前翅ノ後緣角ハ白色、前翅ノ前緣ハ狹ク鋭角ヲナサズ、裏面、前後翅ノ緣毛ハ暗灰色、暗色ナリ、開張一寸二分—一寸六分、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、然レド雌ハ稀ナルモノト見

ヘ未ダ捕獲セシコトナシ、

分布—臺灣、

(640) ほりしやむらさきしゞみ

學名 Arhopala horishana Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

むらさきしゞみ(千蟲、四、七十四圖(7))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、翅ノ基部ハ黑藍色ニシテ光線ノ工合ニテ暗色ナルガ如シ、前翅ニ於ケル藍色部ノ外側ハ圓ク從テ後緣角ノ黑色部ハ遙ニ小ニシテ翅ノ半程ニ達スルニ過ギズ、裏面ハ一層暗色ヲ帶ビ、濃色帶ハ一層細シ、然ルニ後翅ノ基部ニアル紋ハ大ナリ、第二及ビ第三脈ノ末端ハ少シク延長シテ短カキ尾狀ヲナス、開張(♀)一寸二分、此ハ臺灣埔里社ニ捕獲セルモノナルガ稀ナルガ如シ、

第四十七圖(13)(♀)

分布—臺灣、

(附言) 著者ハ初メ此種ヲむらさきしゞみノ變種トシテ Entomologische Zeitschrift, Stuttg. XXIII, p. 221, 1910. ニ記セドモ全ク別種ナリ、

(641) むらさきつばめ

學名 Arhopala turbata Butl.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雌、翅ハ青藍色、周圍ハ廣ク黑色、前翅中室ノ外方ニ當リ青藍色ノ部分ニ一凹陷部アリ、後翅ニテハ青藍色ノ部分少ナク、翅底ニ一大紋アルノ觀アリ、尾狀突起ノ末端ハ白色、內緣角ハ圓ク突出ス、雄ニテハ翅全部黑藍色、外緣ハ狹ク黑色、裏面ハ褐色、前翅ニ暗色紋アリテ何レモ灰白環ヲ有ス、二紋ハ中室ニ位シ、橫脈外ニ三紋ヲ列ヌ、更ニ其外側ニ二長紋アリテ稍々一直線上ニ位ス、上方ニアル長紋ノ外側ハ廣ク灰白、外緣ハ廣ク暗色、其中ニ淡色ノ一波狀帶アレドモ判然セズ、後翅ニ四紋列アリテ初メノ二紋列ハ四紋ヨリ、第三紋列ハ三紋ヨリ、第四紋列ハ五紋ヨリ成ル、何レモ灰白環ハ判然ス、第一及ビ第二室ノ一圓ハ少シク黑藍色ヲ帶ビ、之レニ青白鱗ヲ散在ス、開張(♂)(♀)一寸二分—一寸五分內外、此ハ本州及ビ九州ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

第四十七圖(15)(♀) (16)(♂)

分布—本州、九州、朝鮮、

(642) たいわんむらさきつばめ

學名 Arhopala bazalus Hew.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

第四十七圖(17)(♀)

前種ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、
雌、前翅ニアル青藍色ノ部分ハ狹ク、稍々太キ紡錘狀ヲ呈シ、後翅底ニ青藍色ノ部分ヲ缺ク、時ニ少シク同色ノ鱗毛ヲ有スルモノアリ、後翅裏面ノ斑紋ハ判然シ、第一及ビ第二室ノ外方ニノミ青色鱗ヲ散在シ、內緣角ニ天鵞絨樣ノ黑紋ヲ具ヘ、其內側ニ金綠ノ一紋ヲ裝フ、開張(♂)(♀)一寸—一寸六分、此ハ臺灣埔里社、函子嶺地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、
分布—臺灣、印度、

(643) るーみすしゞみ

學名 Arhopala ganesa Moor.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ黑色、翅底ヨリ中央ニ擴ガル大紋ハ青藍色、後翅ノモノハ前翅ノモノヨリ小ナリ、前翅ノ翅端ハ銳角ヲナシテ尖リ、外緣ハ弓狀ヲナシテ脹出ス、後翅ニ尾狀突起ヲ缺ク、緣毛ハ灰白、裏面ハ灰色、暗色ノ四紋列アリテ、第一列ハ一個、第二列ハ三個、第三列ハ五個、第四列ハ七個ヨリ成リ、何レモ兩側ハ灰白、但シ前緣ニアル紋ハ灰色ニシテ兩側ノ灰白線ニヨリテ代表セラル、尤モ第四帶ニテハ稍々判然セリ、後翅ニ判然セザル濃色ノ約五紋列アリ、紋ハ何レモ圓形ニ近ク、其周圍ハ灰白ナルニヨリテ識別シ得ベシ、外緣ニ近ク黑色ノ小點紋列ヲ具ヘ、其內側ニ濃色ノ一波狀帶アレドモ判然セズ、開張(♂)(♀)九分內外、此ハ本州大和ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

第四十七圖
(14)
(♀)

分布—本州(大和、大山)、
(附言) 本州ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. loomisi Pryer ト云フ、

第四十七圖
(11)
(♂)

(644) あさくらしゞみ

學名 Acesina asakurae Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ暗綠色、少シク紫色ヲ帶ブ、前緣及ビ外緣ハ黑色、緣毛ハ白色、但シ前翅ノ三分ノ一以上ハ暗色、後翅ノ內緣角ヨリ第三脈ノ處迄外緣ニ沿ヒ細キ一青白線アリ、尾狀突起ハ暗色ニシテ細ク、末端ハ白色、內緣ハ廣ク暗色、裏面、前翅ハ暗灰色、一双ヲナセル四白帶アリテ、初メノ三帶ハ中脈ニ達スルニ過ギザレドモ第四帶ハ第二脈ニ達ス、外側ノ二帶ハ兩側波狀ヲナス、第三帶ト第四帶ノ中間ハ灰白、但シ其上部ハ濃色ニシテ白點ヲ散在ス、外緣ハ灰白、暗色ノ綾樣紋アリ、後翅ノ基部ハ暗色、殘部ハ灰白、暗色ノ三紋列アリテ、紋ノ兩側ハ白色、尤モ紋ノ中央灰白ナルモノアリテ一定セズ、此他暗色ノ小點ヲ散在シ、外緣ニ沿ヒ暗色紋ヲ連ヌ、開張(♀)一寸一分、此ハ臺灣埔里社ニテ唯ダ一頭ヲ捕獲セルガ甚ダ稀ナルガ如シ、
分布—臺灣(埔里社)、

(645) えぐりしゞみ

學名 Mahathala hainani Baker.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

一見むらさきつばめノ雌ニ酷似ス、翅ハ青藍色、周圍ハ廣ク黑色、前翅中室ノ外方ハ稍々四角形ヲナシ、青藍色ノ部分ヲ缺ク、後翅ニ於ケル青藍色ノ部分ハ少ナシ、內緣及ビ內緣角ハ灰色、後者ハ卵形ヲナシテ甚ダシク突出ス、尾狀突起ハ太ク末端ハ棍棒狀ヲナス、前緣ハ稍々弓狀ニ淺ク刳ラルヲ以テ此ノ名アリ、裏面ハ暗褐、前翅ノ中室ニ四個ノ白紋ヲ縱列シ、橫脈上及ビ其外側ニアル一短線ハ灰白、各室ノ中央ニ近ク判然セザル暗色ノ太キ一帶アリテ其兩側ハ灰白線ニテ緣取ラル、外緣ニ沿ヒ七個ノ暗色點アリテ其周圍ハ多少灰色ヲ帶ブ、後翅ハ翅底ニ判然セザル灰褐ノ環紋ヲ具ヘ、中央ニハ灰褐ノ太キ一帶狀アリテ中央ニテ屈折ス、其外側ニ接シテ暗色ノ太キ紋列ヲ具ヘ、其兩側ハ波狀ヲナシ灰色ニテ緣取ラル、外緣ハ濃色、開張(♂)(♀)一寸二分—一寸四分內外、臺灣ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言) ふるふすとへる氏ノ Mahathalaa meria Hew. var. formosana Fruhs. ト稱スルモノハ此種ナリ、

第四十七圖(12)(♀)

(646) まへるりしゞみ

學名 Orthomiella rantaizana Wilem.

第五十圖(14)(♂)

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

翅ハ紫黑色、後翅ノ前緣ハ廣ク紫藍色、後部ニテハ外緣ニ達セズ、脈ハ黑色、緣毛ハ前翅ニテ黑色ト白色ノ斑ヲナセドモ、後翅ニテハ大部黑色、外緣ニ少シク白毛ヲ混ズ、裏面ハ暗黃、中室ノ外側ニ濃色ノ一紋列アリ、尙ホ外緣ニ同色ノ一帶ト各室ニ弦月形ノ紋列アレドモ判然セズ、後翅ニ暗色ノ二紋列アリテ內側ニアルモノハ兩側灰白、第七室ノ基部ニ暗色ノ一紋アリテ、外側ハ灰白線ニテ緣取ラル、翅底ハ暗色、小白鱗ヲ散布ス、尙ホ橫脈上ニモ暗色紋アリテ其中ニ灰白ノ一細線アリ、外緣ニハ七個ノ黑紋列アリテ何レモ弦月形ヲ呈シ、內側ハ青白線ニテ緣取ラル、其內側ニ之レト平行シテ青白ノ一波狀線アリ、雄ハ赤褐ノ抱握品ヲ有スル外雌ト異ナルナシ、開張八分內外、此ハ臺灣埔里社及ビ阿里山地方ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣、

第四十七圖(1)(♀)(2)(♂)

(647) わたなべしゞみ

學名 Rapala nissa Moor.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ靑藍色、前翅端ノ三分ノ一ハ暗色ヲ帶ビ、橫脈ノ外側ニ當リ柿色ノ一楕圓紋アリ、後翅ノ尾狀突起ハ頗ル長ク、黑色ニシテ末端ハ白色、內緣角ニ紅色ノ一紋ヲ具ヘ、第一及ビ第二室ニアル亞外緣線ハ白色、裏面ハ黃褐、橫脈上ニ平行セル細キ二濃色線ヲ具ヘ、三分ノ二ノ處ニ一白帶アリ

テ其內側ハ暗褐、其外側ニ濃色ノ一帶アレドモ前翅ニテハ餘リ判然セズ、第二室ノ末端ニ紅色紋アリテ其中ニ黑紋ヲ具ヘ、第一室ノ末端ニハ灰白ノ大紋アリ、內緣角ニ楕圓形ノ黑大紋ヲ具ヘ、其內方ニ白色ノ線ヲ斜走シ、第一乃至第四室ノ外緣ニ沿ヒ白色ノ亞外緣線アリ、雌ハ形一層大ニシテ濃色、中室ノ外側ニ柿色紋ヲ缺ク、開張(♂)(♀)一寸三分—一寸四分、此ハ臺灣北埔及ビ埔里社ニ捕獲シタルモノナルガ甚ダ稀ナルガ如シ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Mats. ト云フ、變種 Var. maculata Seitz ニ酷似スレドモ前翅中室外ノ柿色紋ハ細クシテ楕圓形ヲ呈シ、第三及ビ第四室ニ限ラレ第五室ニ擴カラズ、然ルニ後者ニアリテハ此紋ハ圓形ニシテ大キク、第三、第四及ビ第五室ニ跨ガル、

Rapala nissa Moor. var. formosana n. var. (pl. XLVII fig. 1, ♀ 2♂).

Differs from Var. *maculata* Seitz in having much narrower reddish oblong patch to the primaries in the male, which extending only in the interspaces III and IV, while in *maculata* being much larger and rounder and extending in the interspaces III, IV and V.

Hab.—Formosa; one ♂ specimen collected by the latter K. Watanabe in Hoppo (Gakoki) and one ♀ specimen collected by the author in Horisha; it seems to be very rare.

(648) ほりしやしゞみ

學名　Rapala horishana Mats.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、次ギノくらるしゞみニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

一、前翅ノ外緣ハ端直ニシテくらるしゞみノ如ク弓狀ニ脹ラズ、後翅ノ外緣ハ一層端直ナリ、

二、前翅ノ大部ハ黑褐ニシテ少シク藍色ヲ帶ビ、中央ニ判然セザル赤褐ノ斑紋アレドモ光線ノ工合ニテ判然セズ、翅底及ビ後緣ハ後翅ト同色ニシテ靑藍色、後翅肛角ノ黃紋ハ小ナリ、

三、裏面ハ赤褐、前翅橫脈ノ外側ニアル橫帶ハ端直ニシテ、くらるしゞみノ如ク弓狀ヲ呈セズ、兩側ハ淡色ナレドモ前種ノ如ク判然セズ、後翅ノ亞外緣線モ亦端直ニシテ第三室ノ黑紋上ニハ一白點ヲ有ス、中央帶ノ第三及ビ第四室ノ外側ニアル白帶ハ端直ナラズ、

四、雄ノ生殖器ノ抱握鉤ハ赤褐ナリ、

此ハ臺灣埔里社ニ捕獲セルモノナルガ稀ナルガ如シ、注意セザレバくらるしゞみト混同スベシ、

第四十七圖(4)(♂)

Rapala horishana n. sp. (pl. XLVII, 4, ♂).

Much resembles R. *varuna* Horsf., but differs from the latter as follows:

♂ 1. Primaries on the outer margin below the 4th vein straight, scarcely inflated at the 4th interspace; broadly fuscous brown on the costal and outer margin, in the middle often with an indistinct large reddish brown patch,

only bluish at the base and hind margin.

2. Secondaries on the outer margin much broadly fuscous.

3. Underside. Both wings reddish brown; primaries with a straight submedial band, on the outer side only lined with a grayish line, rather broader towards the tornus; secondaries with much broader submedial band, white outer lining at the 3rd and 4th interspaces being not straight and at the 2nd interspace much less incurved, above the black spot with a small white speck.

4. Clasping organ of the male genitalia reddish yellow, while in R. varuna being shining black, being reddish yellow only at the inerside.

Hab.—Formosa (Horisha); 3 male specimens collected by the author.

This species resembles also *R. oreis* Hew., but it may be distinguished by from the latter the acuter apex and straighter tornus.

(649) くらるしゞみ

學名 Rapala varuna Horsf.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ黑藍色、前翅ノ翅端及ビ外緣ハ暗色、後翅ノ尾狀突起ハ黑色ニシテ甚ダ長ク、末端ハ白色、第一室ノ外緣ニ細キ白線アリ、內緣角ニ黑色ノ楕圓紋アリテ眉狀ノ黑鱗ヲ具ヘ、其基部ハ白色、內側ニ一黃紋ヲ裝フ、裏面ハ灰褐、橫脈上ノ一短帶及ビ其外側ニアル一弓狀帶ハ濃色ニシテ、兩側ハ細ク灰白、外緣ニ近ク二條ノ暗色帶ヲ裝フ、第二室ノ末端ニ黑紋ヲ具ヘ、其內側ハ黃色ニテ緣取ラル、第一室ニ少シク藍色ヲ帶ビタル灰白紋アリ、亞外緣線ハ白色ニシテ細ク第五脈ニ達ス、雌ニテ

第四十七圖
(3) (♀)

ハ淡キ紫藍色、前翅端及ビ外緣ハ濃色、裏面ハ暗色、斑紋ハ雄ニ異ナラズ、開張(♂)(♀)一寸—一寸一分、此ハ臺灣恒春くらる地方ニ稀ナラズ、余ハ初メテ同地ニ捕獲セルヲ以テくらるしゞみト命名セリ、

分布—臺灣埔里社、達邦社、函子嶺、恒春、支那、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Fruhs. トス、

第四十七圖
(5) (♂)
(6) (♀)

(650) ひいろしゞみ

學名 Deudorix epijarbas Moor.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、前翅ハ暗褐、中室下方ノ一圓ハ柿色、後翅ハ柿色、脈、緣毛及ビ前緣ノ基半部ハ暗褐、內緣ハ暗灰色、內緣角ハ圓形ヲナシテ突出シ、其中ニ黑紋アリテ其內側ニ柿色ノ弦月紋ヲ具ヘ、外側ニ藍色ノ同樣紋アリ、尾狀突起ハ頗ル長ク、末端ハ白色、裏面ハ暗灰色、橫脈上ノ二短線及ビ其外側ニアル細キ二帶ハ灰白、外緣ニ近ク判然セザル灰白ノ一帶アリ、兩翅ノ各室ニ灰白ノ二短線アリテ稍紋列ヲナシ、橫脈上ニモ同樣ノ二線アリ、第一室ニアルモノハく字形ニ屈折ス、第二室ニ黑紋アリテ其周圍ハ黃色、內緣角ノ突出部ハ黑色、其內側ニ黃色ト金靑色ノ短線ヲ裝フ、亞外緣線ハ白色ニシテ第五脈迄判然ス、雌ニテハ全部暗褐、前翅ノ中央部少シク淡色ナリ、裏面ハ灰黃、白帶ハ雄ノモノヨリモ廣ク且ツ相分離ス、開張(♂)(♀)一寸三分—一寸五分、此ハ臺灣阿里山、達邦社ニ稀ナラ

ラズ、

分布―臺灣、支那、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. meniscelis Fruhs. ト云フ、

(651) みつをしゞみ

學名　Horaga onyx Moor.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

翅ハ暗褐、前翅ノ中室、外緣ヲ除ケル第一室ノ全部及ビ後翅(前緣及ビ外緣ヲ除キ)ハ青藍色、前翅中室ノ外側ニ三角形ノ大白紋アリテ、第二脈ノ末端ニアルモノ最モ長ク、第三脈ニアルモノ最モ短カシ、末端ハ白色、裏面ハ暗灰色、前翅白紋ノ兩側ハ暗褐線ニテ緣取ラル、後翅ノ中央ニ暗色ノ細キ一帶アリテ第一脈ノ中央ニ近ク屈折シテ內緣ノ中央ニ達ス、其外側ニ青白鱗ヲ散在ス、第一及ビ第二室ノ末端ニ黑色ノ一紋アリ、開張(♂)(♀)九分―一寸內外、余ハ臺灣函子嶺地方ニ捕獲セルガ稀ナルガ如シ、

分布―臺灣、支那、印度、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. moltrechti Oberth. ト云フ、

第四十七圖(9)(♂)

(652) ふたをるりしゞみ

學名　Chliaria kina Hew. (= *Tajuria inari* Wilem.)

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

翅ハ黑藍色、前翅中室下方ノ大紋及ビ後翅後緣ノ大紋ハ青白色、後翅第一及ビ第二室ノ末端ニ黑色ノ一紋アリ、亞外緣線ハ黑色、其內側ハ白線ニテ緣取ラル、第一及ビ第二脈ノ末端ニ長キ黑色ノ尾狀突起アリテ其末端ハ白色、裏面ハ白色、橫脈上ノ二短線、其外側ニアル紋列並ニ外緣ニ近キ二波狀帶ハ暗色、前翅ノ初メノ三室ニアルモノハ一直線上ニ排列シ、第一脈ノ處ニテ〈字形ニ屈折ス、第四室ヨリ前緣ニ至ル紋列ハ同ジク一直線上ニアリテ二重線ヨリ成リ、其中部ハ白色、後翅前緣ニ二黑紋アリテ一ハ基部、他ハ末端ニ近ク位ス、中室外ニアル紋列ノ內第二、第三及ビ第六室ニアルモノハ一直線上ニ位シ、第四及ビ第五室ニアルモノハ外側ニ離レテ一直線上ニアリ、第一室ニアルモノハW字形ヲナス、第二室ノ末端ニ黑紋アリテ其內側ハ柿色、外緣ニ近キ內側ノ波狀線ハ甚ダシク波狀ヲナス、雄ハ形小ニシテ後翅ノ青白紋ハ小ナリ、開張(♂)(♀)九分―一寸內外、

分布―臺灣埔里社及ビ北埔地方ニ稀ナラズ、此ハ臺灣、印度、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. inari Wilem. = vanavasa Fruhs. ト云フ、

第四十七圖(7)(♀)

(653) ぎんすぢみつをしゞみ

學名 Catapoecilma elegans Den.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

翅ハ淡キ紫藍色、前緣及ビ外緣ハ暗色、裏面ノ斑紋ヲ透視シ得ベシ、凹陷部ノ緣毛ハ灰白、後翅ニ三個ノ尾狀突起アリテ第二ノモノ最モ長シ、末端ハ白色、第一乃至第三室ニ銀白ノ細キ亞外緣線ヲ具ヘ、第一及ビ第二室ノ末端ニ青白ノ一小紋ヲ裝フ、裏面ハ灰黃、褐紋ト銀色紋ヲ散在シ、少シク金色ヲ帶ブルモノアリ、前翅前緣ノ基部ハ全部金色、前緣ニ短線ノ集合ヨリ成ル五個ノ黑紋アリ、第二脈基部ノ下方ニ稍々四角形ノ黑紋ヲ具ヘ、其外側ニモ一黑紋アリテ其前方ニ黃紋ヲ有ス、第二及ビ第三室ノ基部ニ各二黑紋アリテ、第三室ニアルモノハ小ナリ、中室ノ外方ニ銀色紋ヲ散在ス、中室ノ基部、橫脈上ノ一短線及ビ其外側ニアル一紋ハ黃色、何レモ銀線若クハ黑線ニテ緣取ラル、外緣ニ四條ノ黑紋列アリテ最モ內方ニアルモノハ銀色紋ヲ列ヌ、後翅ノ基部ニ及ビ外方ニアルモノハ銀色紋ヲ列ヌ、後翅ノ基部ニ二黃紋ヲ散在シ、橫脈上ニ黃線アリテ其內側ハ銀線、外側ハ黑線ニテ緣取ラル、其外側ニ四帶アリテ第一及ビ第二帶ハ銀色、第二及ビ第四帶ハ黑色ニシテ短カシ、第一ト第二帶及ビ第三ト第四帶ノ中間室ハ黃色、外緣ハ銀色、內緣ニ銀色ノ五斜線ヲ列ネ、第二室ノ外側ニ一黑紋アリ、開張(♂)(♀)九分—一寸一分內外、此ハ臺灣恒春地方ニ稀ナラザルガ如シ、余ハ名和昆蟲研究所ヨリ送附セラレタル一頭ノ雄ヲ有スルニ過ギズ、

第四十七圖(10)
(♂)

分布—臺灣、印度、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. moltrechti Wilem. ト云フ、此ハ動物學彙報ニテわいるまん氏ノ(P) Tajuria moltrechti Wilem. トシテ記載セルモノナリ、

第四十七圖(8)
(♂)

(654) くろぼしるりしゞみ

學名 Camena ctesia Hew.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

翅ハ靑藍色、前緣及ビ外緣ハ黑色、前翅ノ中央及ビ後緣ノ中央ニ各一紋アリ、後翅外緣ノ黑色部ハ殊ニ初メノ三室ニテ狹シ、雄ハ後翅前緣ノ中央ニ發香腺ヲ具ヘ、之レニ相對スル前翅ノ後緣ニハ長毛ヲ簇生ス、二本ノ長キ尾狀突起アリテ其末端ハ白色、內緣ニ靑白紋アリテ其中ニ黑點ヲ有ス、裏面ハ灰白、橫脈上ノ一紋及ビ各室ノ中央ニ近キ一紋列ハ暗色、各紋ノ周圍ハ地色ヨリ淡色、橫脈上ニアル斑紋ノ中央ニ白色ノ一短線ヲ裝フ、後翅ニテハ第七室ノ基部ニ黑紋アリテ其周圍白色、外緣ニ暗色ノ二帶ヲ具ヘ、第一及ビ第二室ノ末端ニ各一黑紋アリテ其內側ニ一黃紋ヲ裝ヒ、第一室ノモノハ內側ニ更ニ一靑白紋ヲ具ヘ、雌ニテハ後翅ノ內緣ニ沿ヒ軟毛ヲ密生ス、開張(♂)(♀)一寸二分—一寸三分內外、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言)　臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. cakravati Fruhs. ト云フ、

(655) うらふちぐにしゞみ(ぐにもんしゞみ)

第四十七圖(2♀)(3♂)

學名 Heliophorus (Herda) epicles Tod

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄翅ハ黑藍色、前緣、翅端及ビ外緣ハ廣ク紫黑色、後翅ノ後緣ニ紅色ヲ呈セルW字形ノ波狀帶ヲ具ヘ、其外側ニアル亞外緣線ハ靑白、尾狀突起ハ暗褐、末端ハ白色、緣毛ハ白色ト暗色ノ斑ヲナス、裏面ハ金色、外緣ハ紅色、後翅ニテハ少シク白色ヲ混ズ、前翅ニテハ其內側ニ白紋列ヲ具ヘ、第一室ニ黑紋アリテ其兩側白色ナリ、後翅ニテハ紅色部ハ廣ク、內側ニ弦月形ノ白紋列ヲ具ヘ、各紋ノ周圍ハ黑色、外緣ニ近ク黑紋ヲ列ネ、其外側ニ白色ノ亞外緣線アリ、緣毛ハ前翅ニテハ白色ト暗紅色ノ斑ヲナシ、後翅ニテハ白色、脈ノ終點及ビ尾狀突起ハ暗紅色、後者ノ末端ハ白色、尙後翅ノ第二、第四及ビ第五室ニ白紋ヲ具ヘ、第一室ニハ二個、中室及ビ第七室ニハ各一個ノ黑點アリテ、第一室ノ外方ニアルモノハ周圍白色ナリ、前翅ノ第二乃至第六室ニ黑點ヲ列ヌレドモ餘リ判然セズ、雌ニテハ翅ハ暗褐色、中室ノ外側ニ長楕圓形ノ紅色紋アリテ中室ノ外側ヨリ第二室ノ中央ニ亘リ、少シク弓曲ス、後翅ノ外緣ニ近ク波狀ヲナセル紅色帶ハ雄ノモノヨリ長ク、稍々前緣ニ達ス、內緣ニハ白毛ヲ列ヌ、裏面ハ雄ヨリモ一層鮮黃色ヲ帶ビ、斑紋ハ判然ス、開張(♂)(♀)九分—一寸二分內外、

此ハ臺灣ニ普通ナリ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. matsumurae Fruhs. ト云フ、尙ホ雌斑紋ノ全部黃色ヲ呈スルモノアリ之レヲ Var. sakaii Mats. ト云フ、後者ハ故酒井芳太郎氏ノ埔里社ニ捕獲セルモノニシテ頗ル珍種ナリ、

(656) みつぼしふたをつばめ

第四十八圖(4♀)(5♂)

學名 Aphnaeus syama Horsf.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

たいわんふたをつばめ(千四、七十四圖(21)ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、一、前翅ニ於ケル紫藍色ノ部分ハ狹クシテ淡色、外緣ハ一層端直ニシテ第五脈ノ處ニテ脹出セズ、

二、後翅ノ紫藍色モ亦淡色ニシテ肛角ノ橙黃紋ハ一層大、尾狀突起ハ明瞭ニ短カシ、

三、裏面ハ一層淡色ニシテ黑帶ハ細ク、前翅ノ基部ニ一棒線ヲ具ヘJ字形ヲ呈セズ、後翅ニハ黑色ノ五帶アリテ第一帶ハ三紋ヨリ成リ、下方ニアルモノ最モ小ナリ、翅底ニハ二黑紋ヲ具ヘ、第一室ニハ三個ノ黑短線アリテ基部ノモノト中央ノモノトハ連續セズ、

雌、四、前翅ノ外緣ハ少シク弓狀ヲナセドモたいわんふたをつばめノ如ク突出セズ、後翅ノ橙黃紋ハ殊ニ肛角ノ內側ニテ太ン、尾突起ハ雄同樣ニ長シ、他ハ雄ニ同ジ、

開張一寸—一寸二分、此ハ臺灣ニ最モ普通ナル種類ナリ、たいわんふたをつばめハ恒春地方ニ限ラ

ル、モノ、如シ、

分布―臺灣、支那、印度、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. leechi Swinh. ト云フ、尙ホ千蟲四、七十四圖(21)ニアル たいわんふたをつばめハ學名ヲ Aphnaeus formosanus Moor. トナセシモ A. lohita Horsf. var. formosanus Moor. トナスヲ適當ト思考ス、

(657) ひめふたをつばめ

學名 Aphnaeus kuyanianus Matsumura.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

前種ニ似タレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、一、前翅ニ於ケル外緣ハ第五脈ノ處ニテ少シク突出スレドモみつぼしふたをつばめノ如ク突出セズ、

二、後翅ノ外緣ハ一層明瞭ニ弓狀ヲナシテ突出ス、

三、裏面ハ濃黃色、黑帶及ビ黑紋ノ中央ニアル黃色部ハ廣クシテ兩側ノ黑線ト同幅、中央及ビ後翅ノ第一室ニ銀色條ヲ有スルモノアリ、前翅底ノ棒線下ニC字形ノ黑紋ヲ具ヘ、後翅底ニアル一縱帶ハ短カクシテ、中脈ノ基部ニ達シ、第二帶ハたいわんつたをつばめニ似テ連續シ、最下方ニアルモノハ延ビテ長圓錐形ヲナス、第一室ノ中央紋ハ基部ニアル紋ト連續

第四十八圖
(6)
(♀)

ス、肛角ノ橙黃紋ハ小ニシテ其基部ニアル銀色ノ橫線ハ切斷セズ、

雌、四、前翅ノ基部及ビ後翅ノ基半部ニ青白ノ長毛ヲ具ヘ、肛角ノ橙黃紋ハ遙ニ小ニシテ第二及ビ第三室並ニ內緣ニ延長スルコトナシ、裏面ハ雄ニ似レドモ黑帶及ビ黑紋ノ中央ノ銀色ヲ呈スルモノナシ、

開張(♂)(♀)九分―一寸一分內外、此ハ埔里社、達邦社、璞石角地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布―臺灣、

Aphnaeus kuyanianus n. sp. (pl. XLVIII, 6, ♀)

Near *A. syama* Horsf., but differs from it as follows:

♂ 1. Outer margin to both wings somewhat more arched than that of *syama*, but not so much as in *lohita* Horsf.

2. Upperside. Primaries at the base and secondaries on the basal half with long bluish white hairs.

3. Underside deep yellow. Below the black bar at the base of the costa to the primaries with C-shaped black spot; black bands to both wings much broader, each in the middle with a broad yellowish band, those of the middle ones often with some silvery luster; at the base of the secondaries with a black short band, the 2nd band composed of 3 spots, the undermost one being produced conicelly as that of *lohita* Horsf., the middle spot of the first interspace being contiguous with the basal one; anal orange patch smaller, at the base with a contiguous silvery bar.

♀ 4. Bluish white long hairs at the basal parts of the wings more conspicuous as in those of the male, anal orange patch much smaller, not extending to the 2nd and 3rd interspaces; underside as that of the male, but lacking mostly silvery central bands on the black bands. Exp. 30—36 mm.

Hab.—Formosa (Tappan, Horisha Bokusekkaku); much less than *A. syama* Horsf. and rather local.

(658) ひらやまふたをつばめ

學名 Aphnaeus hirayamae Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ暗褐、前翅ノ橫脈上及ビ其外側ニ各一條ノ柿色帶アリテ何レモ短カク、內側ニアルモノハ中室ノ前緣ヨリ第二脈ニ達シ、外側ノモノハ少シク弓狀ニ曲リ第六脈ヨリ第二脈ニ達ス、尙ホ其外側ニモ判然セザル柿色ノ帶樣ノモノアリ、後翅內緣角ノ一圓ハ廣ク柿色、內緣角ニ楕圓形ノ黑紋アリテ其中央及ビ內側ニ銀色鱗ヲ混ズ、尾狀突起ノ中間ニモ一黑紋アリテ之レニ銀色鱗ヲ混ズ、尾狀突起ハ二本アリテ黑色、基部ハ柿色、末端ハ白色、裏面ハ黃色、橙黃色ノ六帶アリテ中央ノ斷續セル縱條ハ銀色、何レモ兩側ハ暗色、第一、第二及ビ第四帶ハ短カク、第三及ビ第五帶ハ前後緣ニ達シ、第五帶ハ前緣ヨリ第三室ノ中央ニ達ス、中室ノ下方ニ暗色ノ一縱紋ヲ具ヘ、外緣ハ廣ク橙黃色、其內側ニ黑帶アリテ斷續セリ、後翅ニモ前翅同樣ノ五橙黃帶アリテ、第四帶ハ短カク漸ク第三室ノ中央ニ達ス、外緣ニ四個ノ暗色紋アリテ一列ヲナス、內緣ハ廣ク橙黃色、黑紋ハ表翅ノモノニ異ナラズ、內緣ノ下方ニ銀色ノ一斜帶アリテ其內側ハ橙黃色ニテ緣取ラル、開張(♂)九分五厘、此ハ臺灣埔里社ニテ捕獲セルモノニシテ平山修次郎氏ヨリ寄送セラレタリ、定メテ珍種ナルベシ、

分布—臺灣、

第四十八圖(7)(♂)

Aphnaeus hirayamae n. sp. (pl. XLVIII, fig. 7, ♂)

Very near to *A. etolus* Cram., but differs from the latter as follows:

♂. Primaries with 2 short orange-yellow bands to the fore-wings, one of which being on the discocellulars and another one being quite separated from the inner one and somewhat incurved, extending from vein II to VI; in the 3rd to 5th interspaces each with an indistinct orange-yellowish spot. Underside yellow, transverse bands orange-yellow, each on the middle with a silvery, broken band.

Hab.—Formosa (Horisha); one ♂ specimen sent me for identification by Mr. S. Hirayama (very rare).

第四十七圖(18)(♂)

(659) てうせんからすしぢみ

學名 Thecla herzi Fixs.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ暗褐色、前翅橫脈ノ上方ニアル發香腺ハ卵形ニシテ灰色ヲ呈シ、緣毛ハ灰褐、後翅ニハ尾狀突起ヲ缺キ、亞外緣線ハ黑色、殊ニ第一及ビ第二室ノ處ニテ判然シ其部分ノ緣毛ハ灰色、但シ第一、第二及ビ第三脈ノ終點ニアル緣毛ハ黑色、裏面ハ灰褐、橫脈上ノ一紋及ビ其外側ニアル二紋列ハ暗色、紋ノ周圍ハ灰黃色、外緣ニ沿ヒ暗色ノ一帶アレドモ判然セズ、前翅ノ外紋列ハ三紋ヨリ、內紋列ハ七紋ヨリ成ル、後翅ニテハ外紋列ハ六紋ヨリ、內紋列ハ九紋ヨリ成ル、第一乃至第三室ノ外側ニ柿色紋アリテ其外側ニ三角形ヲナセル暗色紋ヲ列ヌ、亞外緣線ハ灰黃色ニシテ細シ、開張(♂)(♀)一寸一分—一寸二分內外、此ハ朝鮮ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—朝鮮、滿洲、

(660) みやまからすしゞみ

學名 Thecla mera Jans.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ暗褐色、後翅第一室ノ外緣ニ赤褐紋ヲ裝フ、內緣角ハ稍々卵形ヲ呈シ、赤褐紋ヲ具ヘ、其外緣及ビ緣毛ハ白色、尾狀突起ハ長ク、末端ハ白色、雄ニテハ橫脈ノ外側ニ光澤ナキ卵形ノ一紋ヲ裝フ、裏面ハ黃褐、三分ノ二ノ處ニ灰白ノ細キ一帶アリテ後翅ノモノハ第一及ビ第二脈ノ處ニテ稍々W字形ヲナス、外緣ニ黑色ノ二紋列アリテ第一及ビ第二室ノモノハ大ニシテ判然ス、此二紋列ノ間室ハ柿色、亞外緣線ハ白色、內緣角ハ全部黑色、其內方ニハ白紋アリ、開張一寸—一寸一分內外、此ハ靑森地方ニハ普通ナリ、

分布—本州、九州、

(附 言) 此ハからすしゞみニ酷似スレドモ尾狀突起長キヲ以テ容易ニ區別スルヲ得ベシ、

第四十七圖 (20) (♀)

(661) つまあかふたをしゞみ

學名 Thecla grandis Feld.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅暗褐、雄ハ光線ノ工合ニテ少シク紫色ヲ帶ビ、前翅中室ノ末端ニアル發香線ハ灰色ニシテ圓シ、後翅ニ二尾狀突起アリテ第二脈ノ末端ノモノハ頗ル長ク、第三脈ノ末端ノモノハ短カク、何レモ其末端ハ白色、內緣角ハ卵形ニ突出シ、柿色ニシテ其外側ハ暗色、同色ノ緣毛ヲ裝ヒ、之レニ少シク灰白毛ヲ混ズ、裏面ハ表翅ヨリモ少シク淡色、各室ノ中央ニ近ク白色ノ一紋列アリテ稍々一直線上ニ排列シ、第一室ノモノハ少シク內方ニ位ス、何レモ其內側ハ暗色線ニテ緣取ラル、其外側ニ黑紋列アリテ第一室ノモノハ大、上方ニ至ルニ從ヒ其大サヲ減ズ、何レモ其周圍ハ灰白、亞外緣線ハ灰白、後翅ニ前翅同樣ノ白帶ヲ具ヘ、第一(I°)室ノモノハ內方ニ位シテ斜走シ、(I^b)室ノモノニハ二條アリテ前者ハV字形ヲナス、各室ニ黑紋ヲ列ス、第三室ノモノハ中央柿色ヲ呈シ、第一室ノモノハ大ニシテ白鱗ヲ密布シ、第二室ノモノハ天鵞絨樣ノ黑色ニシテ大ナリ、其內側ハ廣ク柿色、黑線ニテ緣取ラル、內緣角ノ突起ハ黑色、其內側ハ柿色、黑線ニテ斜ニ緣取ラル、亞外緣線ハ灰白、雌ニテハ白帶ハ一層判然シテ太シ、開張(♂)(♀)一寸三分—一寸四分內外、埔里社地方ニ產スレドモ稀ナリ、

(附 言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosana Mats. トス、

第四十八圖 (1) (♀)

(662) えぞりんごしゞみ

學名 Thecla pruni L.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雌、翅ハ暗色、前翅ノ各室ニ沿ヒ黃色ノ長紋ヲ縱走シ、後翅ノ外緣ニ近ク同色ノ弓狀帶ヲ橫走ス、尙ホ橫脈上ニモ一橫線アリ、裏面ハ灰褐、三分ノ二ノ處ニ白帶ヲ具ヘ、外緣ニ近ク黑紋列アリテ其周圍ハ何レモ白色、前翅第一室紋ノ外側ニ一黃紋アリ、後翅ニハ二列ノ黑紋列アリテ外側ノモノハ白環ヲ有セズ、其二紋列ノ中間ニ柿色ノ一帶アリテ第一室ニテ太シ、尾狀突起ハ短カク、末端ハ白色、開張(♀)一寸三分內外、此ハ甚ダ稀ナル種類ニシテ余ハ野平安藝雄氏ノ落合ニテ捕獲セル一頭ヲ有スルニ過ギズ、

分布—北海道、滿洲、歐洲、

(附言) 北海道ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. jezoensis Mats. ト云フ、原種ト異ナル所ハ形大ニシテ前翅ノ各室ニ長キ黃色ノ縱紋ヲ並列スルニアリ、

Thecla pruni L. var. jezoensis Mats. (pl. XLVIII, fig. 1, ♀).

♀ Primaries differ from the type in having a broad submarginal red-yellowish band, which runs from the hind margin to the fifth interspace, and the cross-vein to the secondaries, which is also yellowish.

Hab.—Hokkaido (Ochiai); one female specimen collected by Mr. A. Nohira, which was hanged on some spider-nest at a hotel of Ochiai.

第四十七圖(9)(10)(♀)

(663) たいわんみどりしゞみ

學名 Zephyrus taiwanus Wilem

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄ハめすあかみどりしゞみニ酷似スレドモ翅外緣ノ黑色部ハ遙ニ狹ク、後翅第一及ビ第二室ノ部分ニ青白ノ一線ヲ裝フ、尾狀突起ハ細シ、雌ハ全部暗褐、前翅ノ中室部及ビ其下方ノ一圓ハ廣ク青藍色、裏面ハ雄雌稍々同色ナレドモ雄ニテハ少シク黑味ヲ帶ブ、稍々三分ノ二ノ處ニ一白帶ヲ具ヘ、外緣ニ近ク廣キ灰白帶アリテ其內ニ黑鱗ヲ散在ス、何レモ前翅ノ前緣ニテ判然セズ、後翅ニアル白帶ハ第一及ビ第二室ノ處ニテW字形ヲ呈シ、其外緣ニ青色ノ彎曲セル一帶アリテ其外側ハ柿色ニテ緣取ラル、內緣角ハ黑色、第二室ノ末端ニ柿色ノ眼狀紋アリテ其中央ハ黑色、第一室ノ外緣ニ金色ヲ帶ビタル青色鱗ヲ散在ス、開張(♂)(♀)一寸一分—一寸三分內外、此ハ臺灣埔里社地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、

第四十八圖(12)(♀)(13)(♂)

(664) ふじみどりしゞみ

學名 Zephyrus fujisanus Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ金綠色ナレドモ他ノみどりしゞみヨリモ灰色ヲ帶ビ淡色ナリ、外緣ノ黑色部ハめすあかみどりしゞみニ酷似スレドモ、後翅ノ外緣及ビ後緣ノ黑色部ハ一層廣ク、脈モ亦太クシテ黑シ、裏面ハ灰白、兩翅ニ四條ノ暗色帶アリテ初メノ二帶ハ後方ニテ細シ、前翅ノ橫脈上ニモ暗色ノ一短帶アリ、第一帶ハ第二脈ヲ少シク越ヘ、第三帶ハ第三脈ニ達スレドモ餘リ判然セズ、第三帶ハ外緣ニ平

行シテ太ク、第一脈ニ達ス、第四帶ハ他ヨリモ細シ、後翅ニテハ第一帶ヲ除キ何レモ同幅ナリ、第一帶ハ細ク、橫脈上ニ暗色ノ短キ一帶アリテ第一帶ト相接ス、後緣角ノ一圓ハ廣ク柿色、第一及ビ第二室ノ末端ニ近ク一黑紋ヲ裝ヒ、外緣線ハ前翅ト其ニ黑色、緣毛ハ白色、尾狀突起ハ黑色、內側及ビ末端ハ白色、雌ニテハ翅ハ全部暗色、不明瞭ニ裏面ノ暗色帶ヲ透視シ得ベシ、緣毛ハ白色、後翅ノ第一及ビ第二室ニ濃色ノ一紋アリテ、其外緣ニ近ク靑白ノ一細線アリ、裏面ハ雄ヨリモ一層暗灰色ヲ帶ビ、暗色帶ノ中間ハ白色、第三帶ハ紋列ヨリ成リ、第一及ビ第二室ニ橙黃紋ヲ有ス、後翅ノ第一室ニ細キ暗色ノ斜條アリテ其內側ハ白線ニテ緣取ラレ、第一帶トV字形ヲナス、開張(♂)一寸一分—一寸二分、(♀)一寸二分、此雄ヲ余ハ明治廿八年七月二十三日富士山六合目ニテ捕獲シタリ、尙ホ雌ハ野平安藝雄氏ニヨリテ伯耆大山ニテ大正二年七月十一日捕獲セラレタリ、

分布—本州(富士山、伯耆大山)、

(附言) のひらしゞみ Zephyrus nohirae Mats. 及ビ Z. atilia subgrisea Wilem. ノ兩種ハ何レモふじみどりしゞみノ雌ナリ、

(665) えぞみどりしゞみ

第四十八圖(14)(♀)(15)(♂)

學名 Zephyrus jezoensis Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

おほみどりしゞみ(千蟲、四、七十五圖(3))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、形少シク小ニシテ翅ハ少シク濃色、前翅ハ細ク、翅端ハ更ニ一層銳角ヲナス、前緣及ビ外緣ノ

黑色部ハ明瞭ニ太シ、前翅ノ內帶ハ端直ニシテ弓狀ヲナサズ、後翅ノ外緣ハ廣ク黑色ニシテ、第一及ビ第二室ノ末端ニ靑白ノ細線ヲ缺ク、尾狀突起ハ遙ニ短カシ、裏面ハ一層暗色ニシテ、橫脈上ノ暗色線ハ判然セズ、白帶ノ內側ハ細キ暗色線ニテ緣取ラルヽト雖ドモ判然セズ、後翅ノ橙黃紋ハ第一及ビ第二室ニテ連續シ、其中間ニ一灰白紋ヲ有スルモノアリ、外緣ノ暗色帶ハ判然セズ、雌、前翅ニ於ケル灰白紋ハ小ニシテ殊ニ第三室ニアルモノハ一層小ニシテ斑紋ノ區劃判然ス、裏面、前翅ノ外側ニアル一帶ハ第一及ビ第二室ニテ橙黃紋ヲ有ス、後翅第一及ビ第二室ノ外緣ハ廣ク橙黃色ニシテ其中央ニ近キ灰白紋ハ微小ナリ、他ノ異ナル點ニ就テハ雄ニ同ジ、開張(♂)(♀)一寸一分—一寸一寸二分內外、此ハ札幌地方ニ稀ナラズ、鹽原地方ニモ産ス、

分布—北海道、本州(鹽原)、

(666) じやうざんみどりしゞみ

第四十八圖(16)(♀)(17)(♂)

學名 Zephyrus jozanus Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

前種ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、後翅ノ尾狀突起ハ長ク、後翅外緣ノ黑色部ハ前種ヨリ少シク狹シ、裏面、前翅ノ內帶ハ弓狀ヲナシ、後翅ノ第一及ビ第二室ニアル橙黃紋ハ連續スルガ如シ、雌、裏面少シク赤味ヲ帶ビ、後翅ノ第一及ビ第二室ニアル橙黃紋ハ唯ダ內側ニテ連續セズト雖ドモ同色ノ小紋ヲ有スルヲ以テ內側ニテ

相連續シ、第二室ニアル黑紋ハ微小ナリ、前翅外帶ノ下半部ハ橙黃色ヲ帶ブ、開張(♂)(♀)一寸一分—一寸二分內外、雄ハ札幌地方ニ稀ナラザルモ雌ハ頗ル稀ナリ、尾狀突起ノ長キニヨリ容易ニ區別シ得ベシ、

分布—北海道、(札幌)、

(667) あいのみどりしゞみ

學名 Zephyrus aino Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

此ハめすあかみどりしゞみ(千蟲、四、七十七圖(3))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、雄、翅ノ外緣ニアル黑色部ハ少シク細ク、裏面暗灰色ニシテ、前翅ノ橫脈上ニ濃色ノ細キ一短線ヲ具ヘ、其外側ニアル白帶ト稍々同幅、外緣ニ近ク濃色ノ一帶アレドモ餘リ判然セズ、但ダ其外側ニ不明瞭ナル灰白帶アルニヨリ其存在ヲ認メ得ベシ、後翅ノ橫脈上及ビ第七室ノ基部ニ斑紋ヲ缺キ、白帶ハ外方ニ曲リ遙ニ狹キW字形ヲナシ、內側ニ濃色ノ緣取リヲ有セズ、第一及ビ第二室ニアル黑紋ハ遙ニ小ナリ、雌、前翅ノ中室外ニ橙黃ノ二小紋アリテ一ハ橫脈外ニ位シ、他ハ第三室ニアリテ相連續セズ、時ニ第二室ニ同樣ノ一紋ヲ有スルモノアリ、緣毛ハ暗色毛ヲ混ズ、裏面、前翅第一、第二及ビ第三室ノ末端ニ橙黃紋アリテ一列ヲナス、後翅ノ外緣ニ近キ白帶ハ餘リ判然セズ、其他ノ異ナル點ハ雄ニ同ジ、開張(♂)(♀)一寸一分五厘—一寸三分、此ハ札幌地方ニ產スレドモ餘リ多カラズ、

第四十八圖
(11)
(♀)

分布—北海道(石狩、釧路)、

(668) うすいろをながしゞみ

學名 Zephyrus butleri Fent.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅暗色、橫脈上ノ一紋及ビ其外側ニアル一橫紋ハ濃色、緣毛ハ暗色、前翅後角ノモノヽミ白色、後翅各室ニ白紋列アリテ、第一及ビ第二室ノ白紋中ニ黑紋ヲ有ス、亞外緣線ハ白色、緣毛ハ白色、末端ハ暗色、尾狀突起ハ黑色、內側及ビ末端ハ白色、裏面ハ白色、斑紋ハ黑色、前翅ニ四紋列アリテ、初メノ二紋列ハ各二紋ヨリ成リ、第三紋列ハ一帶トナリテ前緣ヨリ第二脈ニ達ス、第四紋列ハ六紋ヨリ成リ、第一室ノモノ最モ大、其周圍ハ何レモ白色、其兩側ニ暗色帶アリテ、內側ノモノハ短カク餘リ判然セズ、外側ノモノハ外緣ニ平行ス、亞外緣線ハ白色、後翅ニ三紋列アリテ、第一紋列ハ四紋ヨリ、第二紋列ハ五紋ヨリ、第三紋列ハ七紋ヨリ成ル、第二紋列ハ一直線上ニ位シ、第一及ビ第二室ノ末端ハ廣ク橙黃色ニシテ相連續シ、中央ニ一白紋ヲ具ヘ、第二室ノ橙黃紋中ニアル一紋及ビ肛角ノ一紋ハ黑色ニシテ判然ス、尾狀突起ハ黑色ニシテ長ク、內側及ビ末端ハ白色、第三紋列ノ內側ニ暗色ノ一波狀帶ヲ具ヘ、外側ニハ同色ノ一帶ヲ裝フ、開張(♂)(♀)九分—一寸二分內外、此ハ北海道及ビ本州ニ產スレドモ稀ナリ、札幌定山溪地方ニテハ七月下旬現ハル、

分布—北海道、本州(信州、伯州、備州)、滿洲、

第四十八圖
(18)
(19)
(♀)

(669) をながしゞみ

學名 Zephyrus enthea Jans.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

表翅ハ前種ニ酷似スレドモ少シク濃色、雄ハ中室ノ外側ニ二灰白紋ヲ裝フ、緣毛ハ暗灰色、後翅ノ尾狀突起ハ黑色ニシテ長ク、末端ハ白色、裏面ハ白色、黑紋ヲ散在シ、其內中室ニアルモノハ最モ大ナリ、各室ニ二紋アリテ、第一室ニテハ其基部ニ更ニ一紋ヲ裝フ、橫脈上ニモ一紋ヲ具ヘ、倘ホ前緣ノ中央ニモ一紋ヲ裝フ、後翅ノ基部ニ四紋ヲ具ヘ、橫脈上ニモ一紋ヲ裝フ、各室ニ二紋列アリテ、外紋列ノ兩側ニ暗色ノ一帶ヲ具ヘ內方ニアルモノハ波狀ヲナス、第一及ビ第二室ノ末端ハ廣ク橙黃色、各一黑紋ヲ裝フ、開張(♂)(♀)九分—一寸內外、此ハ札幌地方ニ普通ナル種類ニシテ幼蟲ハ胡桃ノ葉ヲ食ス、

分布—北海道、本州、滿洲、支那、

第四十八圖
(20)
(♀)

(670) うらみすぢしゞみ

學名 Zephyrus signatus Butl.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ黑色、翅底ノ廣キ一圓ハ紫藍色、雄ニテハ其部一層廣シ、雌ニテハ中室ノ外側ニテ紫藍色ノ部

第四十八圖
(21)
(♀)

ノ缺ケタル處アリ、後翅ノ緣毛ハ白色、末端ハ灰色、第一室ノ末端ニ黑線アリテ內緣ニテ廣ガル、尾狀突起ハ黑色ニシテ長ク、末端ハ白色、裏面ハ黃褐ニシテ紫色ヲ帶ビ、斑紋ハ銀白色、前翅ノ中室ニ彎曲セル一縱線ヲ具ヘ、其內側ニ一環紋アリ、橫脈上ニ一短線ヲ具ヘ、其外側ニ三帶アリテ何レモ後緣ニ達セズ、第一及ビ第二室ノ末端ニ近ク黑紋ヲ裝フ、後翅ノ第七室ニ二短線アリテ互ニ相接ス、其下方ニモ一紋アリテ前者ト共ニ最モ顯著ナリ、外半ニ三帶アレドモ最モ外緣ニアルモノハ餘リ判然セズ、第一室ノ基部ニ數個ノ細線アリテ斜走シ、第二室ノ基部ニモ一斜線ヲ裝フ、第一及ビ第二室ニ各二黑紋アリテ肛角ノ一紋モ亦黑色ナリ、裏面ノ斑紋ニハ甚ダシク變化アリテ一個種ノ同紋ヲ有スルモノ稀ナリ、開張(♂)(♀)一寸一分—一寸二分、此ハ札幌地方ニ產スレドモ稀ナリ、幼蟲ハ櫸ノ葉ヲ食ス、

分布—北海道、滿洲、支那、

(671) うらぐろしゞみ
(しろしゞみ)

學名 Zephyrus orsedice Butl.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ眞珠樣ノ灰白、光線ノ工合ニテ少シク藍色ヲ帶ブ、外緣ハ暗色、前翅前緣ノ外半モ暗色ヲ帶ブ、後翅ノ內緣角及ビ第二室ノ末端ニ近ク暗色紋アリ、尾狀突起ハ暗色、末端ハ白色、裏面ハ暗灰色、

第四十八圖
(24)
(♂)

横脈上ニ濃色ノ短線アリテ其中央ハ淡色、白紋列ハ第二脈迄端直ナレドモ、第二室ニアルモノハ少シク内側ニ位ス、外緣ニ近ク暗色紋ヲ列ネ、第一及ビ第二室ニアルモノハ最モ大、上方ニ至ルニ從ヒ其太サヲ減ズ、何レモ周圍ハ白色、後翅ニハW字形ノ白帶ヲ具ヘ、其外側ニ弦月形ノ白紋列ヲ裝ヒ、更ニ其外側ハ同樣ノ暗色紋ニテ緣取ラル、第一及ビ第二室ニ橙黃紋アリテ何レモ黑紋ヲ具ヘ、第二室ニアルモノハ大ナリ、雌ニテハ外緣及ビ翅端ノ暗色部廣ク、前緣ハ褐色、紫色ヲ帶ビ、後翅ハ褐色ナリ、開張(♂)(♀)一寸一分—一寸三分、此ハ本州ニ產スレドモ稀ナルガ如シ、

分布—本州(日光、鹽原、鳥羽、岩代、御嶽山等)、

(672) うらきんしゞみ

第四十八圖(22)(23)(♀)

學名 Zephyrus ibara Butl. (=*stygiana Butl.*♂)

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ黑色、緣毛ハ大部白色ニシテ少シク黑毛ヲ混ズ、後翅ノ尾狀突起ハ短カク、内緣角ト共ニ末端ニ白毛ヲ有セズ、裏面ハ黃色、外緣ハ黑色、雄ニテハ黑鱗多キガ爲メ少シク暗色ヲ帶ブ、外緣ニ近ク二黑紋列アリテ内側ノモノハ弦月形ヲ呈シ、其外側ニ橙黃紋ヲ列ネ、外側ノ紋列ハ第一及ビ第二室ニテ判然スレドモ夫レ以上ニアリテハ判然セズ、其内側ニ白紋ヲ連ヌ、後翅第一及ビ第二室ノ末端ハ廣ク橙黃色、第二室ニテハ黑紋ヲ具ヘ、内緣角ニモ黑紋アリテ其内側ニ白紋、其外側ニ青白ノ小紋ヲ裝フ、雄ニテハ全面暗色ヲ呈スルヲ以テ黑紋列ハ餘リ判然セズ、開張(♂)(♀)一寸一分—一寸三

分内外、此ハ伯耆大山ニテ普通ナレドモ札幌地方ニハ移ナリ、常ニとねりこニ捕獲シ得ベシ、定メテ幼蟲ノ食草タルベシ、

分布—北海道、本州、

(673) たいわんあかしゞみ

第五十圖(15)(♀)

學名 Zephyrus comes Leech.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

あかしゞみ(千蟲、四、七十五圖(5)ニ似レドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雌、前翅前緣角ノ黑色部ハ少ナク第四脈ニ達スルニ過ギズ、後翅ニアリテハ裏面ノ白帶ヲ透視シ得ベシ、亞外緣線ハ細キ黑色ナレドモ餘リ判然セズ、第二室及ビ肛角ニ黑紋ヲ缺ク、裏面ハ大ニ其斑紋ヲ異ニシ、前翅ノ外緣ニ近ク細キ一白帶アリテ、其内側ハ黑線ニテ緣取ラル、他ニ斑紋ヲ缺ク、後翅ノ三分ノ二ノ處ニ一白帶アリテ、第三室以下ニテ波狀ヲナシ、判然セザル細黑線ニテ緣取ラル、外緣ニ近ク柿色ノ半圓紋ヲ連子、其内側ハ白色ノ半環ニテ緣取ラル、亞外緣線ハ白色ニシテ波狀ヲナス、第二室及ビ肛角ニ一黑紋アリ、開張(♀)一寸二分、此ハ臺灣阿里山ニテわいるまん氏ニヨリテ捕獲セラレタリ、稀ナルガ如シ、

分布—臺灣、支那、

(附言) 著者ハ此標本ヲ所持セズ、爰ニ描ケルモノハりーち氏ノ圖譜ヨリ轉寫セルモノナリ、

(674) くやにやしゞみ

學名 Virachola kuyaniana Mats.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雌、翅ハ暗黑色、緣毛ハ白色、後翅ノ緣毛ハ甚ダ長ク、亞外緣線ハ白色ニシテ細ク、第六室迄判然ス、肛角ニアル卵形ノ突起ハ小ニシテ黑色、內側ニハ暗色ニシテ白毛ヲ混ズ、尾狀突起ハ長ク、外方ニ曲リ、內側ニテハ黃色、外側ニテハ靑色ノ鱗毛ヲ裝フ、緣毛斑紋ハ灰色、前翅橫脈ノ兩側ニ二短線ヲ具ヘ、其外側ニ一帶アリテ、兩側ハ暗色ニシテ緣取ラル、前緣ヨリ第三脈迄ノモノハ外方ニ、第三脈ヨリ以下後緣ニ達スルモノハ少シク內方ニ位ス、外緣ニ近ク判然セザル二波狀帶アリテ、外緣ハ細ク暗色、緣毛ハ白色、基部ハ暗色、後翅ノ橫脈上ニアルモノハ前翅ノモノニ異ナラズ、其外側ニアル帶ハ四紋列ヨリ成リ、第一、第二、第三、第六及ビ第七室ニアルモノハ稍々一直線上ニアレドモ、第四及ビ第五室ニアルモノハ離レテ外方ニ位ス、第七室ノ基部ノ一紋及ビ中室ノ一紋ハ黑色、第一室(I_a)ニ灰色ノ二紋アリテ、兩側ハ暗色ニテ緣取ラル、外緣ニ近キ二波狀帶ハ前翅ノモノニ異ナラズ、第二室ニ黑紋アリテ、周圍ハ橙黃色、第一室ニく字形ノ黃線アリテ、靑白線ニテ緣取ラル、內緣角ノ突起ハ天鵞絨樣ノ黑色、內側ニ靑白鱗ヲ有ス、開張(♀)一寸一分、此ハ臺灣達邦社ニ近キ「くやにや」地方ニ捕獲シタルモノニシテ甚ダ稀ナルガ如シ、

分布—臺灣(達邦社)、

第四十八圖
(25)
(♀)

Virachola kuyaniana n. sp. (pl. XLVIII, fig. 25, ♀).

♀ Upperside—Dark fuscous, fringes snowy white, those of the primaries at the base grayish, while those of the secondaries entirely white and being very long. Submarginal band of the secondaries white and very narrow, reaching to the 6th vein; tail long, strongly excurved, at the inner margin and at the apex white; anal lobe small, black, at the innerside with some yellowish and at the outerside with some metallic blue scales.

Underside—grayish white, with grayish markings, which being lined with fuscous; primaries on both sides of the discocellulars with a narrow, short band; postdiscal band of the primaries being broken, at the 3rd vein being placed somewhat inwardly; near the outer margin with 2 indistinct wavy bands, marginal band black and narrow, fringes mostly white, mingling a few grayish scales. Secondaries—Postdiscal maculate band composed of 4 spots, those of the 4th and 5th interspaces being placed somewhat outwardly, 2 short lines along the discocellulars and 2 wavy bands near the outermargin; near the base of the 7th interspace and in the middle of the discoidal cell each with a fuscous spot; near the apex of the 2nd interspace with a velvety black spot, encircled with orange; in the 1st interspace with く—shaped yellowish marking, which on both sides being lined with metallic pale blue band; anal lobe small, velvety black, on the innermargin with bluish scales, its fringes being mostly gray; the first interspace (I^a) with 2 spots, that of the outer one being larger and fuscous margined. Exp. 32mm.

Hab.—Formosa (Kuyania near Taipan); one ♀ specimen collected in the middle part of April, 1908, by the author.

(675) てうせんくにしゞみ

學名 Chrysophanus dispar Hew.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ紅色、前緣(狹ク)及ビ外緣ハ黑色、前翅ノ外緣ニ近ク判然セザル濃色ノ二紋列アリテ裏面ノ

第四十九圖
(1) (♂)
(2) (♀)

紋列ニ相當ス、後翅ノ外緣ニ黑紋列アリテ第一室ニアルモノハ二個アリ、緣毛ハ黑色、末端ハ灰白、後翅ノ內緣ハ暗灰色、其緣毛ハ白色、雌ニテハ前翅ハ柿色、前緣、外緣、中室ノ二紋及ビ外緣ニ近キ一紋列ハ暗褐、後翅ハ大部暗褐、外緣ニ近ク柿色ノ一帶アリテ其外側ニ黑紋ヲ列ス、緣毛ハ灰白、裏面ハ雄雌稍々同色ナレドモ雄ニテハ少シク濃色ナリ、前翅ハ紅色ヲ帶ビタル柿色、前翅中室ノ三紋及ビ外緣ニ近キ二紋列ハ黑色、外緣灰色、後翅ハ灰色、外緣ニ近ク柿色ノ太キ一帶アリテ之レハ前緣ニ達セズ、黑色ノ五紋列ヲ具ヘ、紋ノ周圍ハ白色、初メノ二紋列ハ三紋ヨリ、第三紋列ハ九紋ヨリ、第四紋列ハ八紋ヨリ、第五紋列ハ六紋ヨリ成ル、內緣角ノ一紋モ亦黑色、亞外緣線ハ白色、開張(♂)一寸一分—一寸四分內外、此ハ朝鮮及ビ滿洲ニ普通ナリ、(♀)一寸一分—一寸四分內外、此ハ朝鮮及ビ滿洲ニ普通ナリ、

分布—朝鮮、滿洲、支那、歐洲、

(附　言)朝鮮ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. auratus Leech ト云フ、

第四十九圖(3)(♀)(4)(♂)

(676) るりうらなみしゞみ

學名　Jamides bochus Cram.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ紫藍色、前翅ノ外緣、翅端及ビ前緣ハ廣ク紫黑色、後翅ニテハ外緣(狹ク)及ビ內緣ハ黑色、第二室ノ末端ニ黑紋アリテ其中ニ弦月形ノ一青色紋ヲ有ス、尾狀突起ハ細長ニシテ黑色、末端ハ白色、裏面ハ暗灰色、灰白ノ細キ波狀帶アリテ一双ヲナシ、前翅ニハ三双アリテ、外緣ニ近キ一双ハ

相近接シテ外緣ニ平行ス、後翅ニハ四双アリテ、前翅ト同樣ナレドモ中室ヲ貫ク一双ハ前翅ニナシ、後翅ノ二眼狀紋ハ天鵞絨樣ノ黑色ニシテ其內側ハ橙黃色、第二室ノモノハ大ニシテ外緣ニ近ク少シク青色鱗ヲ具ヘ、第一室ニアルモノハ黑色部ノ中央ニ大ナル青色紋ヲ裝フ、雌ノ雄ト異ナル所ハ翅色、裏面ハ暗灰色、灰白ノ細キ波狀帶アリテ一双ヲナシ、前翅ニハ三双アリテ、外緣ニ近キ一双ハ青藍色ニシテ光澤ヲ缺キ、後翅ノ後緣ハ廣ク黑色、內緣ハ青藍色ヲ帶ブ、裏面ハ雄ヨリ判然セル灰白帶ヲ具ヘ、周圍ハ白色、第二室ノ末端ニアルモノハ少シク藍色ヲ帶ビ、第一室ニアルモノハ大ニシテ青色鱗多シ、開張(♂)一寸—一寸一分內外、此ハ臺灣ニ普通ナリ、眼狀紋ハ大ニシテ青色鱗多シ、開張(♀)一寸—一寸一分內外、此ハ臺灣ニ普通ナリ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、

(附　言)臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosanus Fruhs. ト云フ、

第四十九圖(5)(♀)(6)(♂)

(677) しろうらなみしゞみ

學名　Lampides elpis God.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ灰白ニシテ少シク青色ヲ帶ビ、前翅ノ前緣、外緣及ビ翅端(廣ク)ハ暗色、中央ニハ判然セザルモ裏面ノ白色帶ヲ透視シ得ベシ、後翅ノ外緣ニ暗色ノ二帶アリテ、外側ノモノハ紋列ヨリ成リ、其外側ニ白色ノ弦月紋ヲ連ヌ、第二室ノ末端ニアル一紋ハ黑色ニシテ其內側ニ青白紋ヲ有ス、尾狀突起ハ黑色、末端ハ白色、裏面ハ灰色、三双ノ白帶アリテ、第二双ノモノハ短カク、前緣ヨリ第三脈ニ達スルニ過ギズ、第三双ノモノハ外緣ニ平行シ其中間ハ地色ヨリ濃色ナリ、亞外緣線ハ白色、後

翅ニハ四双ノ白帶アリテ、前翅ノモノヨリ細ク、第一双ハ翅底ニ位ス、初メノ三双ハ第一脈ノ處ニテ彎曲シテ內緣ニ開口ス、第一及ビ第二室ノ末端ニ二黑紋アリテ其內緣ハ橙黃色、外緣ハ暗色ナリ、雌ニテハ翅ハ靑白、裏面ノ白帶ヲ透視シ得ベシ、前翅ノ外緣及ビ前緣(狹ク)ハ黑色、後翅ノ前緣ハ白色、外緣ニ黑紋ヲ列ス、其內側ニハ白紋ヲ具ヘ、外側ニハ白帶ヲ裝フ、外緣線ハ黑色、緣毛ハ暗色ニシテ基部ハ灰白、尾狀突起ハ黑色、外緣及ビ末端ハ白色、裏面ハ雄ニ酷似スレドモ白帶ハ一層太ク、後翅ノ眼狀紋ハ大ナリ、開張(♂)(♀)一寸二分—一寸三分、此ハ臺灣ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. dromicus Fruhs. ト云フ、

第四十九圖(7)(♀)

(678) こしろうらなみしゞみ

學名 Lampides pura Moor

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

翅ハ眞珠樣ノ光澤ヲ有スル白色ニシテ少シク靑色ヲ帶ブ、外緣ハ暗色、殊ニ雄ニテハ翅端ノ暗色部ハ廣シ、裏面ノ暗色帶ヲ透視シ得ベシ、後翅ノ後緣ニ暗色ノ紋列アリテ、雄ハ其內側ニ一暗色帶ヲ裝フ、外緣ハ暗色、緣毛ハ前翅ニテハ灰色、後翅ニテハ白色、但シ脈ノ終點ハ暗色、尾狀突起ハ暗色、外緣及ビ末端ハ白色、裏面ハ白色、翅底、前緣及ビ斑紋ハ暗色、前翅ノ橫脈上ニ太キ一短帶アリテ其內側ハ白色、其外側ニ同樣ノ一帶アレドモ之レハ第三脈ニ達ス、此兩帶ノ中間ノ下方ニ同樣

ノ一帶アリテ第三脈ヨリ後緣ニ達ス、外緣ニ近ク三條ノ暗色帶アリテ其內中央ニ位スルモノハ他ヨリ濃色、前緣ニハ三個ノ短カキ白線アリテ斜走ス、後翅ニ五帶アリテ中室ヲ貫通スル一帶ノ兩側ハ白緣ヲ有ス、第二帶ハ紋列ヨリ成リ、橫脈上ニ位スルモノハ少シク內側ニ位ス、第三帶ハ第三脈迄判然スレドモ其下方ニテハ判然セズ、外緣ニ近ク細キ三帶アレドモ內側ノモノハ判然セズ、第一及ビ第二室ニ黑紋ヲ具ヘ、其內側ニ靑白鱗ヲ裝ヒ、其內側ニ黃紋アリ、內緣角ニ一小黑紋アリテ第一室紋ト一直線上ニアリ、內緣ニ二紋アリテ斜走シ、其兩側ハ白色、開張(♂)一寸一分內外、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. taiwana Mats. ト云フ、原種ヨリ翅端及ビ外緣ノ暗色部ハ廣ク、裏面ニテハ前翅ノ初メノ二帶ハ平行シ其下方ニ位スル一帶ト Y 字形ノ斑紋ヲナサズ、後翅ノ第三帶ハ細ク稍々端直ナリ、

Lampides pura Moor. var. taiwana n. var. (pl XLIX, fig. 7, ♀)

Differs from the typical form in having broader fuscous apices to the primaries in both sexes, the first 2 transverse bands, which being in parallel, with the under lying band not building a Y-shaped marking, the 3rd band to the secondaries being straight, narrower and which on the outer side not being zigzag.

Hab.—Formosa (Horisha, Ako, Kanshirei); not rare.

(679) ひめうらなみしゞみ

學名 Nacaduba ardates Moor.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ紫褐色、光線ノ工合ニヨリ紫色ヲ現ハス、外緣線及ビ緣毛ハ暗色、後翅ノ尾狀突起ハ黑色ニシテ細ク、外緣及ビ末端ハ白色、裏面ハ灰褐、時ニ黃褐ナルモノアリ、三紋別アリテ何レモ兩側ハ白色、其內側ハ暗色、外緣ニ暗色ノ二紋列アリ、前翅ノ第一紋列ハ二紋、第二紋列ハ一紋、第三紋列ハ七紋ヨリ成リ、第三紋列ノ內第一及ビ第二室ニアルモノハ少シク內方ニ位ス、外緣ニハ暗色ノ二紋列ヲ具ヘ、外緣線ハ細ク黑色、緣毛ハ黃褐、後翅ノ第一紋列ハ三紋ヨリ、第二紋列ハ一紋ヨリ、第三紋列ハ八紋ヨリ成ル、此內第三紋列ハ中央ニ近ク彎曲シ、第三、第四及ビ第五室ニアル紋ハ少シク外方ニ位ス、第一及ビ第二室ノ末端ニ天鵞絨樣ノ黑紋アリテ其內側ハ橙黃色、外側ハ銀色、但シ第一室ニアルモノハ微小、黑紋上ニ銀色鱗ヲ裝ヒ、其外緣ニ灰白ノ細線アリ、雌ニテハ前翅ノ基部ニ近ク楕圓形ノ靑藍色ヲ具ヘ、後翅ノ後緣ニ暗色紋ヲ列ヌ、其內第二室ニアルモノハ黑色ニシテ其內側少シク靑色ヲ帶ブ、亞外緣線ハ白色、時ニ前翅ニ靑藍紋ヲ有セザルモノアリ、裏面ハ黃褐ニシテ美ナリ、斑紋ハ判然ス、開張(♂)(♀)七分—八分內外、此ハ臺灣ニ普通ナリ、

分布—臺灣、比利賓、馬來、印度、

第四十九圖(8)(♀)(9)(♂)

(680) くろうらなみしゞみ

學名 Nacaduba hainani Baker.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ紫褐色、光線ノ工合ニヨリ少シク藍色ヲ現ハス、外緣及ビ緣毛ハ暗色、後翅第一及ビ第二室ノ緣毛ハ基部ニテ灰白、第二室ニ裏面ノ黑色紋ヲ透視シ得ベシ、尾狀突起ハ暗色、末端ハ白色、裏面ハ暗褐、灰黃ノ波狀帶ヲ具ヘ、前翅ニ三叉アリテ第一叉ハ橫脈ノ兩側ニ位シ、第二叉ハ第三脈ニ達シ、第一ノ外側ノモノト第二ノ內側ノモノト相連續シテY字形ヲナス、第三叉ハ外緣ニ近ク位シ、其內帶ハ太ク、外帶ハ弦月形ノ紋列ヨリ成ル、後翅ノ波狀帶ハ四叉アレドモ時ニ合シテ叉ヲナサヾルモノアリ、第一叉ハ翅底ニ位シ、第二叉ハ長ク、第三叉ハ短カク、第二叉ノ外側ノモノト第三叉ノ內側ノモノト合シテY字形ヲ造ルコト前翅ニ異ナラズ、第四叉ハ前翅ノモノニ似タレドモ少シク細シ、第一及ビ第二室ニ天鵞絨樣ノ黑紋アリテ其周圍ハ黃色、第一室ニアルモノハ內側ニ、第二室ニアルモノハ外側ニ靑白鱗ヲ有ス、雌ハ暗褐、前翅ノ基部ニ紫藍色ノ一大紋アリテ翅底ヨリ三分ノ二ノ處ニ達ス、裏面ハ雄ニ異ナラザルモ斑紋ハ判然ス、開張(♂)(♀)一寸二分—一寸三分、此ハ臺灣何レノ地方ニモ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、濠洲、

第四十九圖(10)(♀)(11)(♂)

(681) あまみうらなみしゞみ

學名 Nacaduba prominens Moor.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

前種ニ酷似スレドモ前翅裏面ノ基部ニ灰白帶ヲ有スルヲ以テ容易ニ區別シ得ベシ、雄、翅ハ紫白色、裏面ノ灰白帶ヲ透視シ得ベシ、外緣ハ黑色、緣毛ハ灰色ニシテ中央ニ暗色ノ一線ヲ貫通ス、後翅第一及ビ第二室ノ處ニ白色ノ一線ヲ裝フ、尾狀突起ハ黑色、末端ハ白色、裏面ハ暗灰色、帶ハ灰白、四双ヨリ成リ、第一双ハ中室ヲ橫斷シ、外側ノモノハ長シト雖ドモ第三脈以下ニテ少シク內側ニ偏スルヲ以テY字形トナル、第三双ノ內側ノモノハ長クシテ第二双ノ外側ノモノト相平行シ、外側ノモノハ第三脈ニ達スルニ過ギズ、第四双ハ外緣ニ平行ス、亞外緣線ハ細クシテ灰白、後翅ニモ四双帶アレドモ第三双ハ紋列トナリ、第二室ニアルモノハ內側ニ位シ一列ヲナサズ、外緣ニ近キ一双ハ弦月形ノ紋列ヨリ成リ、初メノ二室ニ天鵞絨樣ノ黑紋ヲ具ヘ、第二室ニアルモノハ太クシテ外緣ヲ除ク周圍ハ橙黃色、後緣ニ沿ヒ金青色ノ鱗毛ヲ列ス、第一室ノモノハ小ニシテ其內側ニ金青色ノ一線ヲ斜走ス、雌ニテハ翅ハ暗褐、基部ニ青白ノ一大紋アリテ三分ノ二ノ處ニ達シ、其上ニ裏面ノ白帶ヲ透視シ得ベシ、後翅ノ基部ニモ青白色ヲ帶ビタル部分アリ、後翅ニ黑色ノ紋列アリテ外緣ハ白線ニテ緣取ラレ、內側ハ弦月形ノ灰白紋ヲ列ヌ、殊ニ第二室ノモノハ青色ヲ帶ブ、裏面ノ帶ハ白色ニシテ判然ス、開張(♂)(♀)九分—一寸一分、此ハ臺灣ニ普通ナレドモ

第四十九圖(14) (♀)

沖繩大島ニハ稀ナルガ如シ、

分布—沖繩(大島)、臺灣、支那、比利賓島、南洋(アンガール)、印度、

第四十九圖(12)(♀) (13)(♂)

(682) ほりしやうらなみしゞみ

學名 Nacaduba atrata Horsf.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

前種ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、翅ハ廣ク、少シク濃色ニシテ白味ヲ有セズ、從テ後翅ノ內半ニ於ケル紫白色ノ長毛ハ判然ス、裏面、少シク濃色ヲ呈シ、前翅ノ第一帶ハ少シク內方ニ曲ル(前種ニテハ端直ナリ)、第二帶ノ外線ハ第三脈ノ處ニテ遮斷スルモ延長シテ第一脈ニ達ス、前種ニアリテ中間ニ位シY字形ヲナス、雌、前翅ノ青白ノ部分ハ延長シ、其末端ハ第三室ノ半程ヲ越ユ、後翅ノ外緣ニ近ク二黑紋列アリテ內側ノモノハ外側ノモノニ酷似スレドモ前緣ニ至ルニ從ヒ小形トナラズ、裏面ノ斑紋ハ雄ト同樣ナレドモ一層白帶ハ廣クシテ判然ス、開張(♂)(♀)一寸一分—一寸二分、余ハ臺灣埔里社及ビ大湖ニ捕獲セル二頭ノ標本ヲ有ス、稀ナルガ如シ、

(683) たいわんうらなみしゞみ

學名 Nacaduba taiwana Mats.

第四十九圖(16) (♂)

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

前種ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、形小ニシテ翅ハ一層濃色、裏面ノ白帶ヲ透視スルヲ得ズ、後翅ノ第一及ビ第二室ノ末端ニ一黑紋アリテ、第一室ニアルモノハ少シク大ナリ、裏面ノ帶ハ灰白ニシテ細ク餘リ判然セズ、前翅ノ前緣ニ小白點ヲ缺キ、第一帶ハ第二帶ヨリモ遙ニ細ク少シク弓狀ニ曲ル、第二帶ノ外線ハ第三脈ノ前ニテ切斷セラレアレドモ其下方ニアリテ切斷セラレズ、第三帶ノ內線ノ延長シタル線ト平行シ其下部ニ更ニ一双帶ヲナス、第三帶ハ第二帶ト同幅、後翅ノ帶モ前翅ノ如ク細ク、餘リ判然セズ、雌ヲ缺ク、開張(♂)一寸餘、余ハ臺灣埔里社地方ニ二頭ノ雄ヲ捕獲セルガ稀ナルガ如シ、

Nacaduba taiwana n. sp. (pl. XLIX, fig. 16, ♂)

Closely allied to *N. atrata* Horsf, but differs from the latter as follows:—

Upperside—Both wings distinctly deeper in color, pale stripes of the underside not visible through by transparency; at the end of the first and 2nd interspaces to the hind wing with a black spot, the inner one being somewhat larger.

Underside—On the costal margin with 3 very faint, grayish oblique strigae, transverse pairs of bands pale grayish, the first pair to the primaries much narrower than the 2nd and 3rd pairs below the 3rd vein with a pair of bands, the inner side of which being contiguous to the outerline of the 2nd pair and the outer side to the inner line of the 3rd pair; markings of the secondaries nearly the same as that of *atrata*, except they are narrower and fainter. Second joint of the palpi black, with a few white hairs. Exp. 31—32mm.

Hab.—Formosa (Horisha); 2 ♂ specimens collected by the author.

(684)

たかむくうらなみしゞみ

第四十九圖(15)(♂)

學名　Nacaduba takamukuana Mats.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

あまみうらなみしゞみニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、前翅ニハ裏面ノ白帶ヲ少シク透視シ得ベシト雖ドモ後翅ニテハ餘リ判然セズ、裏面ハ灰白、帶ハ灰白、前翅ニ三双アリテ廣ク、第一及ビ第二帶ハ同幅、但シ第一帶ハ後緣ニテ細マリ、第二帶ハ後緣ニテ太ク、何レモ第一脈ニ達ス、第三帶ハ第三脈ニ達シ、其內側ノモノハ第二帶ノ外側ノモノト一直線上ニアリ、後翅ノ斑紋ハあまみうらなみしゞみト同樣ナレドモ餘リ判然セズ、開張八分四厘、此ハ臺灣埔里社ニテ捕獲セラレタルモノニシテ余ハ高椋悌吉氏ヨリ送附セラレタル一頭ノ雄ヲ有ス、稀ナルガ如シ、

分布—臺灣、

Nacaduba takamukuana n. sp. (pl. XLIX, fig. 15 ♂)

Near N. *prominens* Moor., but differs from the latter as follows:—

Upperside. Pale grayish bands of the under side to the primaries not well visible through by transparency as in *prominens*, while those to the secondaries entirely invisible; underside pale grayish, with 3 pairs of much broader grayish white bands, the first and 2nd pairs in the same breadth, the first of which becoming narrower towards the hind margin, while in the 2nd pair being broader and both reaching to the first vein, the 3rd pair short, and reaching to the 3rd vein, the inner side of

which being in a straight line with the outer side of the 2nd pair; secondaries nearly the same in patern but not so obvious as in *proximens*. Exp. 28 mm.

Hab.—Formosa (Horisha); one ♂ specimen collected by Mr. T. Takamuku, and sent me for identification; it seems to be very rare.

(685) をながうらなみしゞみ

學名 Catachrysops strabo F.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ青白、少シク紫色ヲ帶ブ、外緣線ハ細ク黑色、緣毛ハ白色、中央ニ近ク灰色ノ一細線ヲ貫通ス、後翅ノ第二室ニ一黑紋ヲ具ヘ、第一及ビ第二室ノ亞外緣線ハ白色、尾狀突起ハ細ク、黑色ニシテ外緣及ビ末端ハ白色、裏面ハ灰白、斑紋ハ少シク濃色ニシテ其兩側ハ白色、橫脈上ニ一短線ヲ具ヘ、其外側ニ一紋列アリテ、第二室ニアルモノハ少シク內側ニ位ス、外緣ニ近ク二帶アリテ內側ノモノハ白緣ヲ有ス、緣毛ハ白色、後翅ニモ同樣ノ斑紋アリテ橫脈外ノ紋列ハ五紋ヨリ成リ、第三室ニアルモノハ小ニシテ第四室ノモノヨリモ遙內側ニ位シ、第一及ビ第二室ニアルモノハ一層內側ニ位ス、外緣ニ近キ二帶ハ前翅ノモノニ似ル、第七室ニハ二個ノ黑點アリ、第二室ニハ黑色ノ一紋ヲ具ヘ、之レニ金綠ノ鱗毛ヲ裝ヒ、第一室ニハ黑點アリテ其內側ニ金綠ノ鱗毛ヲ裝フ、雌ニテハ暗褐、翅底ニ青色ノ大紋アリテ三分ノ二ノ處ニ達シ、外緣ニ近ク灰白ノ二波狀帶ヲ具ヘ、後翅ニアルモノハ判然シ何レモ弦月形ノ紋列ヨリ成ル、前翅ノ橫脈上ニ一暗色紋ヲ具ヘ、後翅ノ第二室ニ黑紋アリテ其內側ニ橙黃ノ弦月紋ヲ裝フ、初メノ三室ノ亞外緣線ハ白色、後翅ノ青色部ハ翅ノ中央ニ達スルニ過ギズ、裏面ハ少シク灰褐色ヲ帶ブル外異ナルナシ、開張(♀)九分—一寸、

第四十九圖(17)(♀)(18)(♂)

分布—臺灣、支那、馬來、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. lithargyria Moor. ト云フ、

第四十九圖(19)(♀)(20)(♂)

(686) きやむらしゞみ

學名 Euchrysops kiamurae Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ紫藍色ニシテ暗色ヲ帶ビ、光線ノ工合ニヨリ少シク白味ヲ帶ブ、裏面ノ黑紋ヲ透視シ得ベシ、外緣ハ暗黑、緣毛ハ暗色ナレドモ末端ハ灰白ナリ、後翅ノ後緣ニ黑紋ヲ列ス、內緣角ニアル二個ハ大ニシテ其內側ニ柿色紋ヲ具ヘ、外側ニハ青白ノ一線ヲ橫走ス、尾狀突起ハ黑色、末端ハ白色、裏面ハ灰色、斑紋ハ黑褐、前翅ノ中室外ニ三紋列アリテ第一列紋ノ第一及ビ第二室ニアルモノハ少シク內方ニ位ス、他ノ二紋列ハ外緣ト平行シ、其間室ハ白色、外緣及ビ緣毛ハ黑色、後者ハ少シク灰白毛ヲ混ズ、橫脈上ノ一紋ハ楕圓形ヲナス、後翅ニハ四紋列アリテ翅底ニ近キモノハ五紋列ヨリ成リ、第二紋列ニハ八紋アリテ、第二室ニアルモノハ甚ダシク內方ニ位シ稍々其基部ニアリ、第四紋列ハ黑色、第三紋列ハ第三室迄判然スレドモ、第三室以下ニアリテハ弦月形ノ斑紋ニヨリ代表セ

ラル、第一乃至第三室ノ外緣紋ノ中間ニ當ル部分ハ廣ク柿色、外緣及ビ緣毛ハ前翅ニ異ナラズ、雌ニアリテハ翅ハ暗色、橫脈上ノ一紋ハ黑色ニシテ判然シ、散在ス、但シ後翅ニアリテハ靑色鱗少ナシ、後翅ノ後緣ニアル黑紋列ハ雄ノモノヨリ判然シ、其外緣ニ白線アリ、第一及ビ第二室ニ於ケル緣紋ノ內列ニ柿色ノ一紋アリテ雄ノモノヨリモ判然ス、裏面ノ斑紋ハ雄ノモノヨリモ明瞭ナリ、開張一寸一分內外、此ハ八重山ニテ初メテ發見セラレタルモノナリ、稀ナラザルガ如シ、

分布―沖繩(八重山)、

(687) をじろしゞみ

學名 Euchrysops cnejus F.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ淡キ紫藍色、外緣ハ暗色、後翅ニテハ暗色部狹シ、緣毛ハ灰色、前翅ノ橫脈上ニ暗色ノ短線アリ、後翅ノ外緣ニ沿ヒ暗色紋ヲ列ス、第一及ビ第二室ニアルモノハ天鵞絨樣ノ黑色ニシテ其內側ニ橙黃紋ヲ具ヘ、外側ニ白線アリテ緣取ラル、尾狀突起ハ暗色ニシテ外側及ビ末端ハ廣ク白色、裏面ハ灰色、斑紋ハ暗灰色ニシテ周圍ハ灰白、前翅橫脈上ノ一紋、各室ノ中央ニ近ク一紋列、外緣ニ近ク二紋列アリテ後者ハ白色緣ヲ有セズ、後翅ニ前翅同樣ノ斑紋アリテ、各室ノ中央ニ近キ紋列ハ波狀ニ排列ス、第七室ニ二個及ビ中室ノ基部ニ一個ノ黑紋アリテ其周圍ハ灰白、外緣ニ近キ二紋列ノ

第四十九圖
(21)
(♂)

內方ニアルモノハ弦月ノ紋列ヨリ成リ、外方ニアルモノハ圓紋ヨリ成ル、第一及ビ第二室ニ表翅同樣ノ黑紋アリテ其外側ニ金綠色ノ半環アリ、但シ第一室ノモノハ稍々環ヲナス、第一室(I_a)ニ二紋アリテ其一ハ中央ニ近ク他ハ基部ニ近位ス、雌ノ雄ト異ナル所ハ翅暗色ニシテ基部ヨリ三分ノ二ノ處ニ亘リテ靑藍色ノ大紋ヲ具ヘ、外緣ニ近キ白紋列ハ前種ニ似レドモ第一及ビ第二室ニアル黑紋ハ大ニシテ其內側ニ橙黃紋ヲ具ヘ、外側ニ白線ヲ裝ヒ、緣毛ハ白色ナリ、開張(♂)(♀)八分五分―一寸內外、

分布―臺灣、支那、馬來、印度、濠洲、

(688) かくもんしゞみ

學名 Tarucus plinius F.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ淡キ紫藍色、裏面ノ黑紋ヲ透視シ得ベシ、外緣ハ暗色、緣毛ハ灰白、脈ノ終點ニテハ暗色毛ヲ有ス、後翅第一、第二及ビ第三室ニ灰白ノ亞外緣線アリ、尾狀突起ハ暗色、末端ハ白色、裏面ハ灰白、暗色ノ斑紋ヲ散在シ、外緣ニアル二紋列ハ外緣ニ平行ス、尙ホ七帶アリテ、外方ノ三帶ハ短カクシテ斜走シ前緣ニ位ス、第三及ビ第四室ニ亘リ一圓紋ヲ具ヘ、其外側ニ二紋ヨリ成ル一斜條アリテ第四脈ヨリ後緣ニ達ス、尙ホ前緣ノ基部ニ暗色ノ一縱條アリ、後翅ニアル斑紋ハ約十紋列ヨリ成リ、第四及ビ第九列ニアルモノノミ波狀ヲナシテ相連續シ、中央ニ近ク L 字形ノ太キ一紋ヲ裝

第四十九圖
(22)
(♀)
(23)
(♂)

フ、外緣ニ近キ一紋列ハ外緣ニ平行シ、圓紋ヨリ成ル、第一及ビ第二室ニ天鵞絨樣ノ黑紋アリテ其周圍ニ青色鱗ヲ裝ヒ、其外圍ハ橙黃色、雌ニテハ白色、前緣及ビ外緣ハ廣ク暗色、翅底ヨリ橫脈ノ處迄青白色、前翅ノ中央ニ近ク四黑紋アリテV字形ニ排列セラル、後翅ノ脈ハ暗色、外緣ニ白緣ヲ有スル黑紋ヲ列ネ、第一及ビ第二室ニアルモノハ少シク靑色ヲ帶ブ、其他ハ雄ニ同ジ、開張(♂)(♀)八分—一寸內外、此ハ臺灣埔里社地方ニハ稀ナラズ、

分布—臺灣、支那、馬來、印度、亞弗利加、

(689) たいわんくろぼししゞみ

學名 Megisba malaya Horsf.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ暗黑色、前翅ノ中央ハ少シク淡色、前緣ニ白色ノ三細線ヲ裝フ、緣毛ハ暗色、少シク白毛ヲ混ズ、但シ第一室及ビ後翅ニアルモノハ末端白色ナリ、後翅ノ尾狀突起ハ暗色、內側及ビ末端ハ白色、裏面ハ白色、外緣ハ暗灰色ヲ帶ビ、斑紋ハ暗色、前緣ニ四紋、橫脈上ニ一紋ヲ具ヘ、各室ニ一紋アリテ弓狀ニ排列ス、外緣ニ近ク一波狀線ヲ具ヘ、其外側ニ紋列ヲ裝フ、爲メニ其中間ニ弦月形ノ白紋列ヲ現ハス、後翅ノ基部ニ近キ一紋列、第一室ノ中央ニ近キ一紋、第二室ノ末端ニアル一紋及ビ第七室ノ末端ニアル一紋ハ天鵞絨樣ノ黑色、橫脈上ニ一短線ヲ具ヘ、其外側ノ紋列ハ六紋ヨリ成リ、第三、第四及ビ第五室ニアルモノハ少シク外方ニ位ス、外緣ニ近キ波狀帶及ビ紋列ハ前翅ノモノニ

第四十九圖
(24)
(♀)

異ラズ、雄ハ雌ヨリモ小ニシテ前翅中央ノ淡色部ハ餘リ判然セズ、裏面ノ斑紋ハ一層判然ス、開張(♂)(♀)七分五厘—八分五厘、此ハ臺灣ニ普通ナリ、

分布—沖繩、臺灣、支那、馬來、印度、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. thwaitesi Moor, ト云フ、後者ノ原種ト異ナル所ハ裏面ノ斑紋ハ一層判然ス、開張ニアリ、此ハ石垣島岩崎卓彌氏ヨリ送附セラレタルモノナリ、

Megisba malaya Horsf. var. iwasakii Mats.

Differs from the typical form in having much paler underside, on the outer margin not infuscated, and the spots much smaller and narrower, not being very conspicuous.

Hab.—Okinawa (Yayeyama); one female specimen collected by Mr. T. Iwasaki.

第五十三圖
(8)
(♂)

(690) たいわんつばめしゞみ

學名 Everes parrhasius F. (pl. LIII, fig. 8, ♂)

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

つばめしゞみ(千蟲、四、七十四圖(18))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雄、翅ハ少シク紫色ヲ帶ビ、前翅ノ外緣ハ廣ク暗色、殊ニ翅端ニテ其然ルヲ覺ユ、緣毛ハ大部暗色ニシテ少シク灰白毛ヲ混ズ、但シ後緣角ニアルモノハ灰白ナリ、後翅ノ外緣ニアル黑紋列ハ總シテ

白圈ヲ具ヘ、第二室ニアルモノハ其内側ニ柿色ノ一紋ヲ裝フ、緣毛ハ暗色ニシテ其基部及ビ末端ノ白色ナルモノ多シ、尾毛ハ長シ、裏面ノ斑紋ハ暗灰色、後翅第七室ノ二紋、中室ノ一紋及ビ第二並ニ第三室ノ末端ニアルモノヽミハ黑色、各室ノ中央ニ近キ紋ハ長形ニシテ、第三乃至第六室ニアルモノハ相接ス、後翅第六室ニアル中央紋ハ常ニ第七室ニアルモノヨリモ外方ニ位ス、第三乃至第六室ニアルモノハ一斜線上ニ位シ、第二室ニアルモノハ合シテ一紋トナル、第二乃至第四室ノ末端ニアル橙黃紋ハ內側ニ黑弧ヲ有セズ、黑紋ノ外側ニ金青色ノ鱗毛ヲ裝フ、雌翅ハ暗色、前翅ノ基半部及ビ後翅ノ下半部ハ青白、外緣ニ黑紋ヲ列ヌ、其周圍ハ青白、第二及ビ第三室紋ノ內側ニ橙黃紋アリ、他ハ雄ニ同ジ、開張(♂)(♀)六分五厘—九分內外、此ハ臺灣ニ稀ナラズ、

分布—臺灣、比利賓、馬來、印度、

(691) くろつばめしゞみ

學名 Everes fischeri Evers.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ暗黑色、稍々裏面ノ斑紋ヲ透視シ得ベシ、橫脈上ノ一紋ハ黑色、前翅ノ緣毛ハ暗色、後翅ニテハ白色、縱脈ノ終點ニテ暗色、後翅ノ後緣ニ判然セザル黑色ノ紋列ヲ具ヘ、第二及ビ第三室紋ハ少シク紫色鱗ヲ有ス、尾狀突起ハ黑色、末端ハ白色、裏面ハ灰白、斑紋ハ黑色、其周圍ハ白色、橫脈上ニアルモノハ長形ナリ、前翅ノ中室外ニアル紋列ハ稍々一直線上ニアレドモ第二及ビ第六室

第四十九圖
(25)
(♂)

ニアルモノハ少シク內方ニ位ス、外緣ニ近ク二紋列アリテ外緣線ハ細ク黑色、緣毛ハ暗色、後翅ハ前翅ヨリ少シク淡色、翅底ニ近ク五紋ヨリ成ル紋列アリテ第七室ニアルモノハ最モ大ナリ、橫脈上ノ一線ハ前翅ノモノヨリ細シ、其外側ニアル紋列ノ內第一、第二、第六及ビ第七室紋ハ一直線上ニアレドモ第三、第四及ビ第五室紋ハ外方ニ離レテ他ノ一斜線上ニ位ス、外緣ニ近ク二紋列アリテ內方ノモノハ弦月形ヲ呈シ、第二及ビ第三室ニハ黃紋ヲ裝フ、開張(♂)七分五厘、此ハ朝鮮濟洲島ニテ農學士市川三喜氏ノ採集セルモノナルガ稀ナルガ如シ、

分布—朝鮮、支那、滿洲、

(692) たいわんくろつばめしゞみ

學名 Everes hainani Baker.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

前種ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

前翅橫脈上ノ一黑點ハ判然シ、後翅後緣ノ黑紋列ハ稍々判然シ、其周圍ニ判然セザル白環ヲ有ス、緣毛ハ白色ニシテ脈ノ終點ニ黑毛ヲ裝フ、但シ前翅ノ緣毛ニハ暗色毛多シ、裏面、黑紋ハ何レモ白環ヲ具ヘ、第一紋列ノ內第六室ニアルモノハ斜置セラレ、外緣ニ近キ二紋列中內方ニアルモノハ稍弦月形ヲナシ小ナリ、此紋列ト第一紋列ノ中間ニ更ニ褐色ノ紋列アリテ時ニ其判然セザルモノモアリ、後翅ノ斑紋ハ暗褐ニシテ第二及ビ第三室ノ外緣ニアルモノヽミ黑色ナリ、第四室ノ基部ニア

第五十三圖
(9)
(♀)

ル紋ハ大ニシテ縦置セラレ、其前後ノ紋ハ共ニ黄褐ニテ縁取ラル、外縁ニ近キ内方ノ紋ハ何レモ外側ニ當リ黄色ノ弦月紋ニテ縁取ラル、開張八分五厘—一寸、此ハ臺灣恒春、港口、埔里社、達邦社等ニ捕獲シタルガ餘リ多カラズ、

分布—臺灣、

(693) はまべしぢみ

學名 Lycaena astrache Bgst.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ暗色、少シク紫色ヲ帶ブ、前翅横脈上ノ一紋ハ暗黒色、前縁及ビ縁毛ハ白色、但シ後者ノ基部ハ暗色、外縁ニ近ク柿色紋列アリテ其内側ニ黒紋列ヲ有スルモノアリ、後翅ノ後縁ニ近ク暗黒ノ紋列アリテ第一室乃至第四室ニアル紋ノ内方ニ柿色ノ弦月紋ヲ裝フ、縁毛ハ白色、基部ニ暗色毛ヲ混ズ、裏面ハ灰色、少シク綠黄ヲ帶ビ、斑紋ハ黒色、何レモ黄白輪ヲ有ス、前翅ノ横脈上ニアルモノハ楕圓形ニシテ大、其外側ニ弓狀ヲナセル一紋列ヲ具ヘ、第二室ニアルモノハ小ニシテ第二室紋ヨリ少シク外方ニ位ス、外縁ニ柿色ノ一紋列アリテ其兩側ニ黒紋ヲ列ス、内側ニアルモノハ弦月形ヲナス、外綠線ハ黒色、綠毛ハ灰白、後翅ニ三紋列アリテ第一紋列ハ三紋ヨリ成リ、第二紋列ハ八紋ヨリ成リ、第一(I^a)、第六及ビ第七室ノモノハ稍々一直線上ニ位シ他ヨリ遙内方ニアリ、第一(I^b)、第三、第四及ビ第五室ニアルモノハ離レテ一直線上ニ位シ、第二室ニアルモノハ少シク内方ニ

第四十九圖
(26)
(♀)

アリ、外緣ニ近ク柿色ノ一紋列アルコト前翅ノ如シト雖ドモ彎曲線上ニ排列セラル、緣毛ハ灰白、少シク黒毛ヲ混ズ、雌ニアリテハ常ニ前翅ニ柿色ノ紋列ヲ具ヘ、其内側ニ黒紋列アレドモ判然セズ、後翅ノ柿色紋ハ大ニシテ、黒紋ノ外側ハ白線ニテ縁取ラル、緣毛ハ灰白、暗色毛ヲ混ズ、裏面ハ雄ヨリモ少シク暗色ニシテ斑紋ハ顯著ナリ、開張(♂)(♀)八分—一寸内外、此ハ七月頃樺太ニ稀ナラズ、

分布—樺太、滿洲、歐洲、亞弗利加、

(附 言) 樺太ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. sachalinensis Mats. ト云フ、原種ヨリハ柿色紋小ニシテ雄ノ前翅ニハ第五室以上ニ柿色紋ヲ有スルモノナシ、多クハ柿色紋ヲ缺ク、

Lycaena astrache Bgst. var. sachalinensis n. (pl. XLIX, fig. 26, ♀).

Differs from the typical form in having smaller reddish spots, in the male mostly lacking these spots to the primaries, and if these are presented, then they are not obvious towards the costal margin.

Hab.—Saghalien; common in the middle part of July, collected by Messers M. Oguma, J. Adachi and S. Isshiki.

第四十九圖
(27)
(♀)

(694) からふとしぢみ

學名 Lycaena karafutonis Mats.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

前種ニ似レドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雌、翅ハ少シク淡色、前翅ノ柿色紋ハ弦月形ニシテ連續シ、其外側ノ黒紋列ハ判然ス、後緣角ノ緣

毛ハ白色、三分ノ二ノ處迄青白鱗ヲ散在スルモノアリ、後翅ノ後緣ニ近ク楕圓形ノ黑紋列アリテ此紋ハ何レモ少シク內方ニ尖ル、其外側ハ白線ニテ緣取ラレ、內側ニハ弦月形ノ柿色紋アリテ其頂端ハ尖リ、更ニ其內側ニ黑色ノ判然セザル弦月紋ヲ裝フ、三分ノ二ノ處迄青白鱗ヲ有スルモノアレドモ多クハ翅底ニノミコレヲ裝フ、裏面ハ淡灰色、斑紋ノ周圍ハ白色ナレドモ全面淡色ナル爲メ判然セズ、前翅ノ橫脈上ニアル一紋ハ細クシテ弦月形ヲ呈シ、第四、第五及ビ第六室ニアル紋ハ一直線上ニ位シ、第三室ニアルモノハ第六室ニアルモノヨリ遙內方ニ位シ、外緣ニ近キ柿色紋ト相連續ス、後翅ハ前翅ヨリモ一層淡色ニシテ、第七室ノ中央ニアル紋ハ橫脈紋ノ直上ニ位シ、第六室ニアルモノハ第七室ニアルモノヨリ遙外方ニ位シ、第四及ビ第五室紋ト稍々一直線上(第五室紋ハ少シク外方ニ位ス)ニアリ、中央帶ハ廣ク白色、外緣ニ近キ柿色紋ハ連續シ、外方ニアル黑紋ハ三角ヲナシ、之レニ青白鱗ヲ裝フ、緣毛ハ灰白ニシテ灰色ノ一帶ハ其中央ヲ貫通ス、裏面ノ斑紋ハ寧ロしゞみてふニ似タリ、開張(♀)八分—九分、此ハ樺太ニ稀ナラザルモ余ハ未ダ雄ヲ得ズ、

分布—樺太、

Lycaena karafutonis n. sp. (pl. XLIX, fig. 27, ♀).

Closely allied to L. *astrache* Bgst., but differs from the latter as follows:—

♀ Upperside—Wings somewhat paler, with bluish scales; reddish spots to the primaries crescent-shaped and mostly contiguous, the outwardly situated spots being conspicuous; fringes on the posterior margin near the tornus whitish; bluish scales sometimes extending beyond the discoidal cell. Near the hind margin with oblong, somewhat inwardly pointed dark spots, each outwardly lined with white and inwardly with reddish lunules, the latter being pointed inwardly and crowned with a fuscous lunule.

Underside—Pale grayish, near the middle with a whitish band, whitish rings of the blackish spots are not conspicuous; a spot on the discocellars crescent-shaped, narrower, the spots on the 4th, 5th and 6th interspaces nearly in a straight line; secondaries more paler than the primaries, the middle spot of the 7th interspace situated just above that of the discocellars, that of the 6th placed much outwardly than that of the 7th, and posited nearly in a straight line with those of the 4th and 5th (that of the 5th being posited a little outwardly), central band broadly white, reddish spots near the outer margin contguous, black spots trianglar with bluish scales, fringes whitish, traversed by a grayish band; markings of the underside rather resemble L. *argus* Schiff. Exp. 24—27mm.

Hab.—Saghalien; 8 female specimens collected by the author, but the male is not known to me.

(695) からふとるりしゞみ

第四十九圖 (29) (♀) (30) (♂)

學名 Lycaena optilete knoch.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、翅ハ紫藍色、外緣ハ狹ク暗色、緣毛ハ暗色、末端ハ白色、後翅ノ前緣及ビ內緣ハ廣ク黑色、裏面ハ灰色、斑紋ハ黑色、周圍ハ白色、前翅橫脈上ノ一紋ハ楕圓形、其外側ニアル一紋列ハ稍々弓狀ニ排列シ、第一室ニハ二紋アリ、外側ニ近ク二紋列ヲ具ヘ、其外側ニ各一白紋列アリ、後翅ニ三紋列アリテ第一列ハ三紋ヨリ成リ其第一室ニアルモノハ微小ナリ、第二紋列ハ八紋ヨリ成リ甚ダシク彎曲ス、第五、第六及ビ第七室紋ハ一斜線上ニ排列ス、第二乃至第五室紋モ亦稍々一斜線上ニ位シ前者ト稍々直角ヲナス、第一室ニハ二紋アリテ第二室ニアルモノヨリモ遙外方ニ位ス、尙ホ內緣ノ中央ニモ一紋アリ、外緣ニ近ク二紋列アルコト前翅ノ如シ、第二及ビ第三室ノ末端ニ近ク柿色紋ア

リテ其外側ニ黑紋ヲ具ヘ、之レニ青色鱗ヲ散在シ、其內側ニハ弦月形ノ黑紋ヲ具ヘ、尙ホ第一室ニモ小形ノ柿色紋ヲ有ス、雌ニテハ翅ハ暗褐ニシテ唯ダ翅底ニ紫藍色ノ紋アレドモ之レハ中室外ニ達セズ、後翅ニハ紫藍色ノ部分前翅ヨリモ少ナシ、後緣ニ近ク暗色紋列アリテ其外側ハ白線ニテ緣取ラレ、其內側ニ黃色ノ一紋アリテ第二室ニ於テ最モ判然ス、開張(♂)(♀)九分—九分五厘內外、此ハ樺太ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—樺太、滿洲、歐洲、

(附　言) 樺太ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. sibirica Stgr. ト云フ、

(696) じやうざんしぢみ

學名 Lycaena orion Pall.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ灰黑、青色鱗ヲ散在ス、前翅ノ橫脈上ニアルモノハ黑色ニシテ大ナリ、其他裏面ノ黑紋ヲ透視シ得ベシ、外緣ニ近ク黑色ノ二紋列ヲ具ヘ、其中間ニ弦月形ノ青白紋列アリ、緣毛ハ白色ト黑色ノ斑ヲナス、後翅ノ外緣ニ近ク黑紋列アリテ其紋ノ周圍ハ青白色、其內側ニ一黑帶ヲ裝フ、緣毛ハ前翅ニ同ジ、裏面ハ灰白、斑紋ハ黑色、前翅橫脈上ノ一紋ハ表翅ノモノニ異ナラズ、其內側ニ一紋アリ、又外側ニハ弓狀ヲナセル一紋列アリテ第四乃至第六室ニアルモノハ一直線上ニ位シ、第一乃至第三室ニアルモノハ斜線上ニ位シ前者ト稍々直角ヲナス、外緣ニ近ク二紋アリテ、內側ニアルモノハ大ニシテ相連續ス、後翅ニハ五紋列アリテ第一紋列ハ四紋、第二紋列ハ八紋ヨリ成リ、甚ダシク彎曲ス、第二室紋、橫脈紋及ビ第七室紋ハ稍々一直線上ニ位ス、外緣ニ近キ柿色帶ハ甚ダシク彎曲シ、第三及ビ第四紋列ノ中間ニ位ス、第三紋列ハ小ナリ、雌ニアリテハ青色鱗少ナク、爲メニ外緣ニ近キ青白ノ紋列ハ判然ス、裏面ノ斑紋ハ一層判然シ大ナリ、開張(♂)(♀)八分—九分、此ハ札幌定山溪ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—北海道、滿洲、歐洲、

(附　言) 北海道ニ產スルモノハ變種トシテ Var. jezoensis Mats. ト云フ、其異ナル所ハ雄ノ青色鱗ハ多ク、青白紋列ノ太キニアリ、

Lycaena orion Pall. var. jezoensis n. var. (pl. XLIX, fig. 28, ♀).

♂ Differs from the typical form in having more bluish part, more larger discocellulars and more conspicuous pale bluish submarginal maculate band to the primaries, and strongly pale bluish encircled fuscous spots to the secondaries.

• Hab.—Hokkaido (Sapporo); many specimens were collected by the author, they are very local and not being captured except Jozankei near Sapporo.

第四十九圖
(28)
(♀)

第四十九圖
(31)
(♂)

(697) おほじまだらしぢみ

學名 Lycaena (Phengaris) atroguttata Oberth.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雌雄、翅ハ白色、前翅橫脈上ノ一紋、翅端廣ク、外緣並ニ第三室ノ一紋ハ黑色、後翅ノ中央及ビ基

部ニ裏面ノ黑紋列ヲ透視シ得ベシ、後緣ニ判然セザル黑色ノ二紋列アリテ其內ニ黑鱗ヲ散在ス、裏面ハ白色、斑紋ハ黑色、橫脈上ニ一紋ヲ具ヘ、外緣ニ近ク三紋列アリテ其內側ニアルモノ最モ大ナリ、後翅ニハ四紋列アリテ第一紋列ハ三紋ヨリ、第二紋列ハ八紋ヨリ、第三紋列ハ七紋ヨリ、第四紋列ハ六紋ヨリ成リ、尙ホ橫脈上ニ一紋ヲ裝フ、第二列紋ノ第七室ノ中央ニアルモノハ橫脈紋ノ直上ニ位シ、第六室ニアルモノハ其基部ニ近位ス、第一乃至第五室ニアルモノハ一斜線上ニ排列シ、第三列紋ノ第六及ビ第七室ニアルモノハ前緣ニ位シ、他ノモノト深キ彎形ヲナス、開張(♂)(♀)一寸五分內外、此ハ臺灣阿里山ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣、支那、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. daitozana Wilem. ト云フ、

(698) おほごましゞみ

學名 Lycaena arionides Stgr.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

ごましゞみ(千蟲、四、七十四圖(5))ニ酷似スレドモ其異ナル處ハ左ノ如シ、

雌、前翅ノ靑色部ハ少シク濃色、外緣ノ黑色部ハ廣ク、黑色ノ斑紋ハ大ナリ、橫脈紋ハ大ニシテ更ニ其內側ニ一紋ヲ具ヘ、第二室紋ハ第一室紋ヨリモ遙內方ニ位シ、第六室紋ハ第一室紋ノ直上ニアリ、緣毛ハ白色、脈ノ終點ニノミ暗色毛ヲ裝フ、後翅ノ外緣ハ更ニ一層廣ク黑色、爲メニ靑色部ハ

第四十九圖
(32)
(♀)

少ナク、其黑紋ハ餘リ判然セズ、緣毛ハ白色、脈ノ終點ニ少シク暗色毛ヲ混ズ、裏面ハ灰白、後翅ノ基部ハ少シク綠色ヲ帶ブ、黑紋ハ大ニシテ白輪ハ判然セズ、橫脈紋ノ內側ニ二紋ヲ具ヘ、第七室紋ハ判然シ第六室紋ノ直上ニ位ス、其他ハ表翅ニ同ジ、後翅ニ四紋列アリテ、第一列ハ三紋ヨリ、第二列ハ八紋ヨリ成リ、第一、第二及ビ第七室紋ハ橫脈紋ト共ニ一直線上ニ位ス、第三乃至第五室紋ハ稍々一直線上ニ位シ同室ノ第三列紋ト相平行ス、第一、第二及ビ第六室紋ハ前者ノ內方ニ位シ一直線上ニアリ、外緣ニ近キ二紋列ハ外緣ニ平行ス、緣毛ハ兩翅共白色、脈ノ終點ニ黑紋ヲ裝フ、開張(♀)一寸七分、此ハ昨年八月始メテ信州東又ニテ金井汲治氏ノ發見セルモノナルガ、余ハ高椋悌吉氏ヨリ一頭ノ送附ヲ受ケタリ、定メテ稀ナルモノナラン、

分布—本州(信州)、滿洲、

(附　言) 本州ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. takamukui Mats. ト云フ、原種ト異ナル所ハ後翅外緣ノ廣ク黑色ニシテ靑色部ノ黑紋判然セザルニアリ、

Lycaena arionides Stgr. var. takamukui n. (pl. XLIX, fig. 32, ♀).

♀ Differs from the typical form in having much broader outer margin especially in the secondaries, and the bluish part of it being not conspicuous, so that the black spots being not obvious. Exp. 50mm.

Hab.—Honshu (Higashinata in Shinano); one female specimen collected in August, 1817, by K. Kanai and sent me for identification by Mr. Teikichi Takamuku; it seems to be very rare.

(699) くろぼしうらじろしゞみ

學名 Neopithecops zalmora Butl.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

翅ハ暗褐、前翅第三室ノ基部ニ一白紋ヲ具フ、之レハ雄ニテ殊ニ判然ス、前翅ノ緣毛ハ暗色、下方ニテ末端ハ白色、後翅ニテハ雪白、但シ雌ニテハ第四脈以下ハ暗色ニシテ少シク白毛ヲ混ズ、第六室ノ外緣ニ判然セザル細キ白線アリ、裏面ハ白色、外緣ニ暗色ノ三紋列アリテ初メノ二列ハ短線ヨリ成リ、第三列ハ點紋ヨリ成ル、外緣線ハ細ク黑色、緣毛ハ白色、末端ハ少シク灰色ヲ帶ブ、後翅前緣ノ末端ニ近ク大黑紋アリテ判然ス、尙ホ第一室ノ中央紋、第一室乃至第六室ノ外緣ニアル紋列ハ黑色、第一列紋ノ第六室ニアルモノハ黑紋ノ直下ニ位シ他ノモノヨリ內方ニ位ス、外緣線及ビ緣毛ハ前翅ノモノニ同ジ、但シ緣毛ノ末端ハ灰色ナラズ、開張(♂)(♀)八分—九分、此ハ臺灣ニ普通ナリ、沖繩ニ產スルトノ記事アレドモ疑問ナリ、

分布—沖繩(?)、臺灣、支那、馬來、印度、

第五十圖(1)
(♀)

(700) たいわんごいししゞみ

學名 Shijimia moorei Leech.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雌、翅ハ暗色、緣毛ハ暗色ナレドモ少シク白色ヲ帶ブ、裏面ハ灰白、斑紋ハ黑色ニシテ周圍白色、前翅橫脈上ノ一短線ハ太シ、其外側ニ位スル紋列ハ大ニシテ第一、第二及ビ第六室紋ハ稍々一直線上ニ位シ、第三、第四及ビ第五室紋ハ外方ニ離レテ一直線上ニ排置セラル、外緣ニ近ク二紋列アリテ、內側ノモノハ太ク、外緣線ハ黑色ニシテ細シ、後翅ニ四紋列アリテ第一列ハ三紋ヨリ成リ、第七室紋ハ大、中室ニアルモノハ圓形ニシテ眞黑ヲ呈シ、第一室ニアルモノハ小ナリ、第二列ハ八紋ヨリ成リ、第一乃至第三室紋ハ一斜線上ニ位シ、第四、第五及ビ第七室紋ハ一直線上ニ位ス、第六室紋ハ少シク內方ニ離レテ橫脈紋ノ外側ニアリ、第七室紋ハ最大ニシテ卵形ヲ呈シ、第四室紋ハ長クシテ稍々縱置セラル、第三及ビ第四紋列ハ外緣ニ位シ、第四列紋ハ小、但シ第二室ニアルモノハ大、第二室ニアルモノハ眞黑ニシテ其內側ハ少シク黃色ヲ帶ブ、橫脈紋ハ前翅ノモノニ異ナラズ、此ハ埔里社地方ニ產スレドモ稀ナリ、開張(♀)九分、

分布—臺灣、支那、

(附 言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. taiwana Mats. ト云フ、原種ト異ナル所ハ翅ノ裏面ハ一層白色ヲ帶ビ、後翅第六室紋ノ遙離レテ橫脈紋ノ外側ニアルニアリ、

Shijimia moorei Leech var. taiwana Mats. (pl. L, fig. 13, ♀)

Differs from the typical form in having much paler underside, a spot on the 6th interspace placed on the outer side of the discocellulars between the latter and spot of the 7th interspace, and a small spot at the base of the first interspace I.

Hab.—Formosa (Horisia); one female specimen collected by the author.

Shijimia n. g.

Closely allied to *Pithecops* Horsf., but differs from the latter in having the costal margin of the hind-wings straight, resembling that of *Orthomiella* Nicev. and each wing with a broad conspicuous discoidal spot.

Genotype—*Lycaena moorei* Leech.

(701) さつましぢみ

學名 Celastrina (Cyaniris) albocoerulea Moor.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雄、前翅ハ青藍色、中室外側ノ下方ニアル一大紋ハ少シク青色ヲ帶ビタル白色、翅端ハ廣ク黑色、縁毛ハ白色、但シ前縁ヨリ第四脈ニ達スル迄ハ基部暗色、脈ノ終點ニ暗色毛ヲ混ズ、後翅ハ少シク青色ヲ帶ビタル白色、翅底、內縁及ビ後縁ニ青色ノ鱗毛多シ、亞外縁線ハ黑色、縁毛ハ白色、脈ノ終點ニ暗色毛ヲ混ズ、裏面ハ白色、斑紋ハ黑色、前翅ノ外縁ニ近ク一紋列アリテ何レモ短線ヨリ成リ、其外側ニ一點紋列アレドモ餘リ判然セズ、後翅ニ三紋列アリテ第一列ハ三紋ヨリ、第二列ハ八紋ヨリ成リ、其內第二、第五及ビ第六室紋ハ稍々一直線上ニ位シ、第一、第三、第四及ビ第五室紋ハ外側ニ位シ同ジク一直線上ニアリ、第一室(Ia)ノ中央ニアルモノハ離レテ他紋ヨリモ內方ニ位ス、其內第一(Ib)、第四及ビ第六室紋ハ大ナリ、外縁ニ近キ一列ハ點紋列ヨリ成リ、下方ニ至ルニ從ヒ紋ハ大形トナル、縁毛ハ白色、脈ノ終點ニ暗色毛ヲ裝フ、雌ノ雄ト異ナル所ハ前翅ノ前縁及ビ外縁ハ廣

第五十圖(2)(♀)

ク黑色、橫脈紋ハ短線ヲナシ暗色、後翅ノ青色鱗ハ多ク、外縁ニ圓形ノ一黑紋列アリテ外緣線ハ黑色、裏面ノ斑紋ハ一層大ニシテ判然ス、開張(♂)(♀)一寸內外、此ハ九州及ビ臺灣ニ產スレドモ稀ナリ、分布—九州(鹿兒島)、沖繩、臺灣、印度、

(702) ありさんるりしぢみ

學名 Celastrina limbata Moor.

昆蟲學上ノ地位 小灰蝶科

雌、翅ハ紫藍色、前緣及ビ外緣ハ暗色、前翅ノ橫脈紋ハ暗色ニシテ短線ヨリ成ル、後翅ノ外緣ニハ紫藍色ノ弦月紋ヲ並列スレドモ餘リ判然セズ、緣毛ハ前翅ニテハ暗色、後翅ニテハ白色、脈ノ終點ニハ暗色毛ヲ裝フ、裏面ハ灰白、斑紋ハ暗色、橫脈紋ハ短線ヨリ成リ、外緣ニ近ク弦月形ノ三紋列アリテ第一列紋ノ第六室ニアルモノハ遙離レテ內方ニ位ス、第二列ハ稍々相連續シ、第三列ハ餘リ判然セズ、後翅ニハ四紋列アリテ、第一列ハ三紋ヨリ、第二列ハ八紋ヨリ成リ、第一(Ib)(二紋)、第三及ビ第六室紋ハ稍々一直線上ニ位シ、第四及ビ第五室紋ハ離レテ外方ノ一直線上ニ位シ(第六室紋ヲ缺ク)、第一(Ia)及ビ第二室紋ハ離レテ內方ニ位ス、外緣ニ近キ二列ハ前翅ノモノニ異ナラズ、翅底ハ少シク青綠色ヲ帶ブ、緣毛ハ灰白色、基部ハ暗色、開張(♀)七分五厘內外、十月中旬阿里山ニテ捕獲セリ、稀ナルガ如シ、

分布—臺灣(阿里山)、

(附言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. arisana Mats. ト云フ、

第五十圖(3)(♀)

(703) ほりしやるりしゞみ

學名 Celastrina oreas Leech.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ青藍色、前緣及ビ外緣ハ黑色、緣毛ハ白色、脈ノ終點ニハ黑毛ヲ混ズ、裏面ハ灰白、斑紋ハ暗色、後翅ニ黑紋ヲ混ズ、前翅ノ橫脈紋ハ短線ヨリ成リ少シク弓狀ヲナス、其外方ニ一紋列アリテ第一乃至第五室紋ハ一直線上ニ位シ、其內第四室紋ハ少シク斜傾ス、外緣ニ近ク二紋列アリテ何レモ弦月形ヲナス、後翅ニ四紋列アリテ第一列ハ三紋ヨリ成リ、黑色、第二列ハ九紋ヨリ成リ、第一(Ib)、第三、第四及ビ第五室紋ハ一直線上ニ位シ、第二、第五及ビ第六室紋ハ內方ニテ一直線上ニ位ス、但シ第六室紋ハ黑色、第一室(Ia)ノ中央ニアルモノハ遙離レテ內方ニアリ、外緣ノ二紋列及ビ橫脈紋ハ前翅ノモノニ異ナラズ、緣毛ハ兩翅共灰白、脈ノ終點ニ黑毛ヲ混ズ、外緣線ハ黑色、雌ノ雄ト異ナル所ハ翅ハ暗色、中央ノ大部ハ灰白、青白鱗ヲ散在ス、橫脈上ノ一點ハ黑色、後翅ノ後緣ニ近ク暗色ノ圓紋ヲ連ネ、其內側ニ弦月形ノ灰白紋ヲ並列ス、裏面ハ雄ヨリモ一層白味ヲ帶ビ、斑紋ハ大ニシテ判然ス、開張(♂)(♀)一寸—一寸二分內外、此ハ臺灣埔里社並ニ恒春地方ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣、支那、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. hinilcon Fruhs. ト云フ、

第五十圖
(4)(♀)
(5)(♂)

(704) たっぱんるりしゞみ

學名 Celastrina dilecta Moor.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅淡キ紫藍色、前翅ノ中央ハ稍々淡色、外緣線黑色ニシテ細ク、緣毛モ亦黑色、末端ハ白色、但シ後緣ニ至ルニ從ヒ白毛多ク、後緣角ニテ全部白色ナリ、後翅ノ第五及ビ第六室ニ白色ヲ帶ビタル部分アリ、後緣ニ沿ヒ裏面ノ黑紋ヲ透視シ得ベシ、緣毛ハ白色、基部ニ少シク黑毛ヲ混ズ、外緣線ハ前翅ノ如ク黑色、裏面ハ灰白、斑紋ハ暗色、橫脈上ニ一短線ヲ具ヘ、前翅ノ外緣ニ三紋列アリテ、內方ノモノハ第一室紋ヲ缺キ、第六室紋ハ遙離レテ內側ニ位ス、緣毛ハ白色、脈ノ終點ニ黑毛ヲ混ズ、後翅ニハ三紋列アリテ、第一紋列ハ三紋ヨリ成リ、第二紋列ハ列ヲナサズ八紋ヨリ成リ、第一(Ib)、第二及ビ第五室紋ハ一直線上ニ位シ、第四、第五及ビ第七室紋ハ稍々一直線上ニ排列ス、第一及ビ第四室ニアルモノハ〈字形ヲ呈シ、第三室ニアルモノハ小ニシテ第七室紋ヨリモ少シク內方ニ位ス、外緣ニ二紋列アリテ內方ノモノハ弦月形ヲナシ、外方ノモノハ圓形ノ點紋ヨリ成リ黑色ヲ呈ス、外緣線ハ黑色ニシテ細ク、緣毛ハ白色、脈ノ終點ハ少シク黑毛ヲ混ズ、第一室ノ末端ニ三黑紋ヲ具ヘ、中央ニ近ク一紋ヲ裝フ、雌ハ前翅ノ中央及ビ後翅ノ前緣ノ中央ニ近ク白色ノ大紋ヲ具ヘ、後翅ノモノハ一層顯著ナリ、開張(♂)(♀)一寸—一寸一分內外、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、

第五十圖
(6)
(♂)

（附　言）臺灣ニ産スルモノハ變種ニシテ Var. hermonthis Fruhs. ト云フ、

(705) たいわんるりしゞみ

學名　Celastrina puspa Horsf.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ青藍色、前緣及ビ外緣ハ黑色、翅端ノ黑色部ハ他部ヨリ廣シ、緣毛ハ黑色、末端ハ白色、後翅ノ後緣ニ沿フヲ以テ判然セズ、裏面ハ灰白、暗色紋ヲ具ヘ、後翅ノ前緣及ビ翅底ニ近キ數個ハ黑色、前翅ノ橫脈紋ハ脈ノ終點ニハ黑毛ヲ混ズ、脈末端ノ一部ハ黑色、前翅前緣ノ外方ニ三白線アレドモ外緣ニ沿フヲ以テ判然セズ、裏面ハ灰白、暗色紋ヲ具ヘ、後翅ノ前緣及ビ翅底ニ近キ數個ハ黑色、前翅ノ橫脈紋ハ短線ヨリ成リ、其外方ニ一紋列ヲ具ヘ、第二室ニアルモノハ最モ大ニシテ稍々縱置セラレ、初メノ五紋ハ一直線上ニ位スレドモ第六及ビ第七室紋ハ少シク內方ニ位シ小形ナリ、外緣ニ近ク二紋列アリテ、內方ノモノハ稍々波狀ヲナシテ連續シ、前緣ノ外半ニ黑色ノ四短線ヲ並列ス、後翅ニ四紋列アリテ基部ニ近キ一列ハ四紋ヨリ成リ、其內第一室（Ib）ニアルモノハ微小ナリ、第二列ノ內第一（Ib）、第二、第五及ビ第六室紋ハ一直線上ニ位シ、第三、第四及ビ第五室紋ハ外方ニ離レテ一直線上ニアリ、其內第一室（Ib）紋ハく字形ヲ呈シ、第四室紋ハ長クシテ稍々縱置セラル、外緣ニ近キ二紋列ノ內方ニアルモノハ弦月形ニシテ相連リ波狀ヲナス、外方ノモノハ圓形紋ヨリ成リ、尙ホ第六室ノ基部ニモ一小點アリ、緣毛ハ前後翅共灰白、脈ノ終點ニ黑毛ヲ混ズ、外緣線ハ細ク黑色、雌ニテハ前翅ハ暗黑色、翅底ヨリ三分ノ二ノ處迄延長セル楕圓形ノ青色紋ヲ具ヘ、其外方ハ白色、中室點ハ黑色

第五十圖
(7)（♀）
(8)（♂）

ニシテ判然ス、後翅ニモ前翅同樣ノ青白紋アレドモ青色鱗少ナク、外緣ニ近ク黑色ノ圓形紋列アリテ其外側ニ青白ノ細線、內側ニハ同色ノ弦月紋ヲ列ヌ、裏面ハ白色、斑紋ハ雄ノモノヨリ一層大ニシテ判然ス、開張（♂）（♀）一寸―一寸二分內外、此ハ臺灣埔里社地方ニ稀ナラズ、分布―臺灣、支那、印度、南洋（あんがーる、ばのべ等ニ產スルモノヲ Var. watasei Mats. ト云フ、

（附　言）臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. myla Fruhs. ト云ヒあんがーる、ばのべ等ニ產スルモノ

第五十三圖
(6)（♂）

(706) こうしゆんるりしゞみ

學名　Chiliades laius Cram.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ紫藍色、裏面ノ黑紋ヲ透視シ得ベシ、前緣及ビ外緣ハ細ク黑色、緣毛ハ暗色、末端ハ白色、後翅ノ後緣ニ沿ヒ黑紋列アリテ第二室紋最モ大ナリ、緣毛ハ白色、基部ニ暗色毛ヲ混ズ、裏面ハ灰色、斑紋ハ暗色、各紋ノ周圍ハ白色、前翅ノ橫脈紋ハ長楕圓形ヲ呈シ、其外方ニ一紋列アリテ初メノ五紋ハ一斜線上ニアレドモ第六室ニアルモノハ少シク內方ニ離レテ位ス、外緣ニ近ク二紋列アリテ外緣線ハ黑色、緣毛ハ灰白、灰色ノ一帶ヲ貫通ス、後翅ニ四紋列アリテ第一紋列ハ三紋ヨリ成リ、第二紋列ハ八紋ヨリ成リ、其內第一（Ib）、第二、第五及ビ第六室紋ハ一直線上ニ位シ、第三、第四及ビ第五室紋ハ外方ニ少シク離レテ一直線上ニ位ス、其內第三室ニアルモノハ最モ大ニシテ稍々縱置

セラル、外緣ニ近キ二紋列ハ前翅ノモノニ似タレドモ第二室ノ外側紋ハ大ナリ、横脈紋ハ前翅ノモノヨリ淡色、緣毛ハ白色、脈ノ終點ニ暗色毛ヲ混ズ、外緣線ハ前翅ノ如シ、雌ニテハ翅ハ暗色、翅底ノ半部ハ藍色鱗ヲ散布スレドモ光線ノ工合ニテ判然セズ、後翅ノ後緣ニ沿ヒ圓形ノ一黑紋列アリテ各紋ノ周圍ハ白色、裏面ノ斑紋ハ一層判然ス、開張(♂)(♀)八分乃至一寸、此ハ臺灣恒春地方ニ稀ナラズ、

分布—臺灣(恒春)、支那、印度、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. koshunensis Mats. ト云フ、原種ト異ナル所ハ翅裏面ノ外方ニ灰白帶ヲ有スルニアリ、

Chiliades laius Cram. var. koshunensis n. var. (pl. LIII, fig. 6, ♀).

Differs from the typical form in having a broad grayish white band near outer margins to both wings, and white encircled fuscous spots, which being very conspicuous.

Hab.—Formosa (Koshun); many specimens collected by the author, but the females are rare.

第五十圖(9)(♂)

(707) たいわんちびしゞみ

學名　Chiliades trochilus Frey.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄雌、翅ハ暗色、後翅ノ後緣ニ沿ヒ圓形ノ黑紋列アリテ各紋ノ內側ハ柿色、外側ハ多少淡色、緣毛ハ暗色、基部(細ク)及ビ末端ハ灰白、裏面ハ灰色、斑紋ハ同色ナレドモ白輪ヲ有スルヲ以テ判然ス、前翅橫脈ノ兩側ニ二短線ヲ平行シ、其外方ニ一紋列アリテ少シク弓狀ニ排置セラル、其外側ニアル一紋列ハ稍々一直線上ニ排置セラレ、第五室紋ノミ少シク內方ニ位ス、外緣線ハ暗色ニシテ細シ、後翅ノ紋ハ前翅ノモノニ似タレドモ更ニ翅底ニ近ク黑色ノ一紋列アリテ四紋ヨリ成リ、尙ホ第七室ノ中央ニ近ク一紋ヲ裝フ、外緣ニ沿ヒ六個ヨリ成ル黑紋列アリテ其各紋ノ周圍ハ黃色、其黑色部ニ金靑色ノ鱗毛アリテ稍々半環ヲナシ、其外側ニ灰白ノ一線ヲ裝フ、外緣線ハ前翅ニ同ジ、緣毛ハ表翅ニ異ナラズ、開張(♂)(♀)五分—七分內外、此ハ臺灣恒春地方ニ產スレドモ稀ナリ、

分布—臺灣、支那、馬來、歐洲、亞弗利加、

(附　言) 臺灣ニ產スルモノハ變種ニシテ Var. formosanus Mats. ト云フ、原種ト異ナル所ハ後翅裏面ノ後緣ニアル黑紋ノ六個ハ金靑色ノ鱗毛ヲ裝フニアリ、

Chiliades trochilus Frey. var formosanus n. var. (pl. L, fig. 9, ♂).

Differs from the typical form in having 6 posterior black spots, each of which being provided with a semicircular, metallic blue scale-markings; cilia to both wings mostly dark gray, at the bases narrowly and at the apices somewhat grayish white.

Hab.—Formosa (Koshun); one female specimen collected by the author; it seems to be very rare.

第五十圖(10)(♂)(11)(♀)

(708) たいわんこしゞみ

學名　Zizina labradus God.

昆蟲學上ノ地位　小灰蝶科

雄、翅ハ紫藍色、前翅ノ外緣及ビ後翅ノ前緣ハ廣ク、後翅ノ外緣ハ狹ク暗色、緣毛ハ暗色、末端ハ